

---

---

# これからの岡崎市の交通を考えるアンケート

---

---

## 【結果報告書】

平成 26 年 3 月

岡 崎 市

# 目 次

---

1) アンケートの実施概要	1
(1) 調査の目的	1
(2) 調査対象 及び 調査方法	1
(3) 配付数 及び 回収結果	1
(4) 数値の統計的な取り扱いについて	1
2) アンケートの結果	2
(1) 回答者の属性について	2
(2) 普段（平日）の外出と公共交通利用について	5
(3) 岡崎市の交通全般（岡崎市総合交通政策）について	37
(4) 岡崎市の公共交通（岡崎市地域公共交通総合連携計画）について	51
3) 調査票	66
(1) お願い文	66
(2) アンケート調査票	67

## アンケート結果（アンケートの集計・分析）

### 1) アンケートの実施概要

#### (1) 調査の目的

岡崎市民の普段の交通行動の実態、交通手段の満足度、交通全般に対する意見や意向、公共交通の取り組みへの意識などを把握し、今後の交通政策の方向性、将来の交通の姿を検討する目的として本調査を実施した。

#### (2) 調査対象 及び 調査方法

項目	内容
調査対象	岡崎市に居住する 15 歳以上の市民
配付数	5,000 通
抽出法	無作為抽出
調査方法	配付・回収ともに郵送方式
調査時期	平成 25 年 10 月 17 日～10 月 31 日
調査地域	市内全域

#### (3) 配付数 及び 回収結果

地区	配付数	回収数	回収率
岡崎市計	5,000	1,976	39.5%
本庁	625	244	39.0%
岡崎	625	241	38.6%
大平	625	244	39.0%
東部	625	230	36.8%
岩津	625	254	40.6%
矢作	625	247	39.5%
六ツ美	625	231	37.0%
額田	625	271	43.4%
不明	—	14	—

#### (4) 数値の統計的な取り扱いについて

- ▶ 比率はすべて百分率 (%) で表し、小数点以下 2 位を四捨五入した数値で表示しているため、合計が 100% を前後する場合がある。また、各設問の結果のコメントについては、便宜的に“約 70%”などと、小数点以下 1 位を四捨五入した整数値で表記する。
- ▶ 設問に対する回答者の母数は“n=〇”として掲載し、各比率は n を 100% として算出する。

## 2) アンケートの結果

\* コメントの□は市全体の特性、■は地区又は特定施設等の特性、◇既往調査との比較を示す。

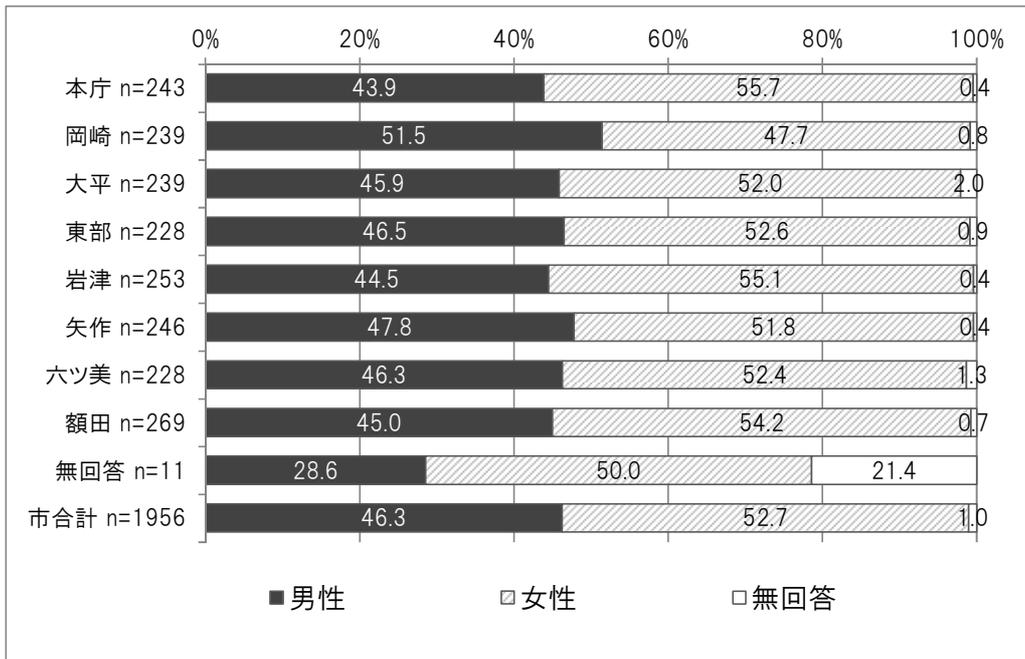
### (1) 回答者の属性について【問1】

#### ① 性別【問1①】

□市全体では、「女性」の割合が約53%と少し高い。

■岡崎地区のみ「男性」の割合がやや高い。

図1 性別

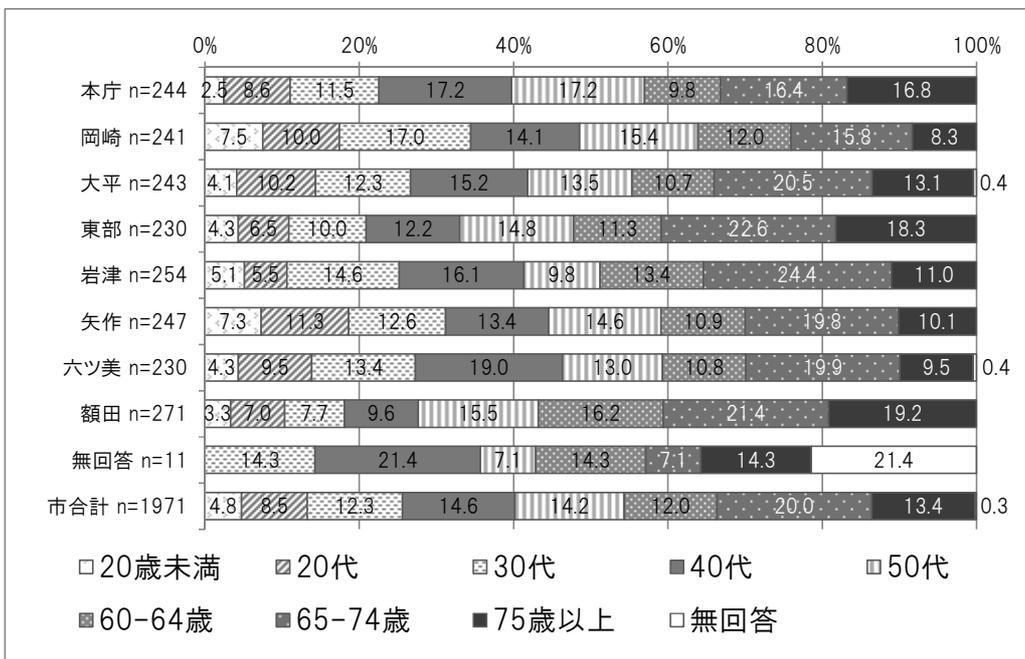


#### ② 年齢【問1②】

□多様な年齢層の回答結果となっている。

■東部、額田地区では、「65歳以上」が4割以上を占める。

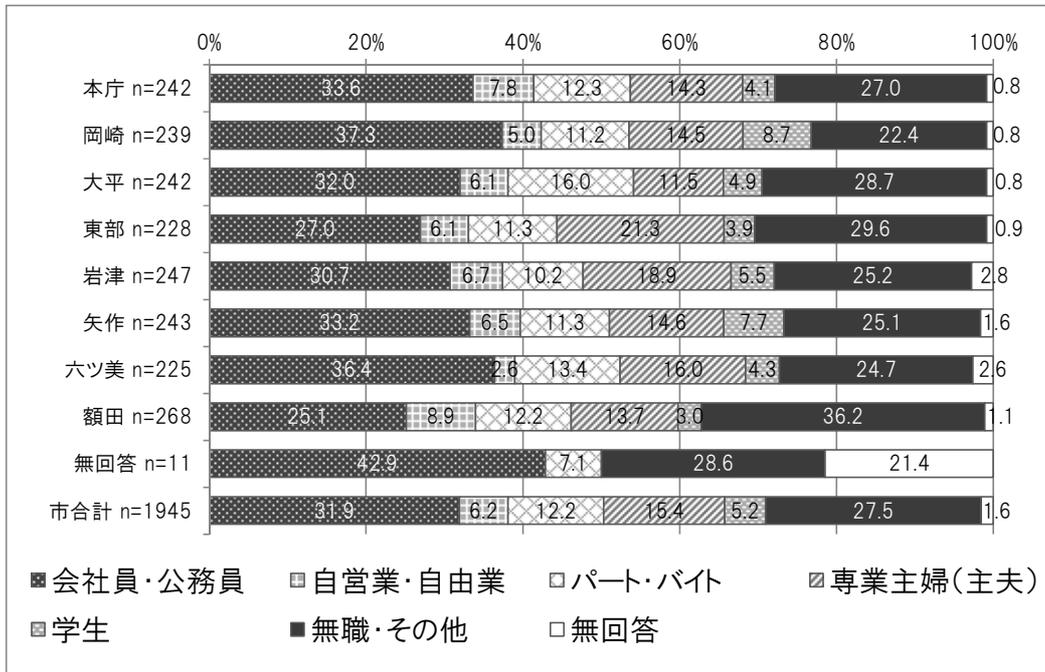
図2 年齢



③職業【問13】

□市全体では、「会社員・公務員」が約32%、「無職・その他」が約28%の順となっている。  
 ■額田地区では、「無職・その他」が約36%と高い。

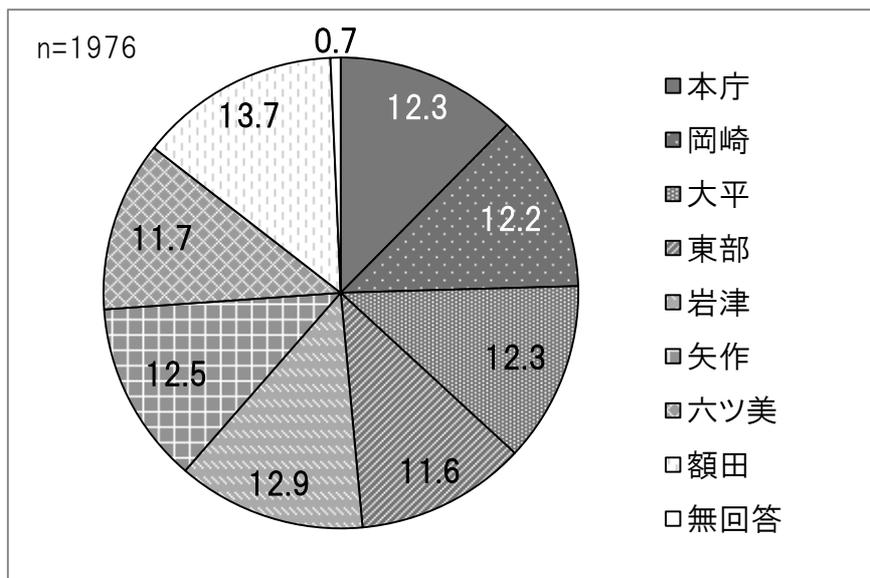
図3 職業



④自宅の学区【問14】

■各地区ともほぼ同数の回答が得られている。

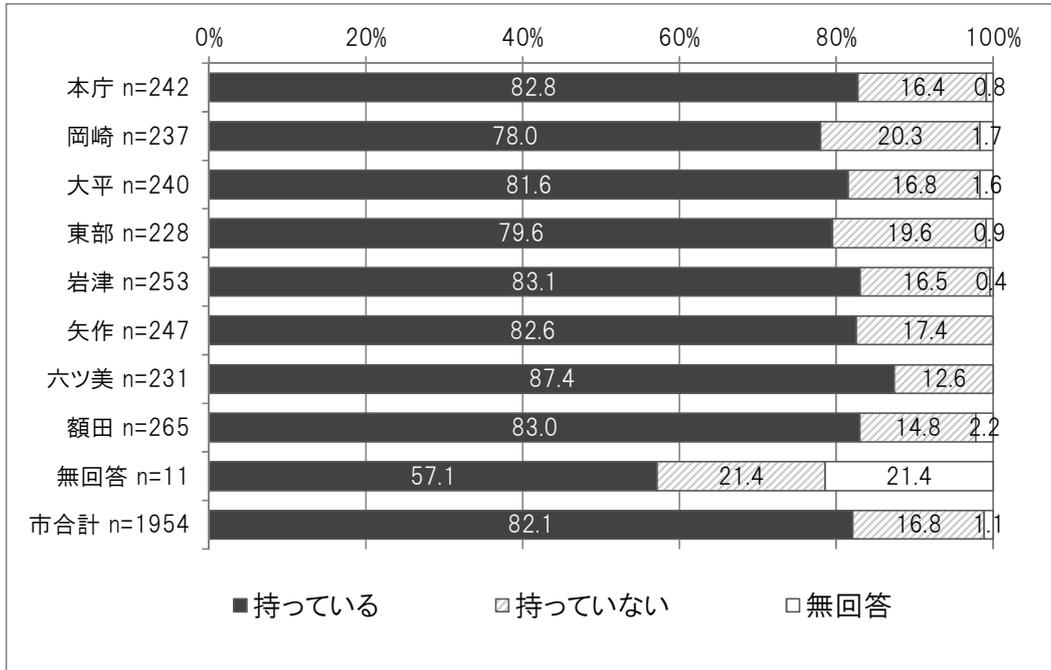
図4 自宅の学区



⑤運転免許証の有無【問1⑤】

■各地区とも「運転免許証を持っている」が約8割と多数を占める。

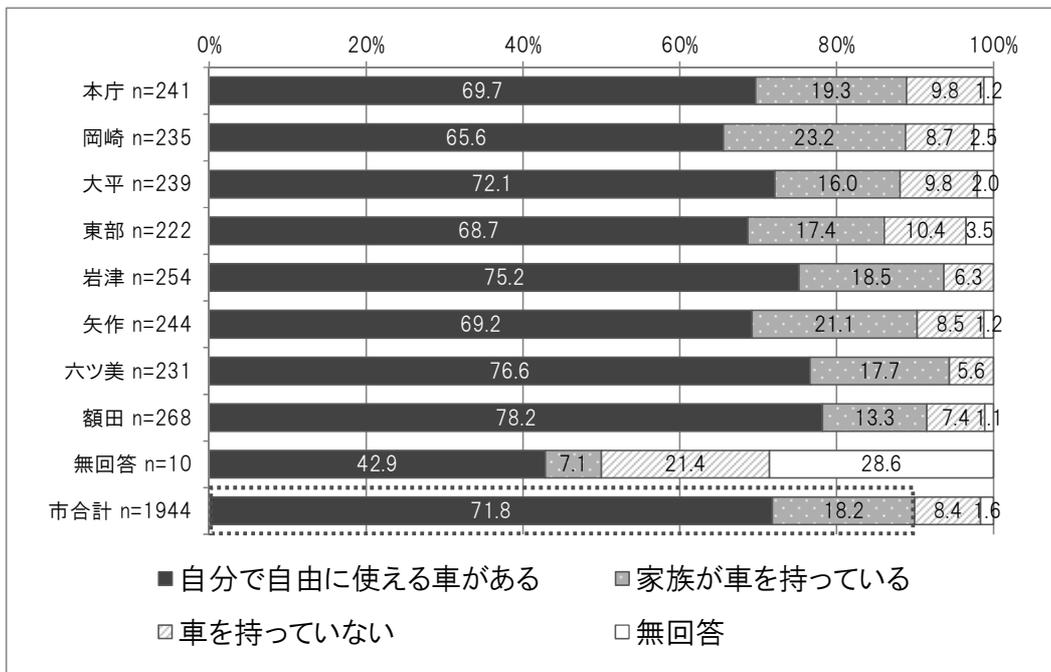
図5 運転免許証の有無



⑥自動車所有の有無【問1⑥】

□市全体では、自分または家族で「車を持っている」が約9割と多数を占める。

図6 自動車所有の有無



## (2) 普段（平日）の外出と公共交通利用について【問2】

### ① 主な外出目的【問2①】

□市全体では、「通勤」および「買物」目的で7割を占める。

■地区別にみると六ツ美地区の「通勤」東部・額田地区の「買物」、額田地区の「通院」目的が相対的に高い。

◇H22年度結果と比較した場合、各目的の割合に大きな変化は見られない。

図7 外出目的（地域別）

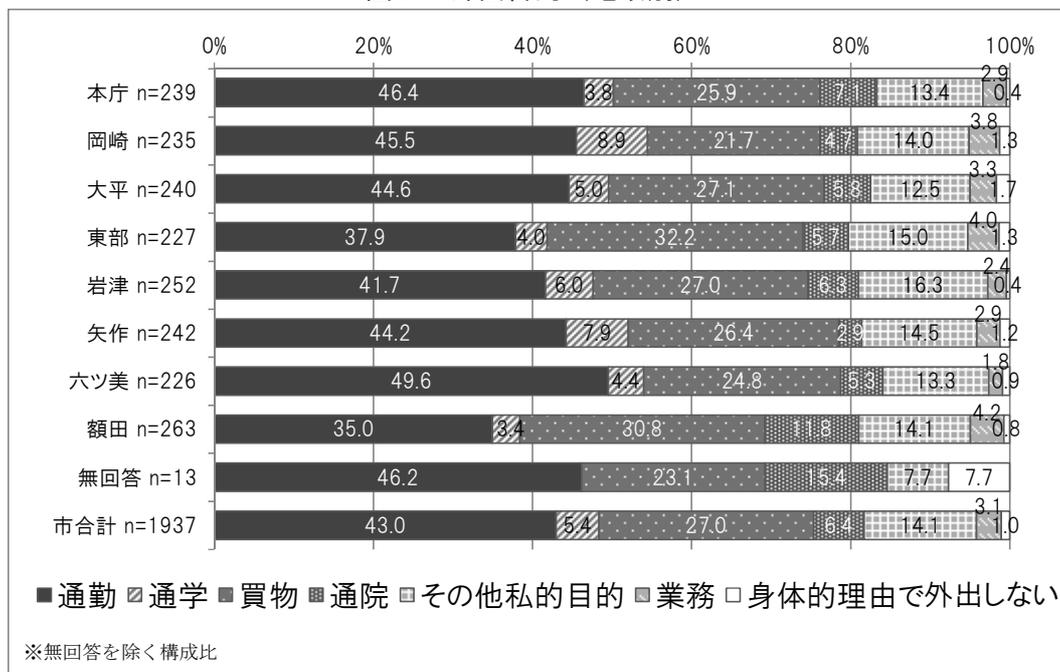
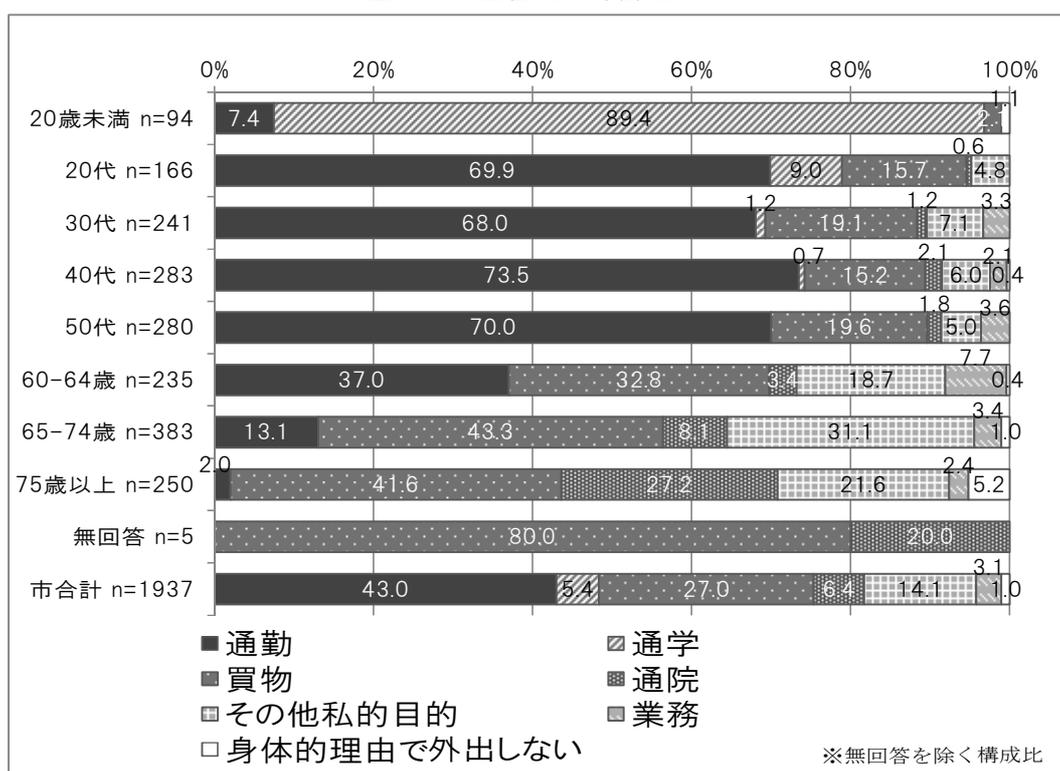


図8 外出目的（年齢別）



## ②主な目的地【問2②】

※問2①で「身体的理由で外出しない」以外に回答した方

□市全体では、約74%が「岡崎市内」を目的地と回答している。

図9 目的地（地域別）

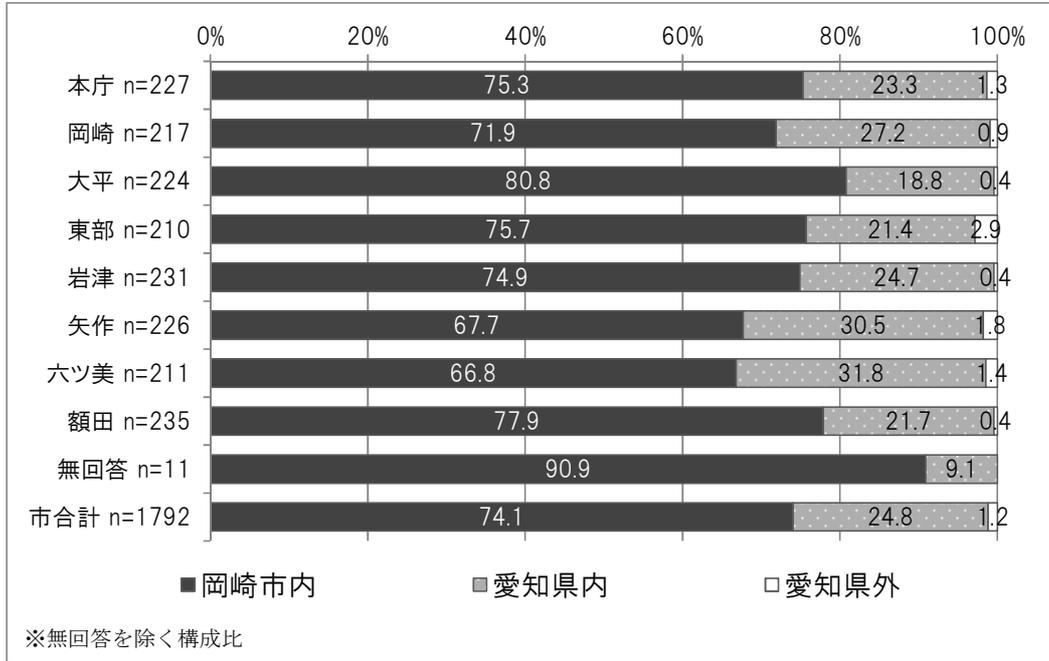
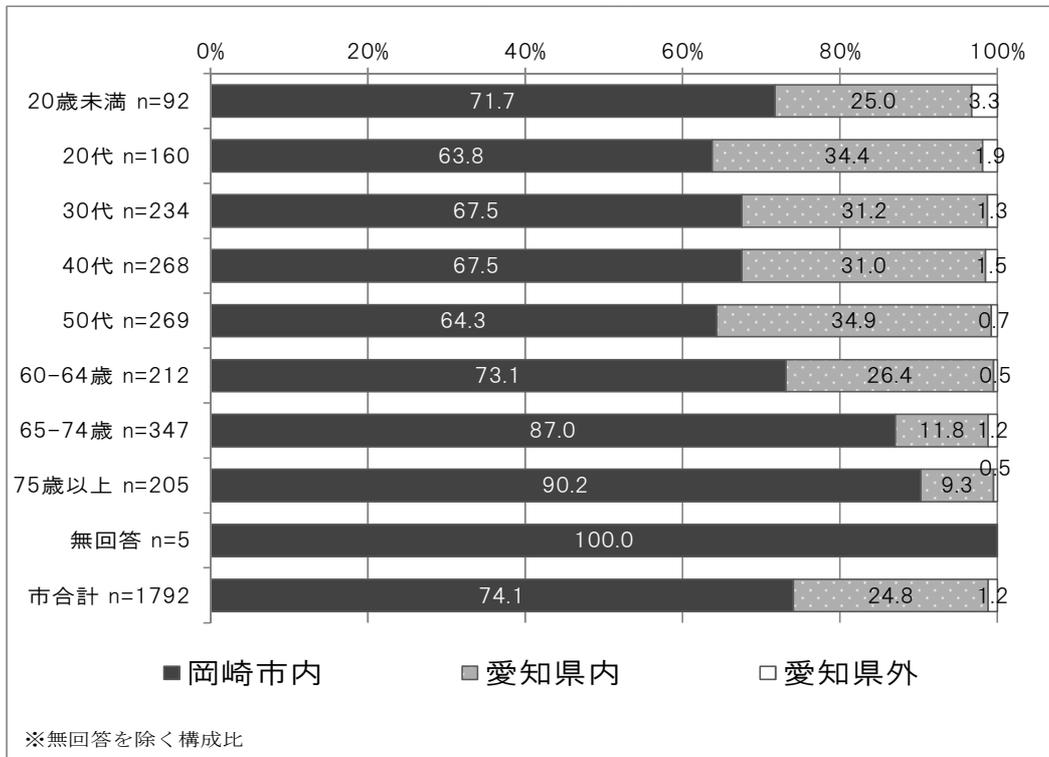


図10 目的地（年齢別）



### ③岡崎市及び周辺において移動する際の交通手段【問 2③】

※問 2①で「身体的理由で外出しない」以外に回答した方

- 市全体では、「自動車（運転及び送迎）」が76%を占める。
- 岡崎・東部・矢作地区では、「鉄道」の割合が約31%～34%を占める。
- 額田地区では、「自動車（運転及び送迎）」が約88%と高い割合を占める一方、「自転車」「徒歩」の割合が低い。

図 1 1 移動する際の交通手段

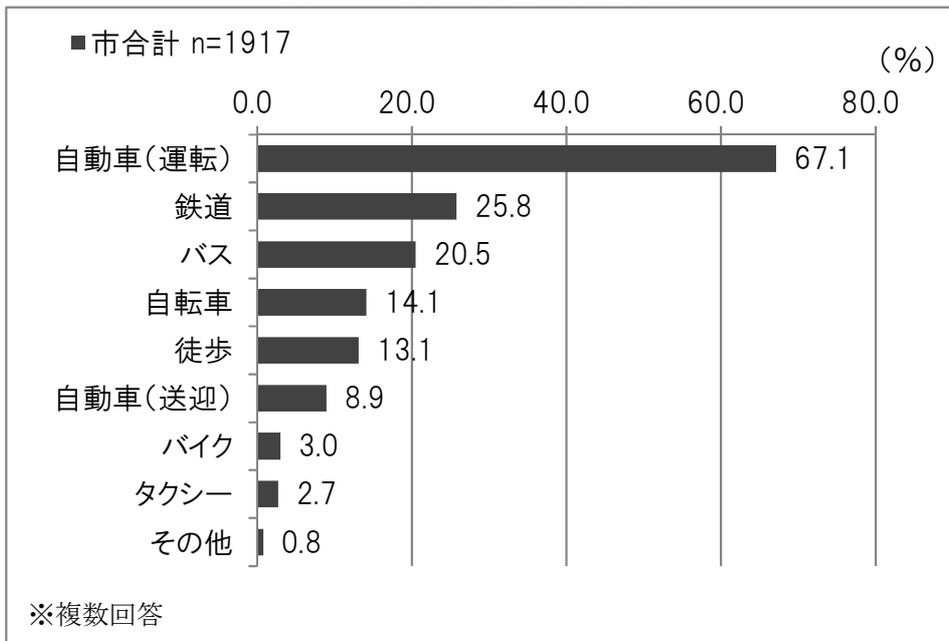
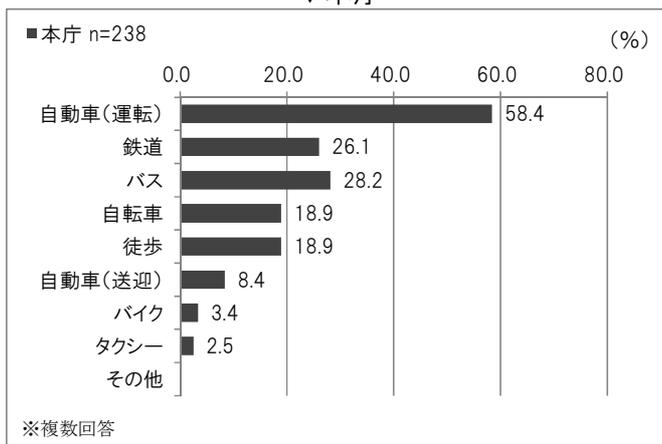
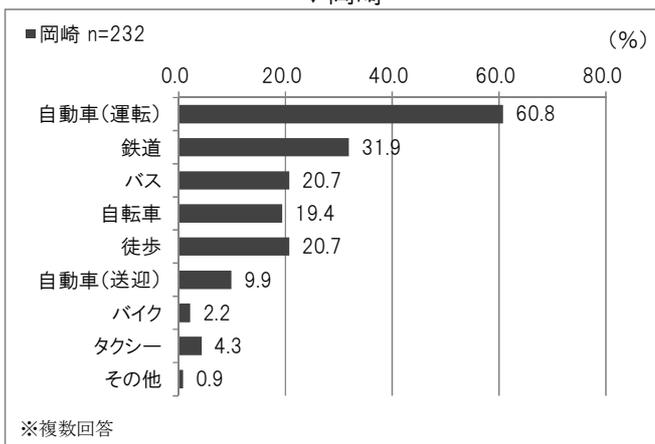


図 1 2 移動する際の交通手段の地域別クロス集計

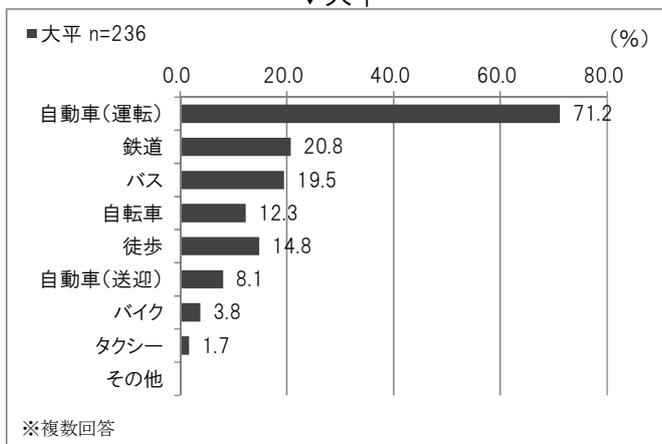
▼本庁



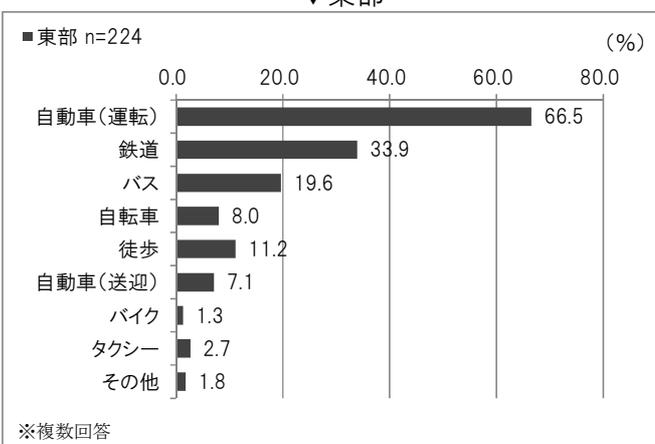
▼岡崎



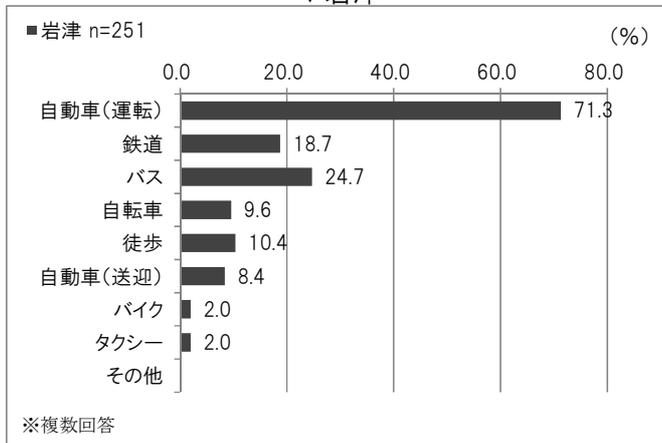
▼大平



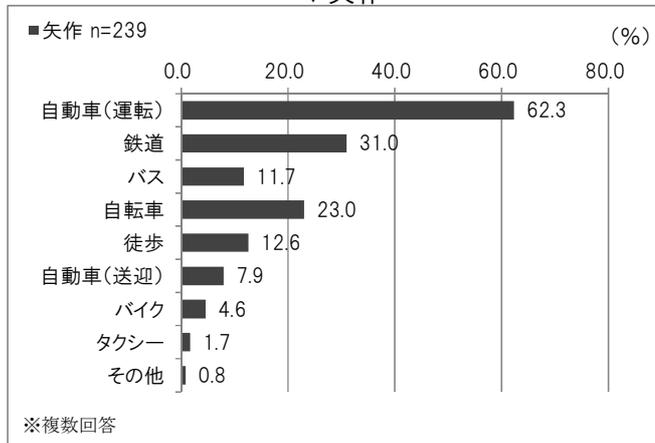
▼東部



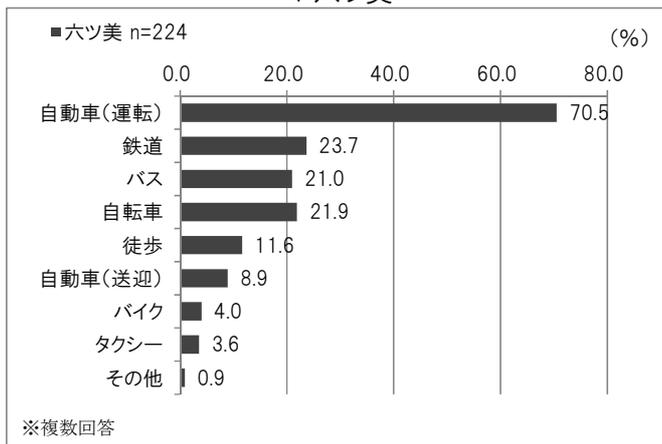
▼岩津



▼矢作



▼六ツ美



▼額田

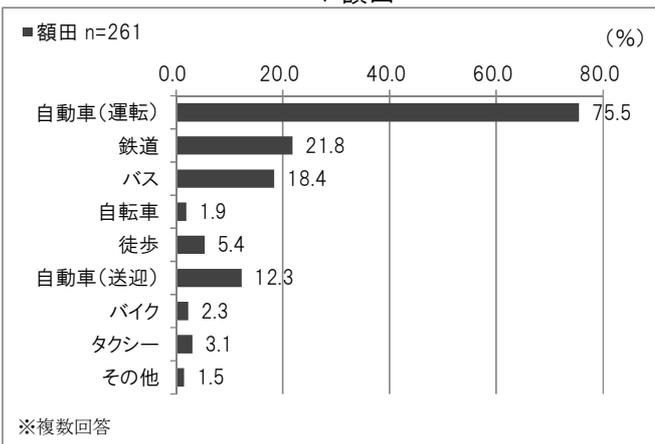
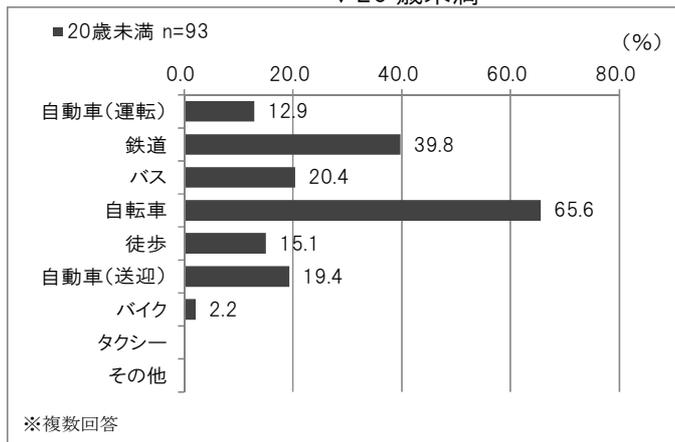
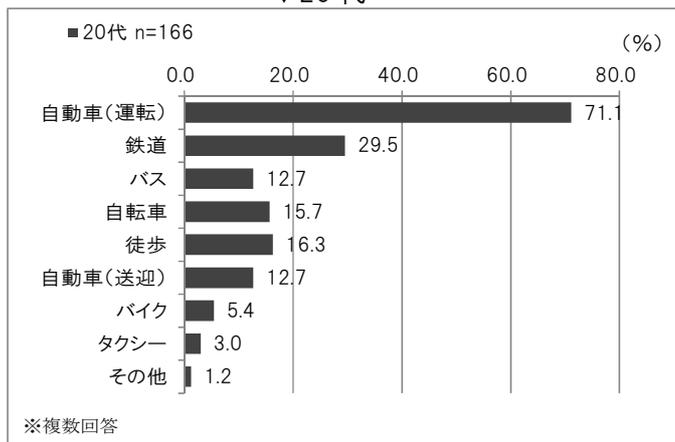


図 1 3 移動する際の交通手段の年齢別クロス集計

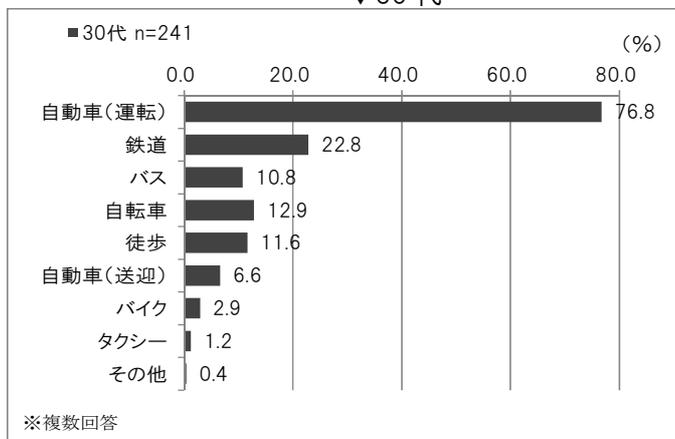
▼20歳未満



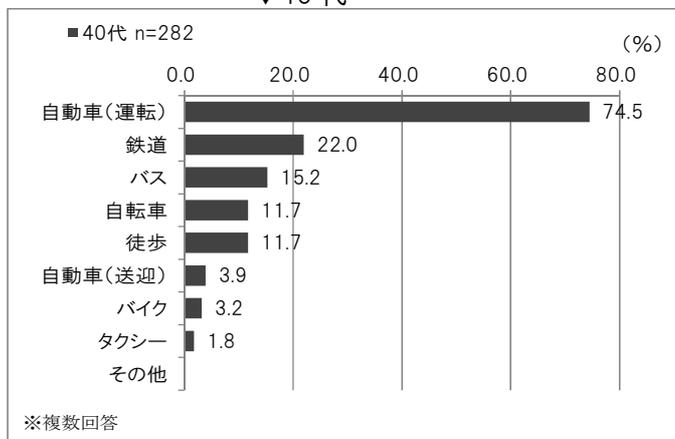
▼20代



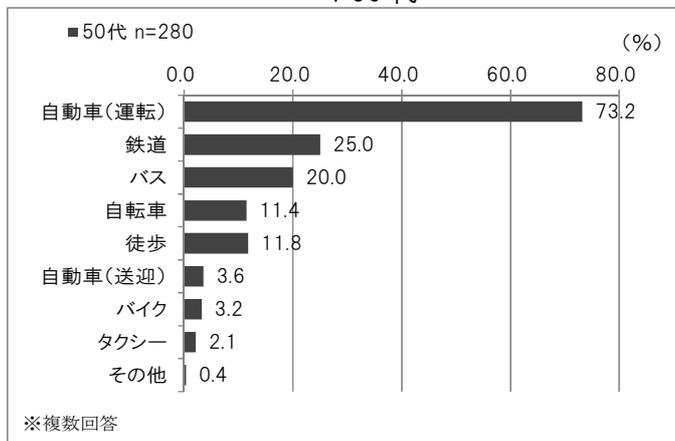
▼30代



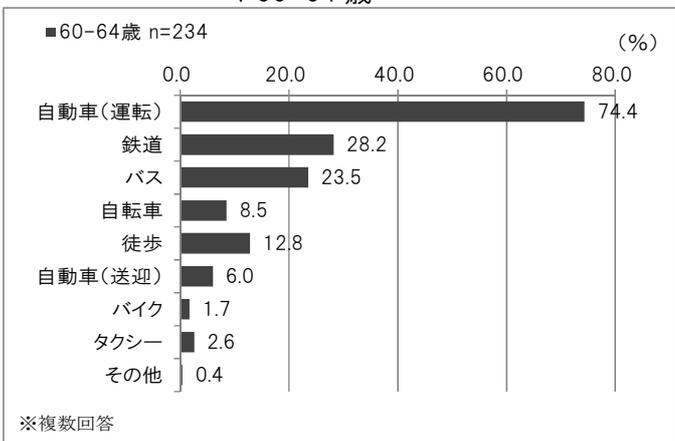
▼40代



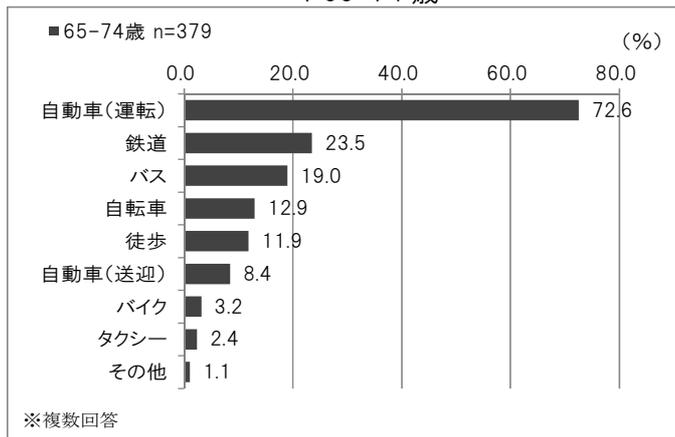
▼50代



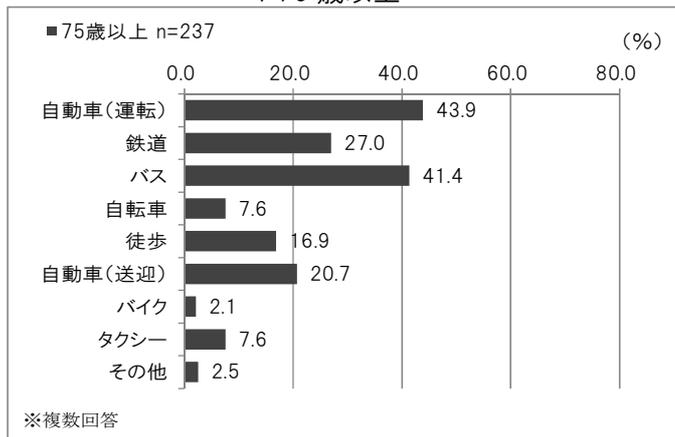
▼60-64歳



▼65-74歳



▼75歳以上



④岡崎市及び周辺において移動する際の代表交通手段【問2③】

※問2①で「身体的理由で外出しない」以外に回答した方

□市全体では、「自動車（運転及び送迎）」が約58%を占める。  
 ◇平成22年度結果と比較した場合、「鉄道」利用が約5ポイント高く、「バス」利用が約5ポイント低くなっている。

図14 代表交通手段

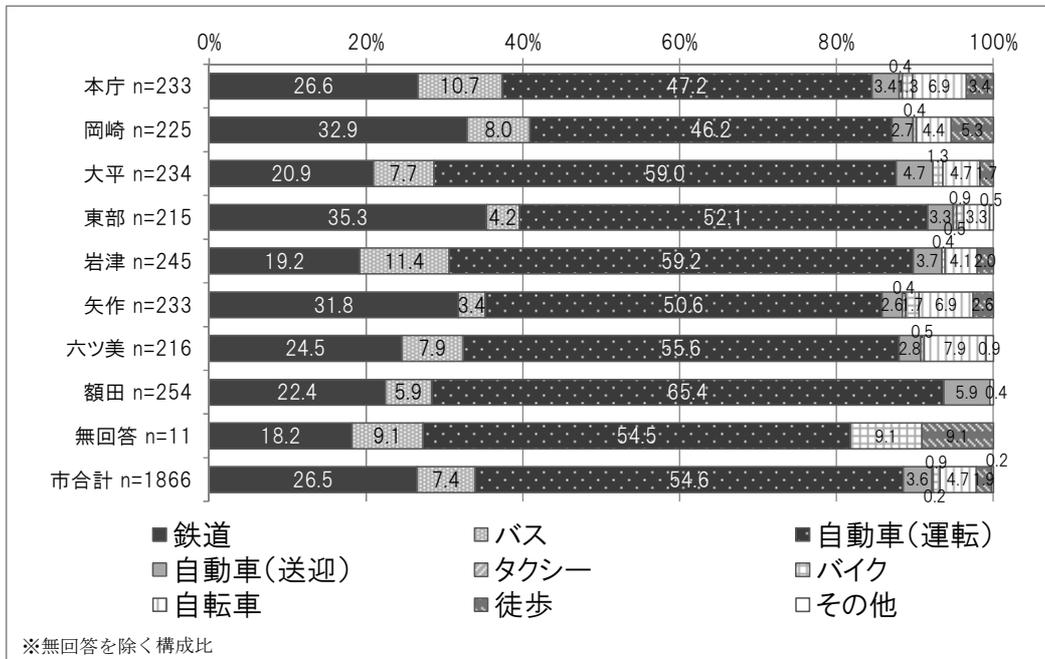
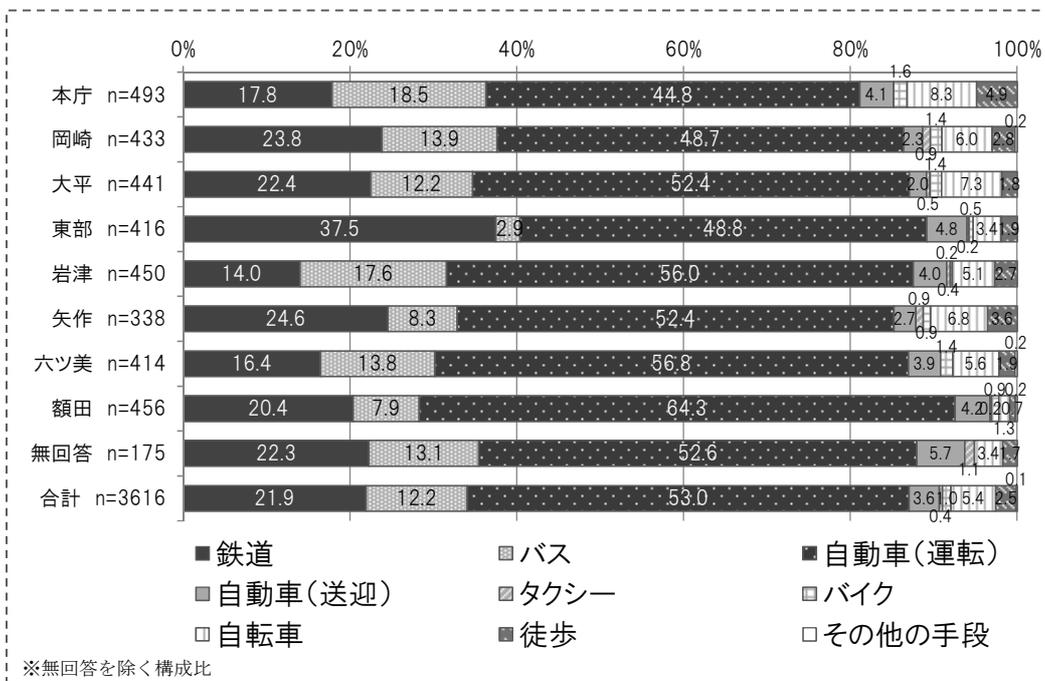


図15 平成22年度アンケート結果



### ⑤自宅から乗車駅までの交通手段【問 2④】

※問 2①で「身体的理由で外出しない」以外に回答した方で問 2②で「鉄道」のいずれかに回答した方

□市全体では、「徒歩」が約 32%と最も高く、次いで「自動車（自分で運転及び送迎）」が約 28%となっている。  
 ◇平成 22 年度結果と比較した場合、「バス」利用が低く、「自動車」利用が高くなっている。

図 16 自宅から乗車駅までの交通手段

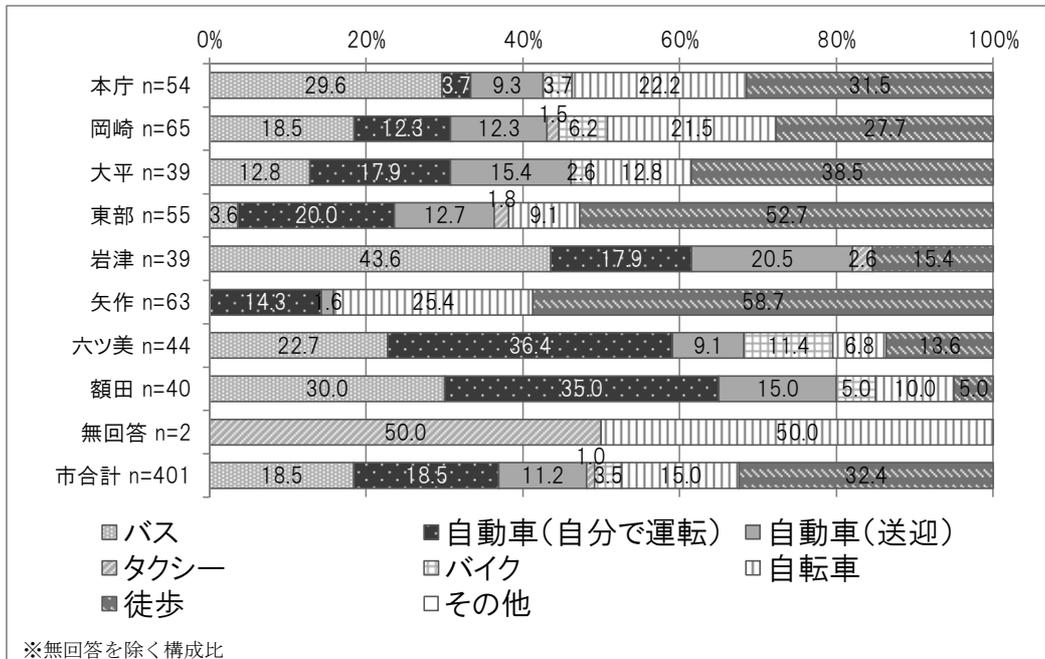
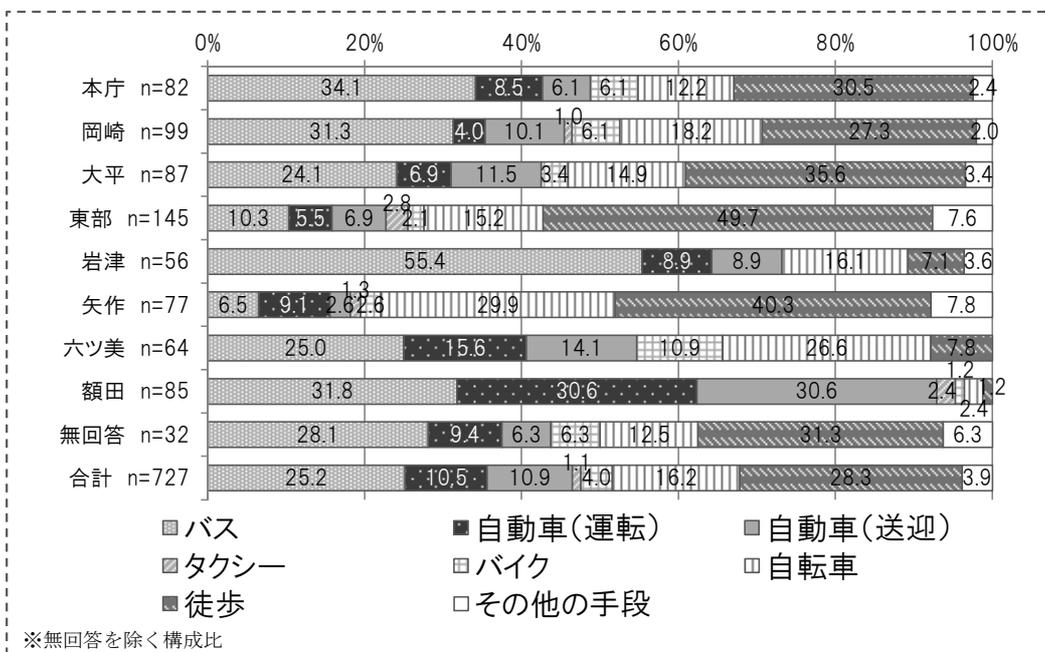


図 17 平成 22 年度アンケート結果



⑥乗車駅別の自宅から乗車駅までの交通手段【問 2④】

※問 2①で「身体的理由で外出しない」以外に回答した方で問 2②で「鉄道」のいずれかに回答した方

■ JR岡崎駅までは、「自動車（自分で運転及び送迎）」が約 38%、「バス」が約 19%、「自転車」が約 15%の利用となっている。

■ 東岡崎駅までは、「バス」が約 40%、「自動車（自分で運転及び送迎）」が約 30%、「自転車」が約 14%の利用となっている。

◇平成 22 年度結果と比較した場合、「バス」の利用割合が低下し、「自動車」の利用割合が増加している。

図 18 乗車駅別の自宅から乗車駅までの交通手段

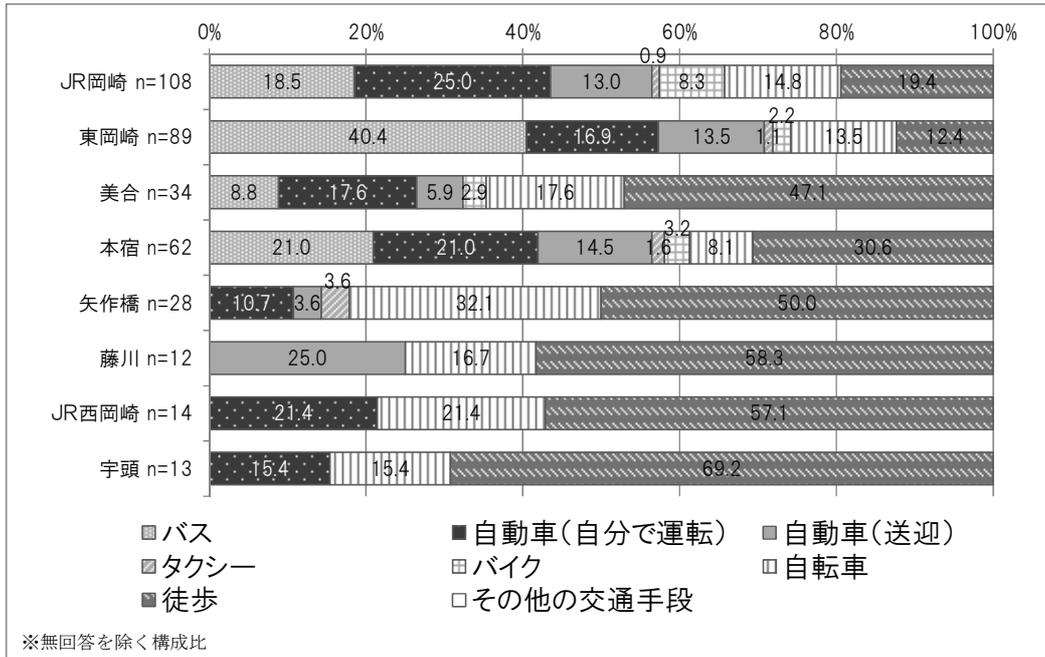
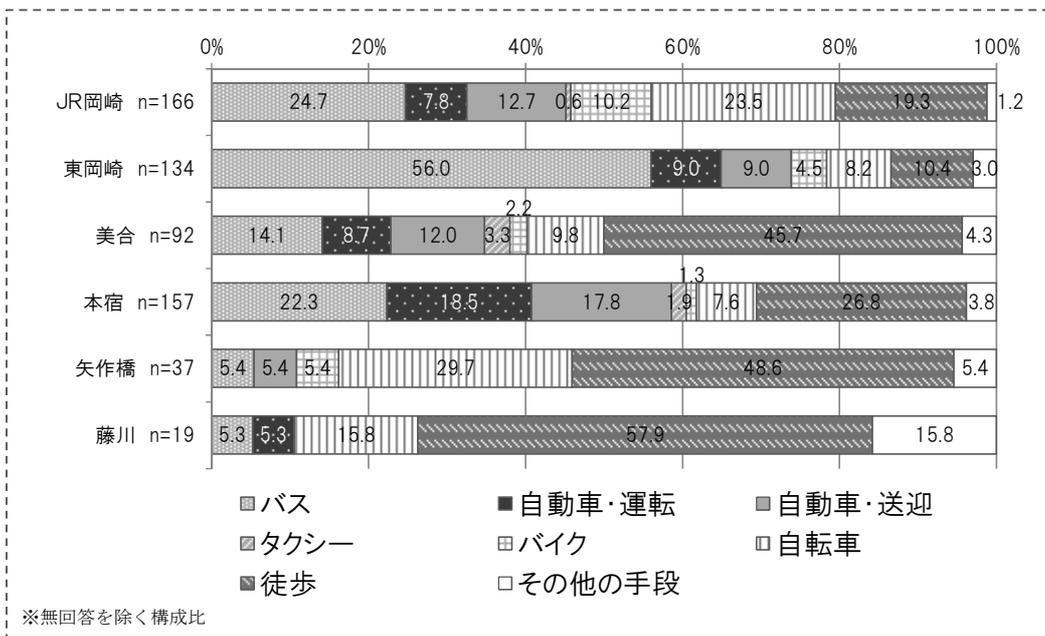


図 19 平成 22 年度アンケート結果



⑦自宅から乗車バス停までの交通手段【問 2④】

※問 2①で「身体的理由で外出しない」以外に回答した方で問 2②で「バス」のいずれかに回答した方

□市全体では、「徒歩」が約 85%を占める。

図 2 0 自宅から乗車バス停までの交通手段

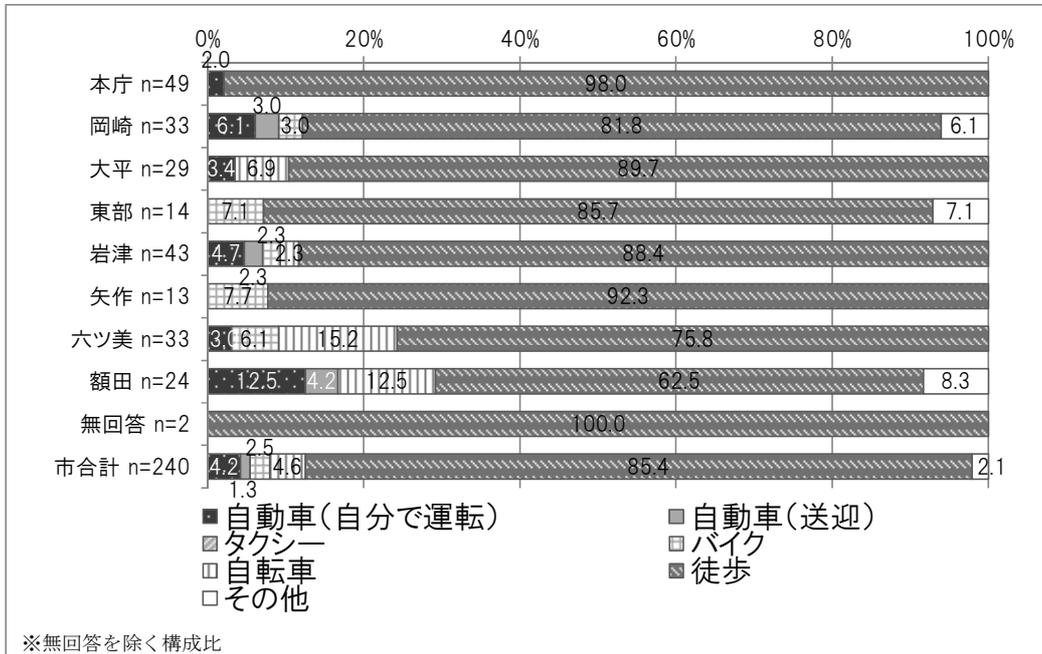
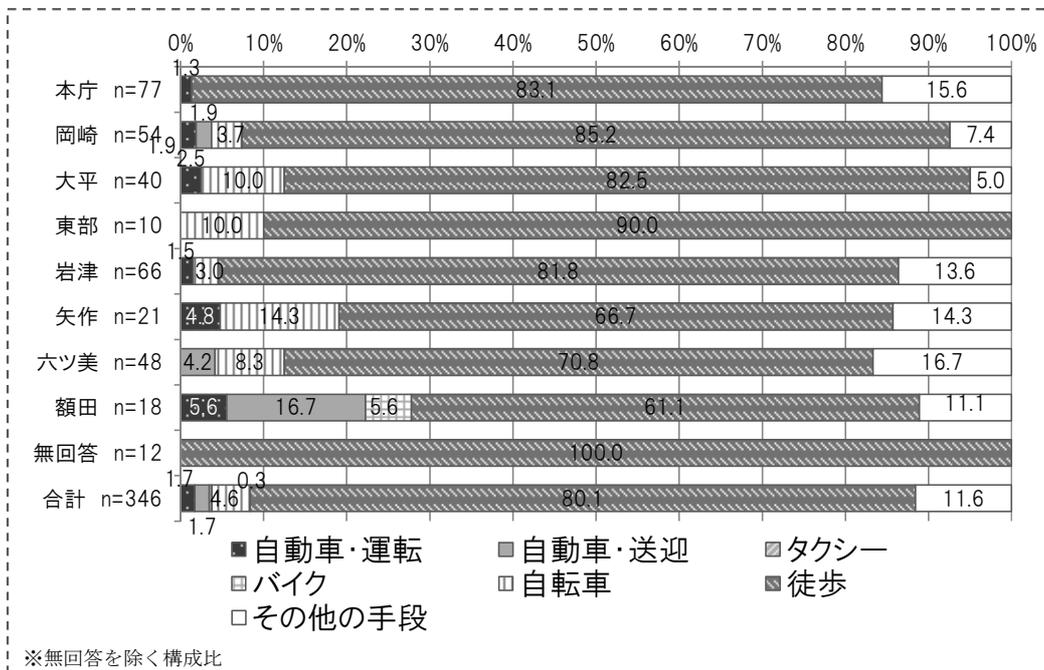


図 2 1 平成 22 年度アンケート結果



⑧降車バス停から目的地までの交通手段【問 2④】

※問 2①で「身体的理由で外出しない」以外に回答した方で問 2②で「バス」のいずれかに回答した方

□市全体では、「徒歩」が約 83%を占める。

図 2 2 降車バス停から目的地までの交通手段

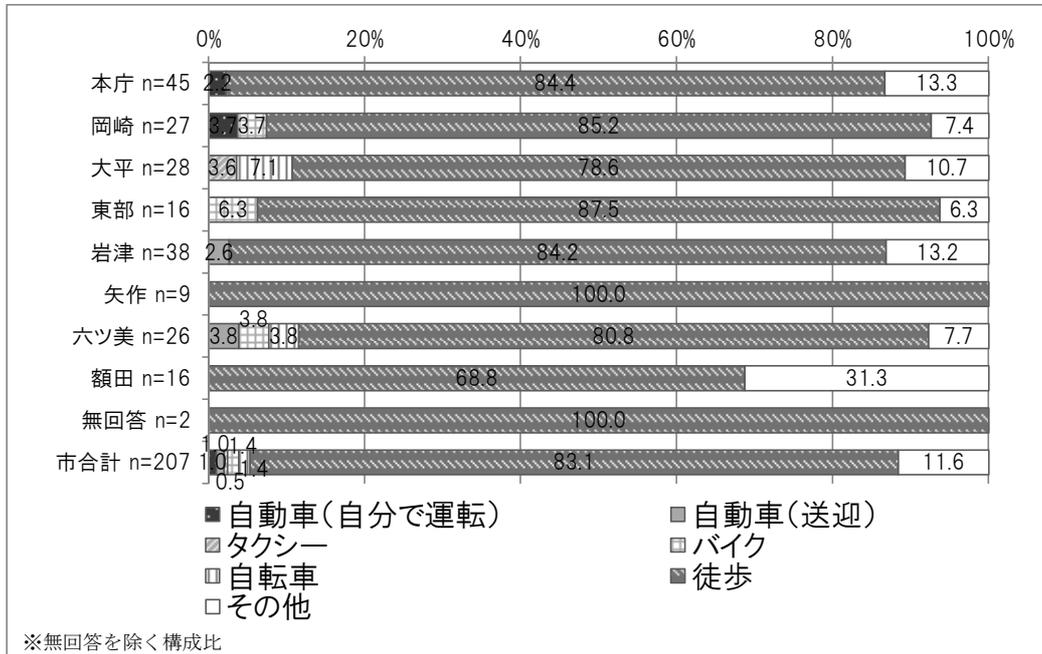
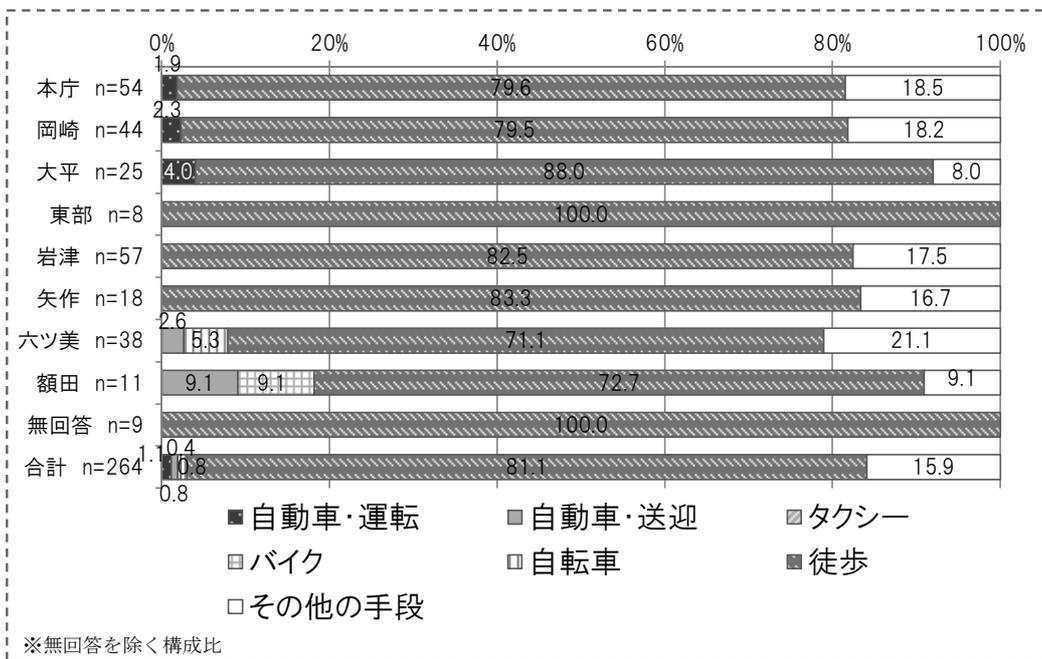


図 2 3 平成 22 年度アンケート結果



### ⑨交通手段別の利用頻度【問3①】

※問2①で「身体的理由で外出しない」以外に回答した方

□鉄道は、市全体で「年に数回程度」の利用が約36%と最も高い。  
 □バスは、「利用していない」方が約51%と半数を占める。  
 ■バスは、矢作・額田地区で約67~69%が「利用していない」と回答している。  
 □自動車・バイクは、市全体で「平日ほぼ毎日以上」の利用が約62%を占める。  
 ■自転車は、額田地区で約82%が「利用していない」と回答している。  
 ■徒歩は、額田地区で「利用していない」が約55%を占める。

図24 鉄道（地域別）

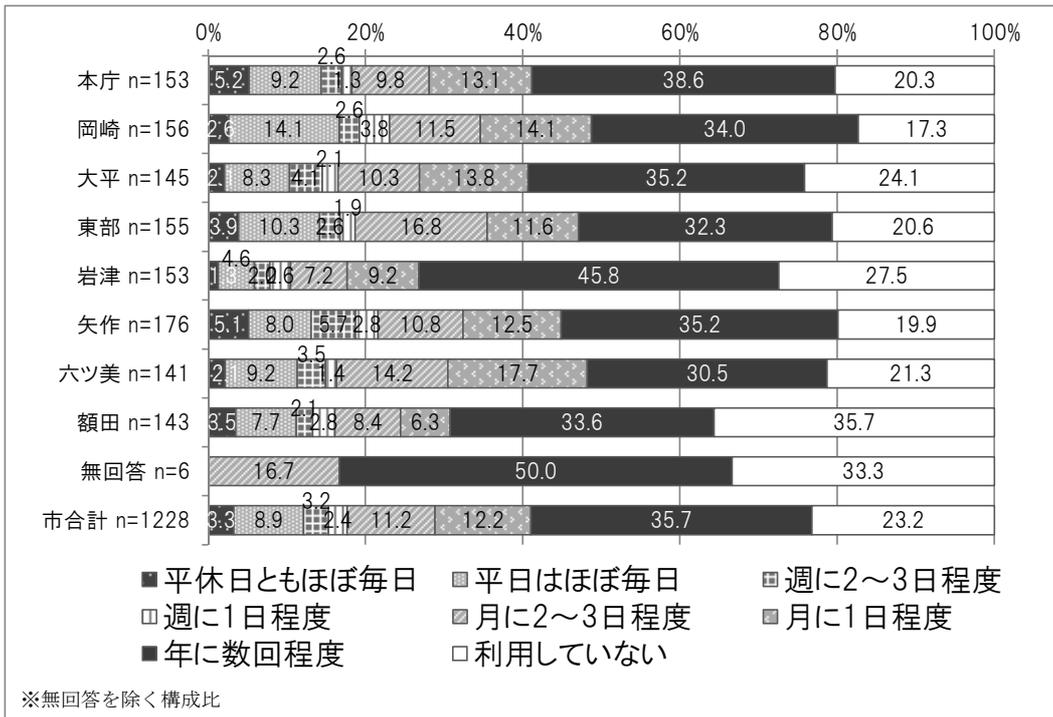


図25 鉄道（年齢別）

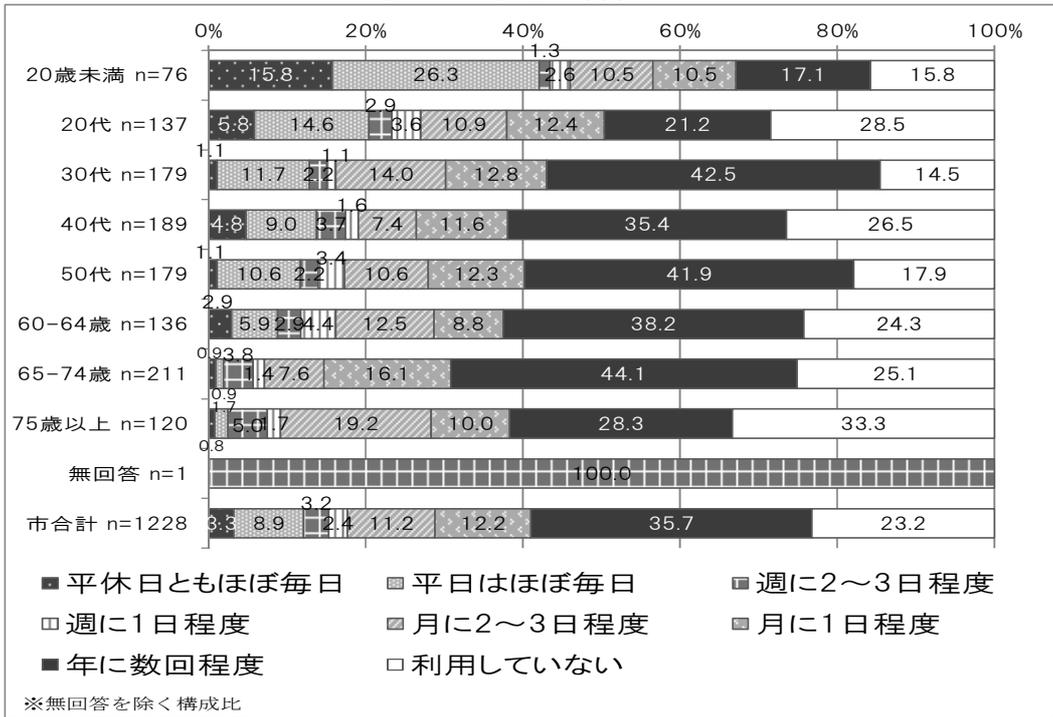


図26 バス（地域別）

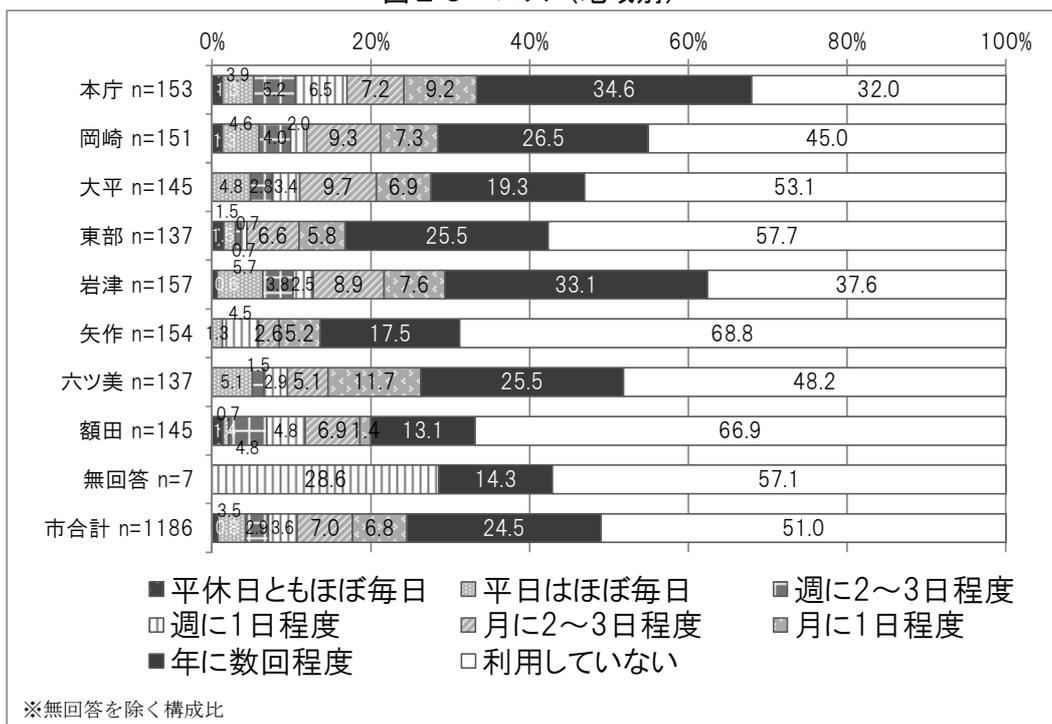


図27 バス（年齢別）

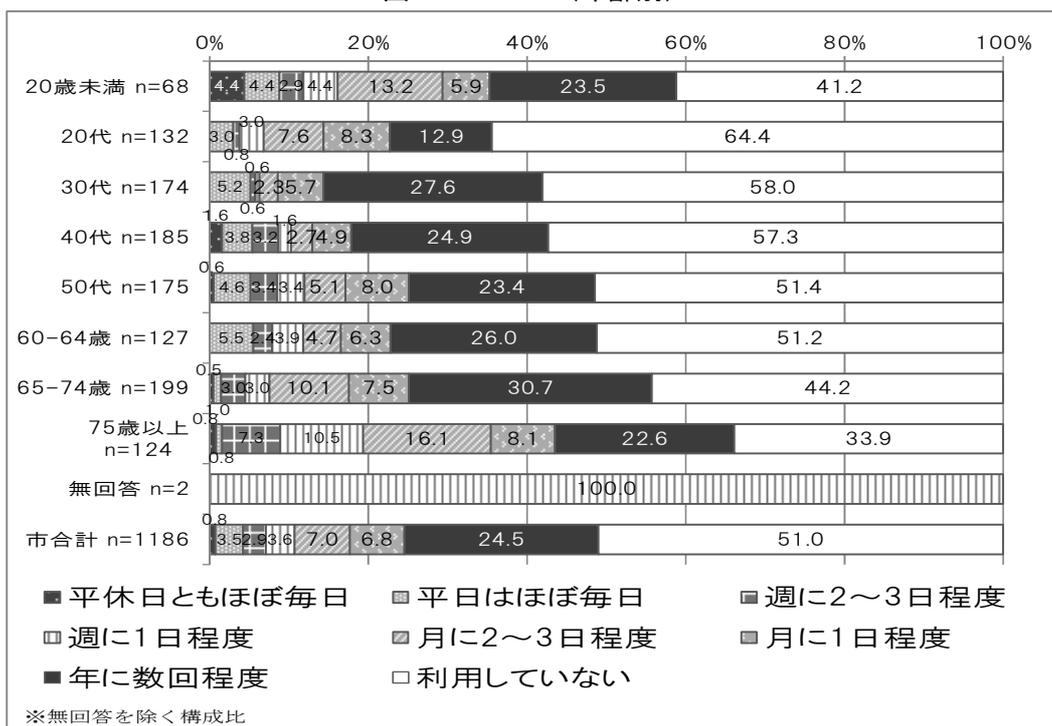


図28 自動車・バイク（地域別）

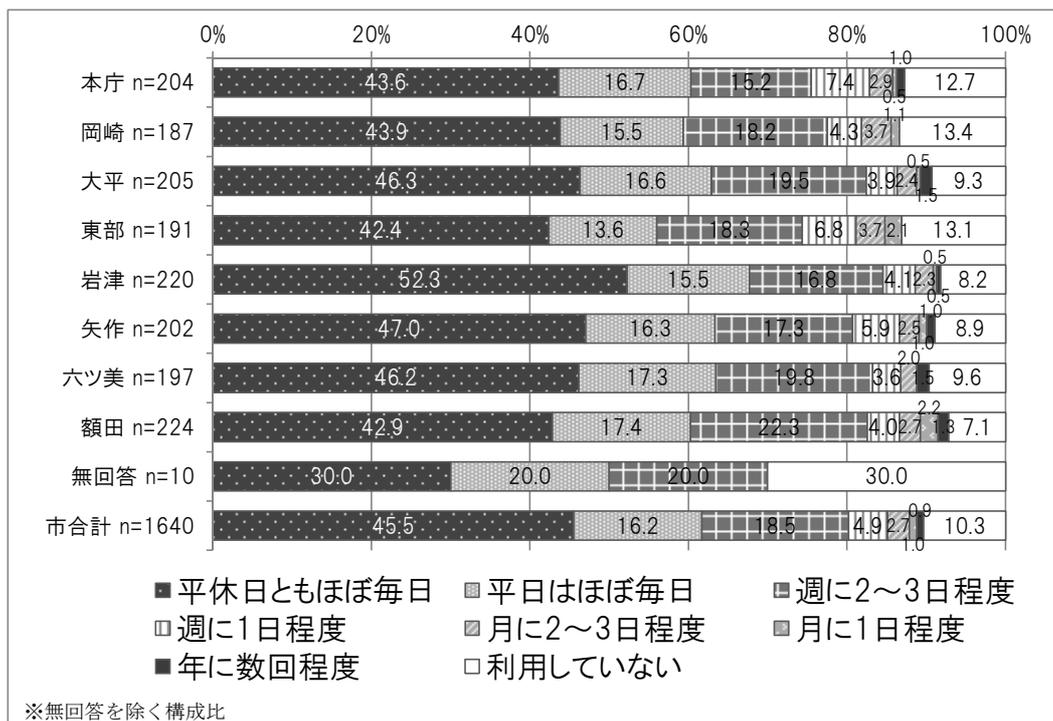


図29 自動車・バイク（年齢別）

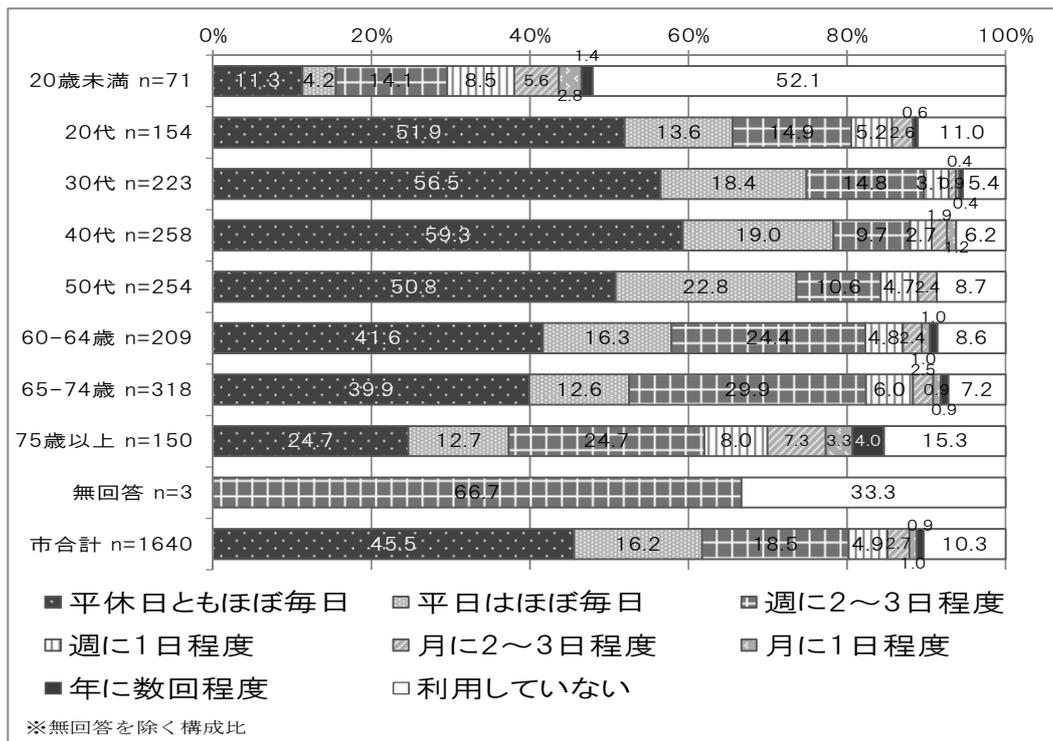


図30 自転車（地域別）

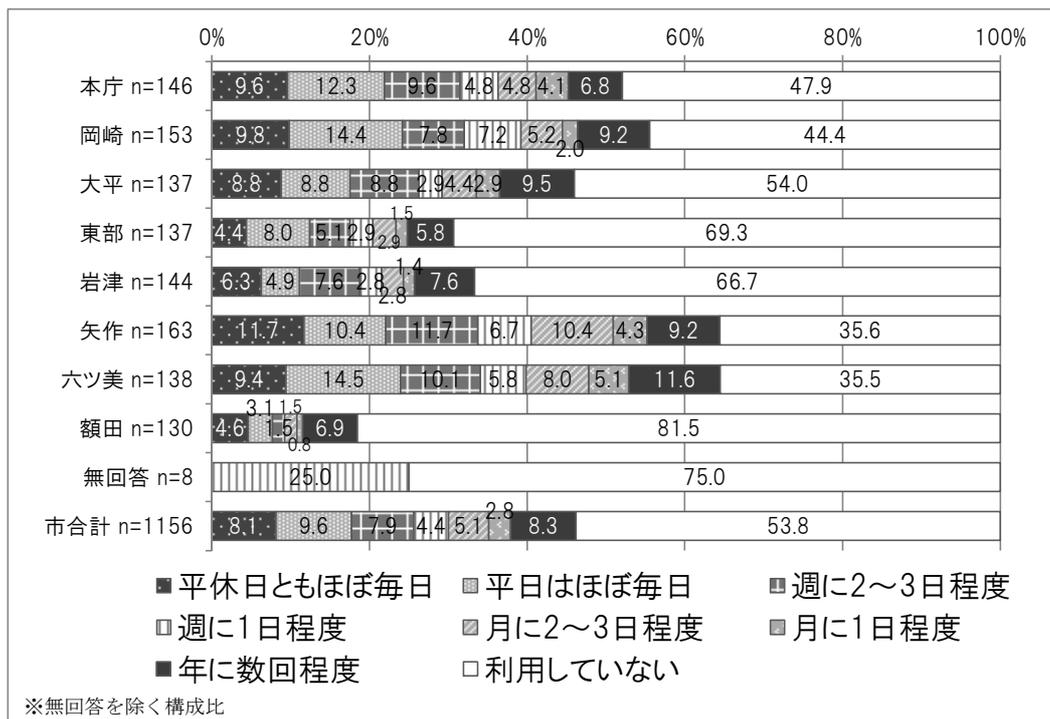


図31 自転車（年齢別）

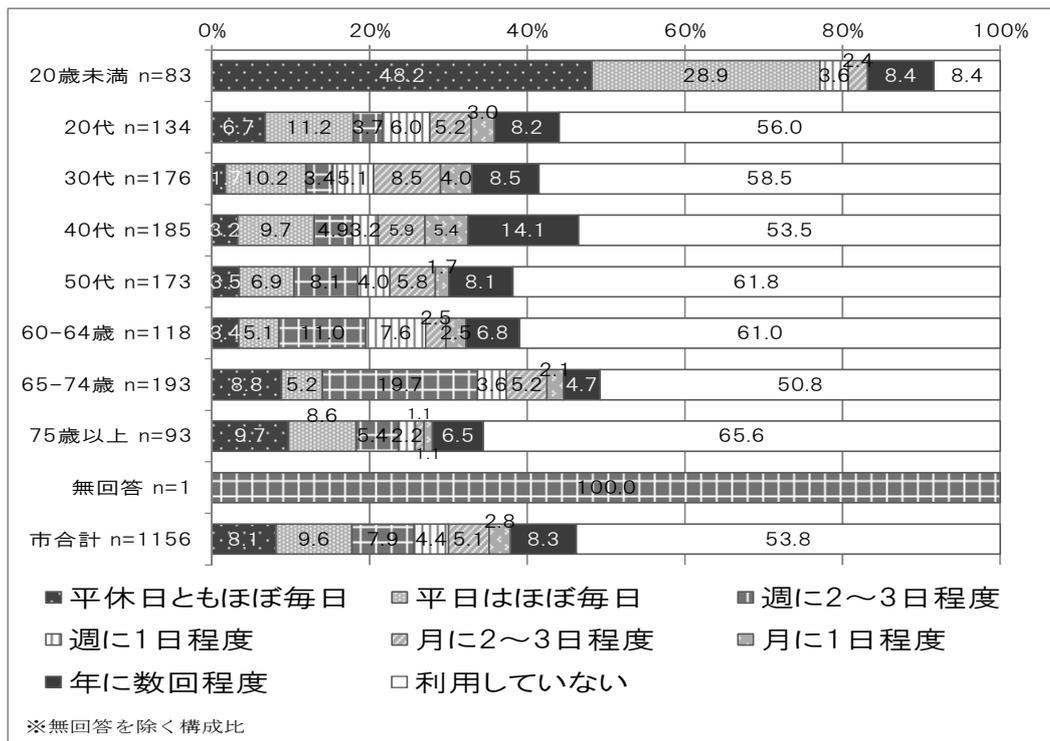


図3 2 徒歩（地域別）

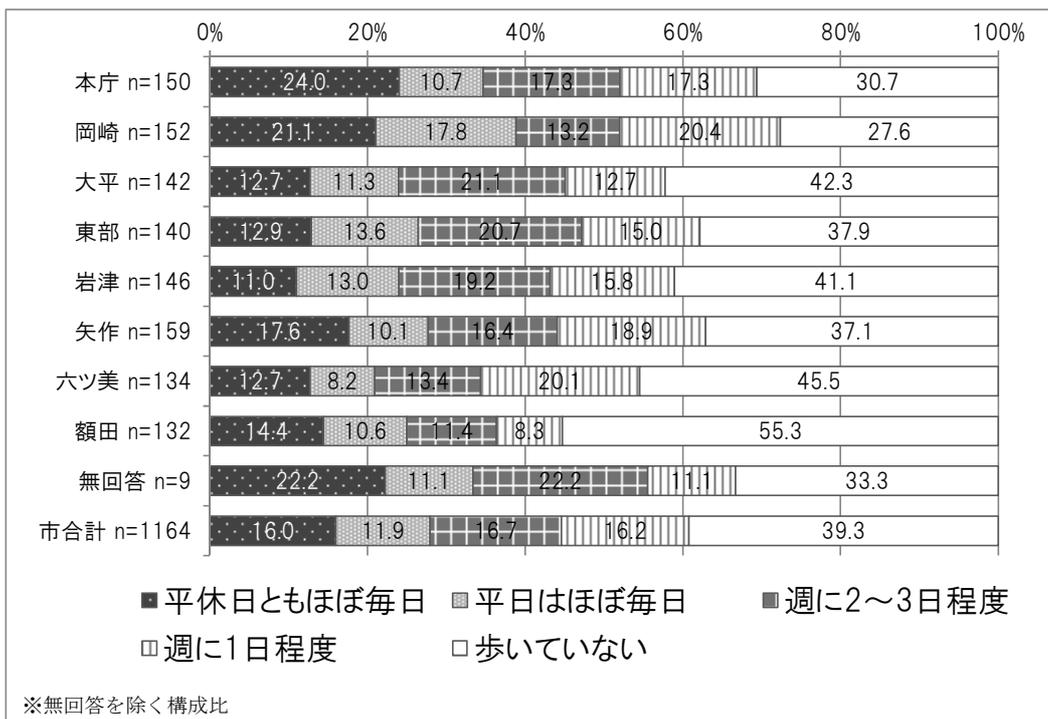
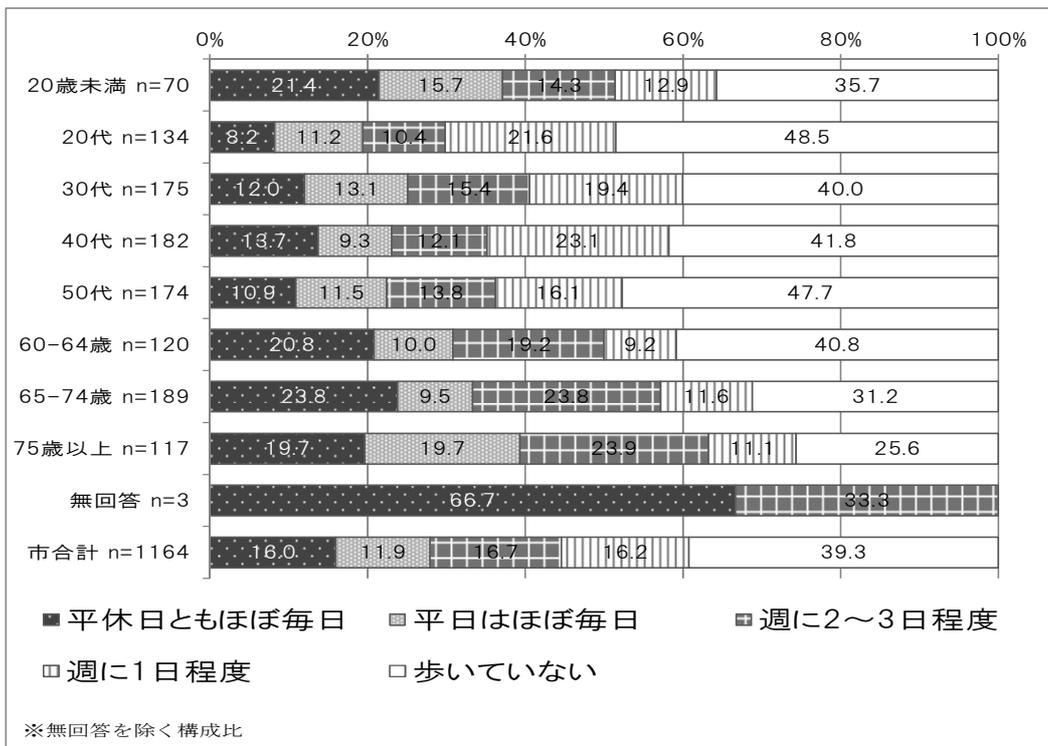


図3 3 徒歩（年齢別）



### ⑩交通手段「鉄道」の満足度と不満項目【問3②③】

※問2①で「身体的理由で外出しない」以外に回答した方

□満足度は、市全体で「満足+やや満足」が57%と「やや不満+不満」の約16%を上回っている。  
 □不満項目では、市全体で「運賃が高い」が約22%と最も高く、次いで「駅アクセスが悪い」が16%となっている。  
 ■地区別に見た場合、市全体で挙げられた項目以外に、本庁地区等で「駅周辺の駐車場が不足」、額田・六ツ美地区等で「バスとの接続が悪い」が高い。

図34 鉄道の満足度（地域別）

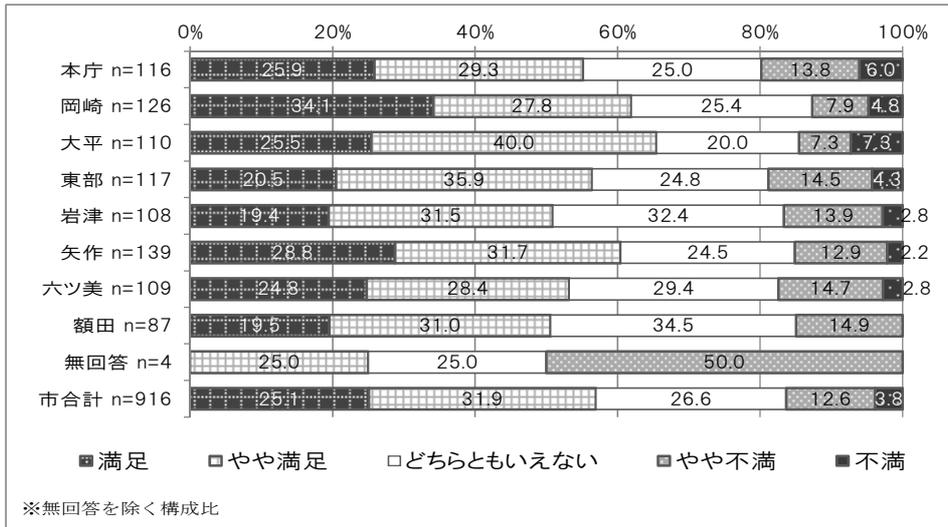


図35 鉄道の満足度（年齢別）

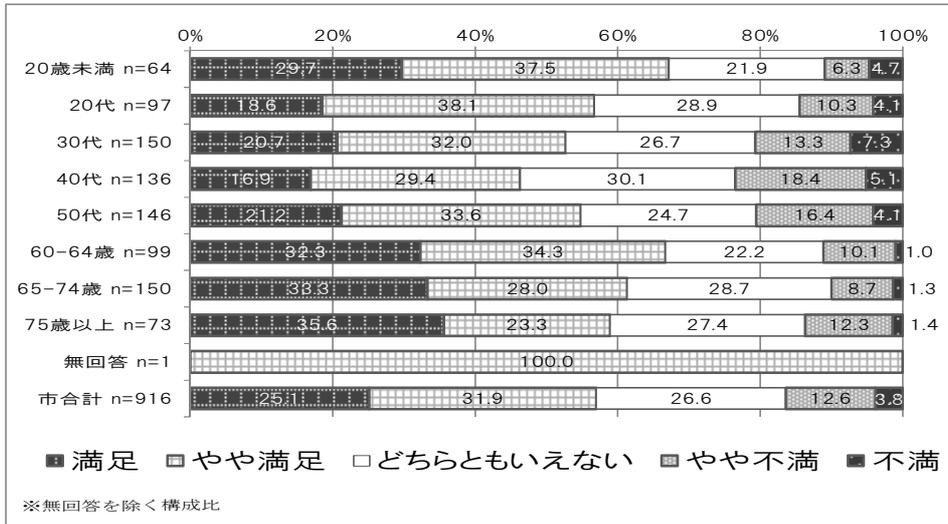


図36 鉄道の不満項目（市合計）

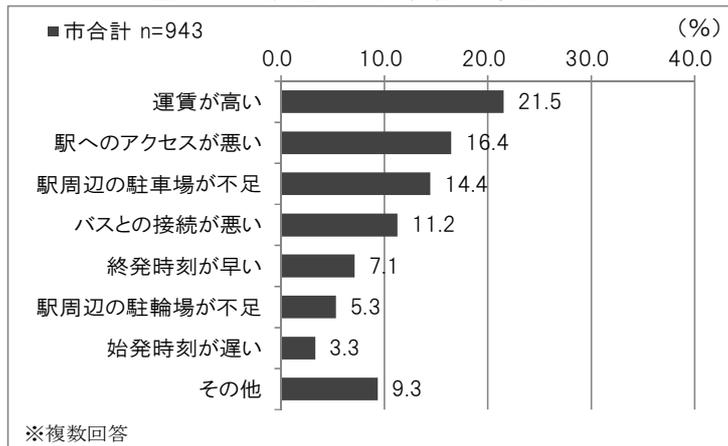


図37 鉄道の不満項目の地域別クロス集計

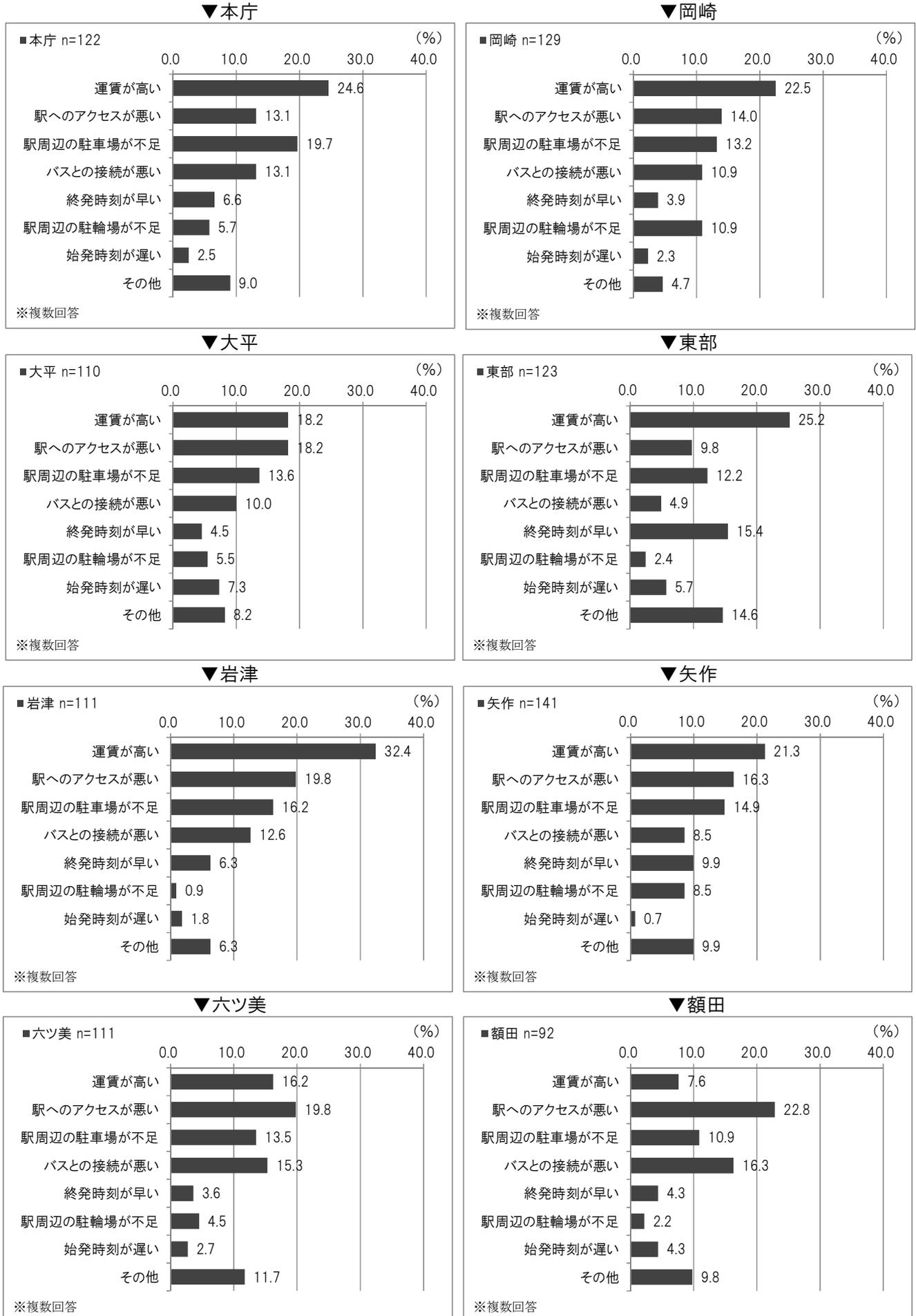
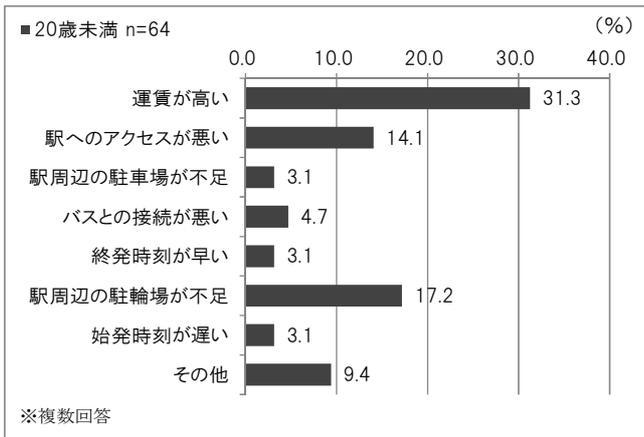
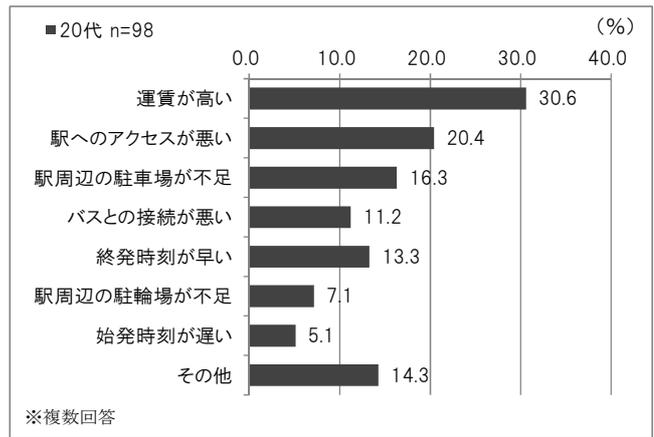


図38 鉄道の不満項目の年齢別クロス集計

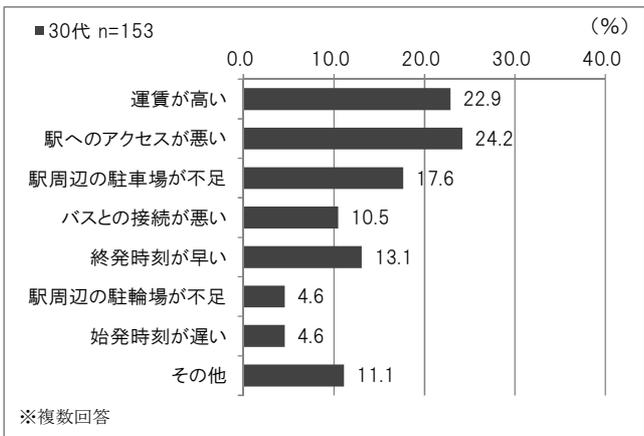
▼20歳未満



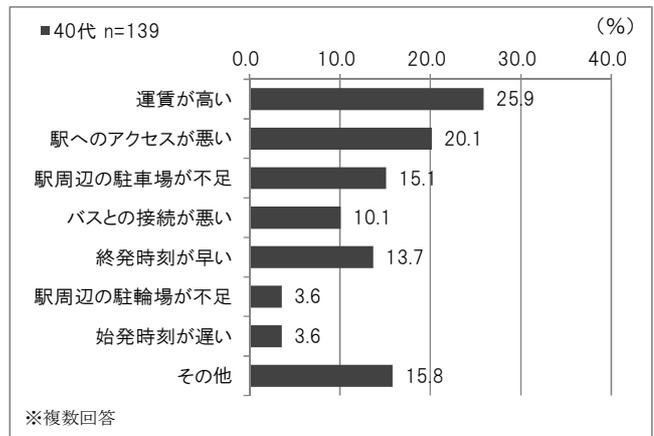
▼20代



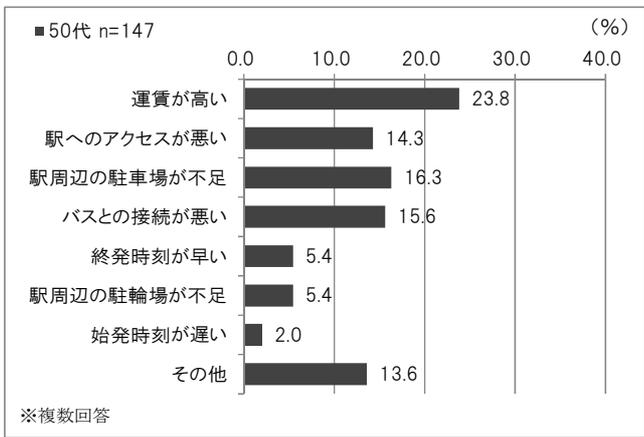
▼30代



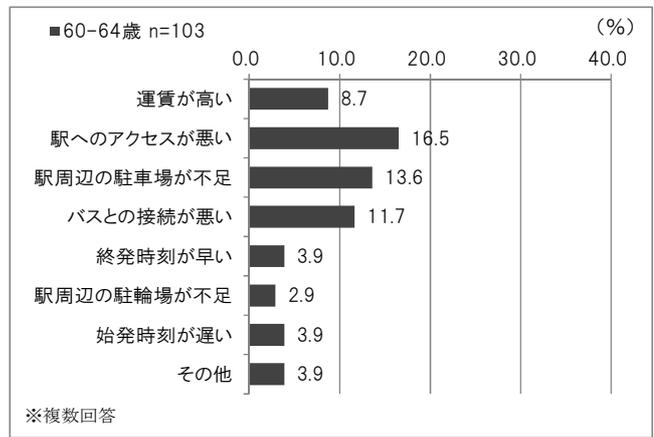
▼40代



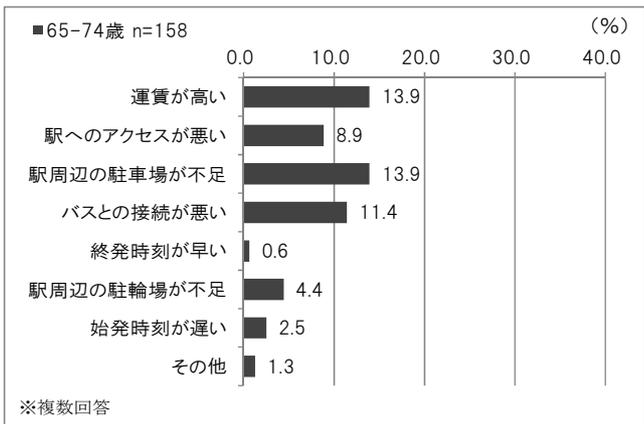
▼50代



▼60-64歳



▼65-74歳



▼75歳以上

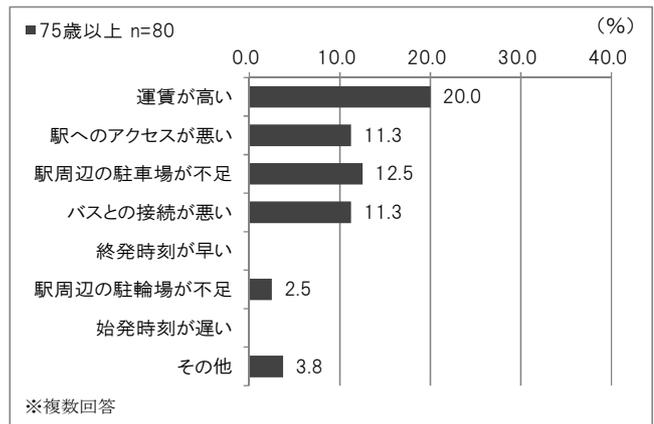
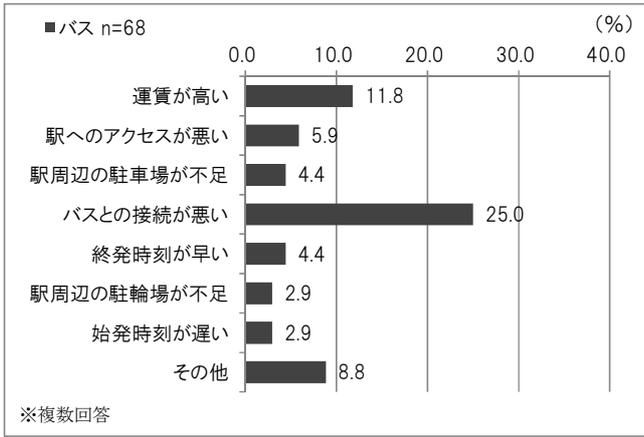
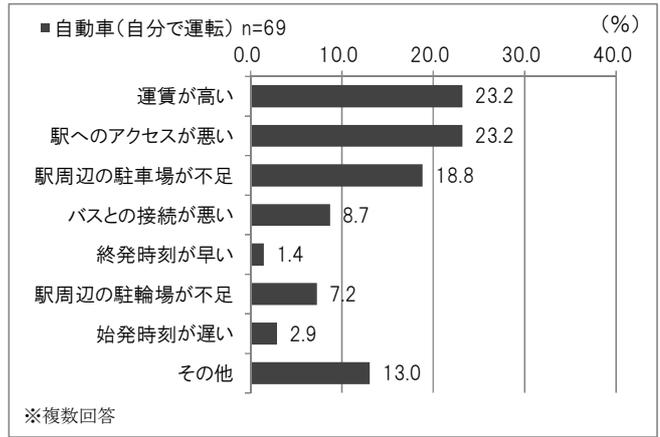


図39 鉄道の不満項目の鉄道駅乗車交通手段別クロス集計

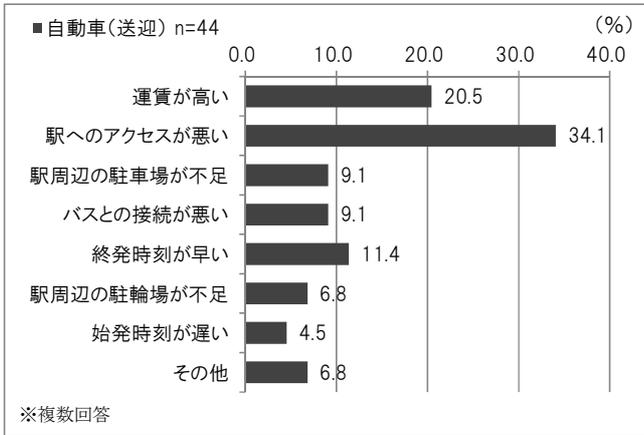
▼バス



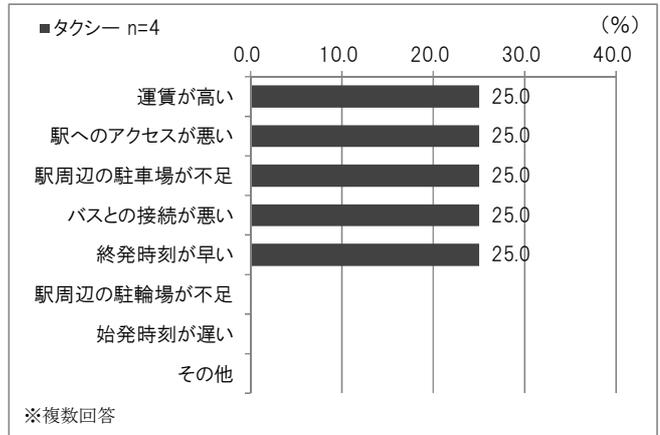
▼自動車(自分で運転)



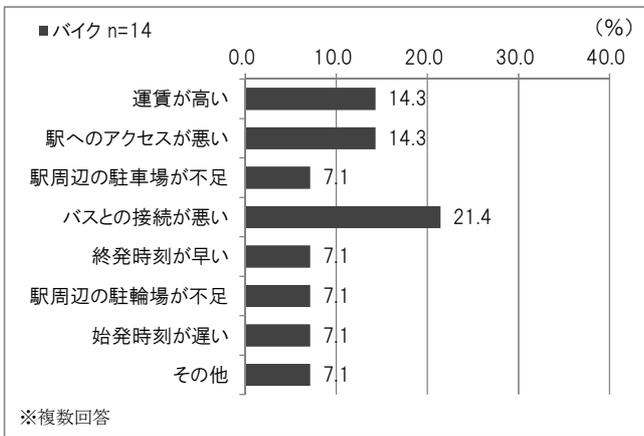
▼自動車(送迎)



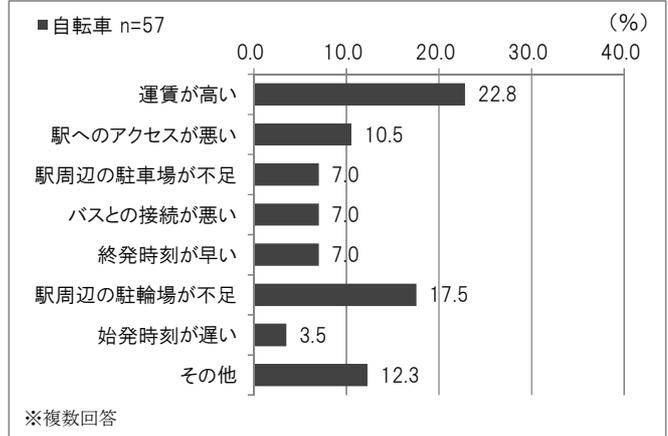
▼タクシー



▼バイク



▼自転車



▼徒歩

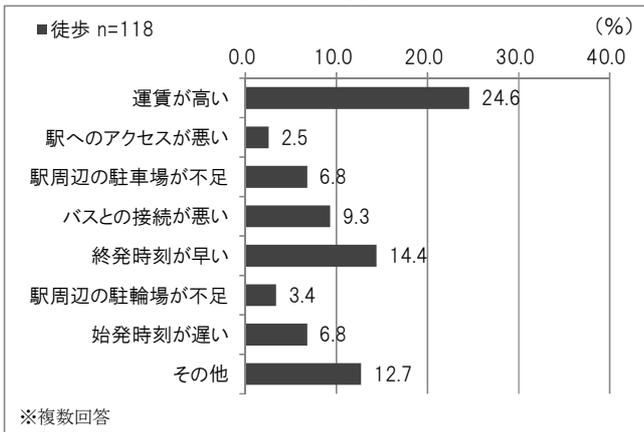
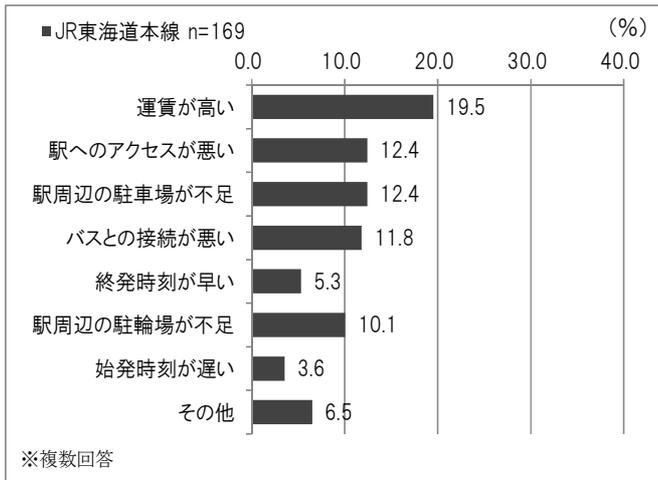
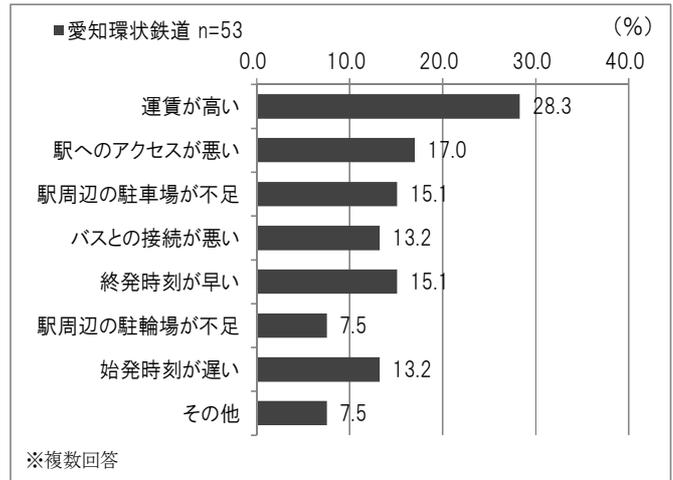


図 4 0 鉄道の不満項目の鉄道会社別クロス集計

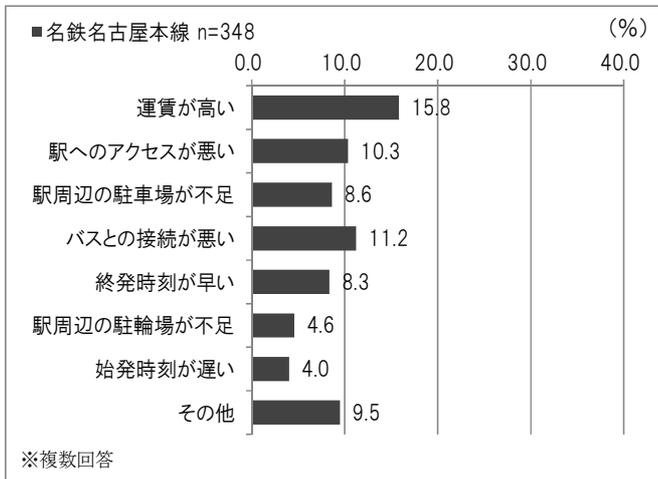
▼JR東海道本線



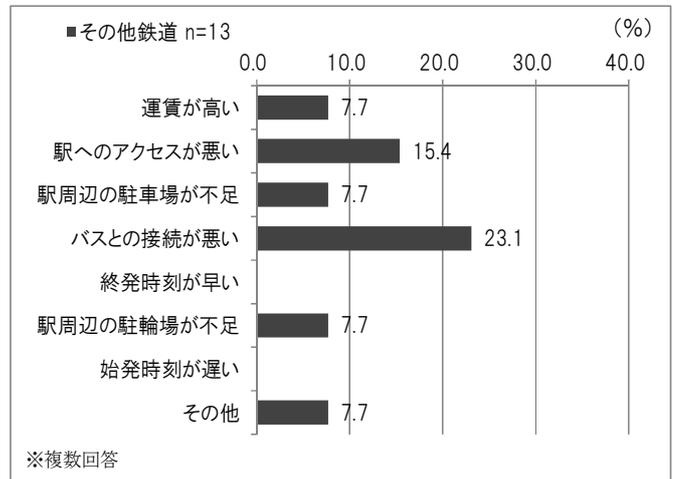
▼愛知環状鉄道



▼名鉄名古屋本線



▼その他鉄道



名古屋市営地下鉄	6
JR中央本線	1
JR飯田線	1
近鉄	1
豊橋鉄道渥美線	1
名鉄西尾線	1
名鉄三河線	1
無回答	1
計	13

### ①交通手段「バス」の満足度と不満項目【問3②③】

※問2①で「身体的理由で外出しない」以外に回答した方

□満足度は、市全体で「不満+やや不満」が約37%と「満足+やや満足」の約38%を上回る。  
 ◇H22年度結果と比較した場合、「不満+やや不満」の割合が8ポイント増加している。  
 □不満項目では、市全体で「時刻表どおりに来ない」が約21%と最も高く、次いで「運賃が高い」が約19%となっている。  
 ■地区別に見た場合、市全体で挙げられた項目以外に、本庁・岡崎・大平・六ツ美地区で「終発時刻が早い」、東部・矢作・額田地区で「バス停の待合環境が悪い」が高い。

図4-1 バスの満足度（地域別）

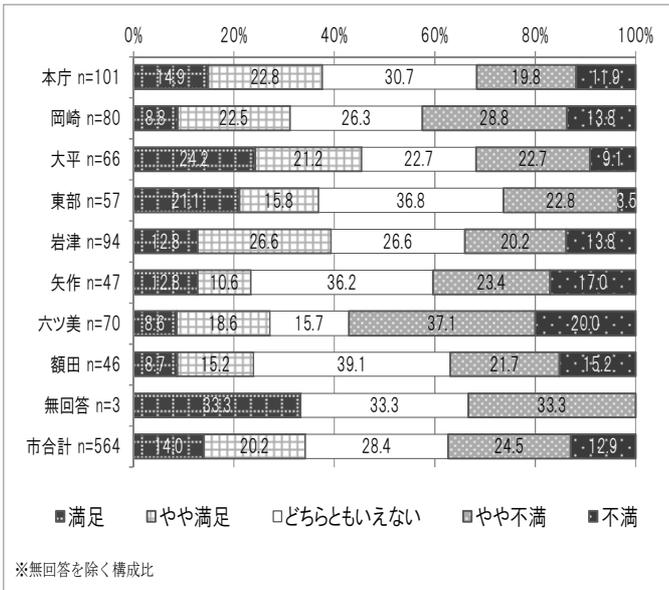


図4-2 バスの満足度（年齢別）

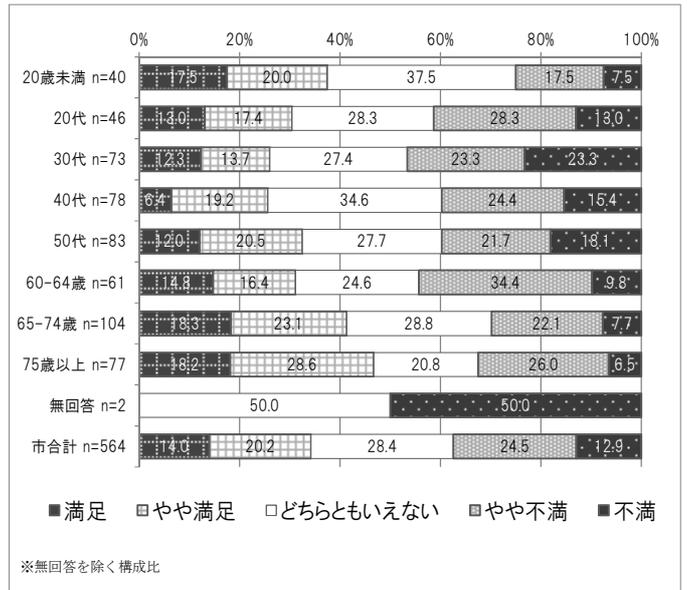
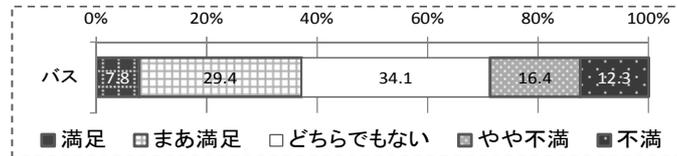


図4-3 平成22年度アンケート結果



※都心地域における具体的項目に対する満足度を集計した値

図4-4 バスの不満項目【市合計】

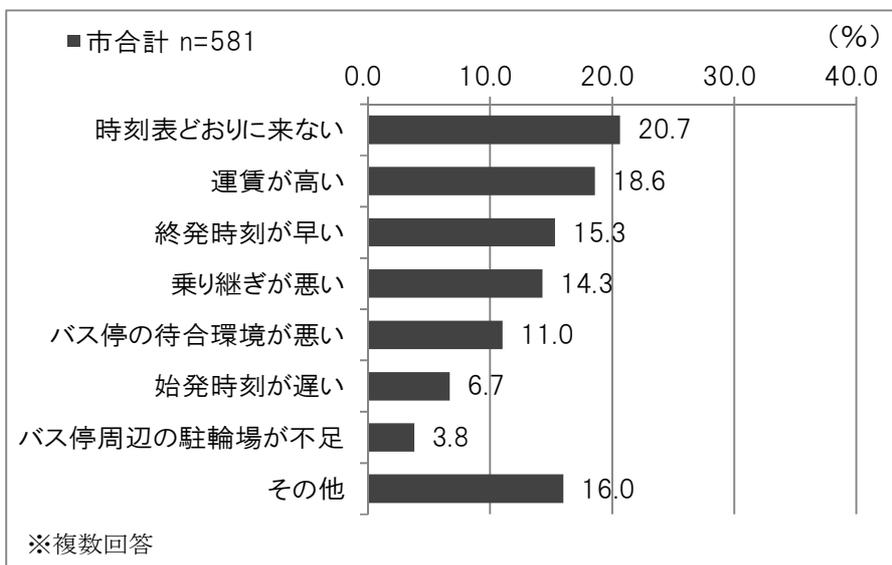
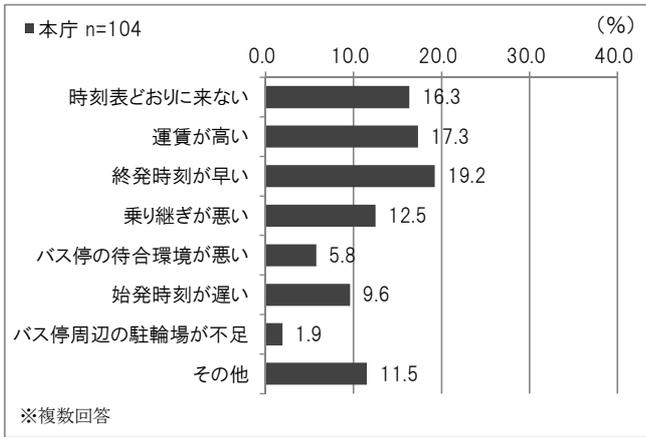
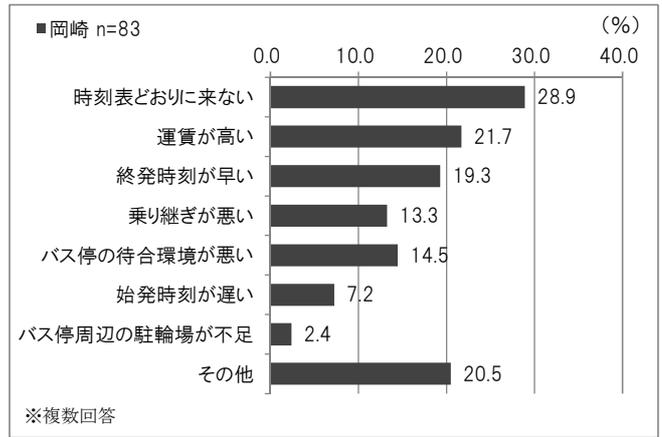


図 4 5 バスの不満項目の地域別クロス集計

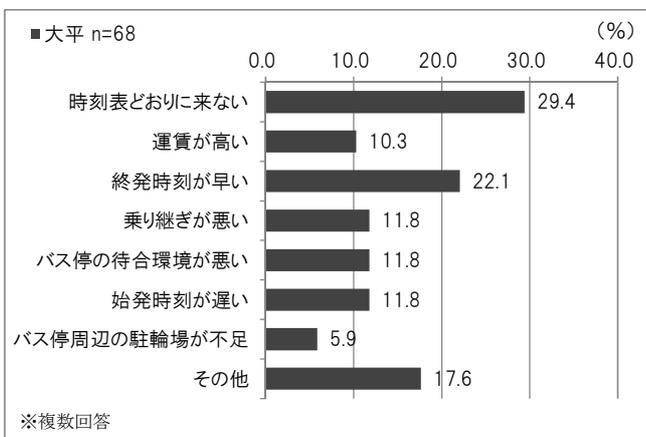
▼本庁



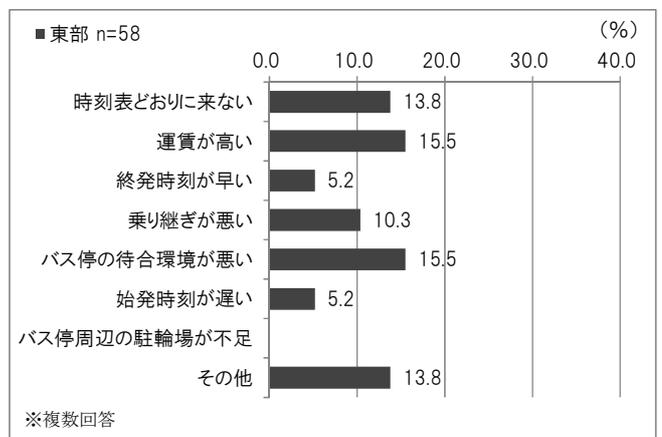
▼岡崎



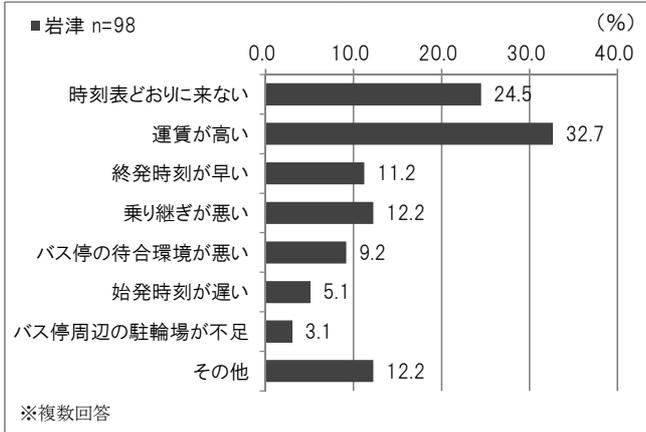
▼大平



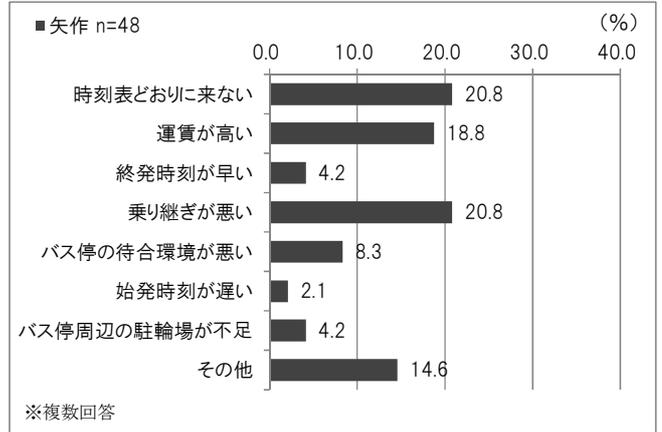
▼東部



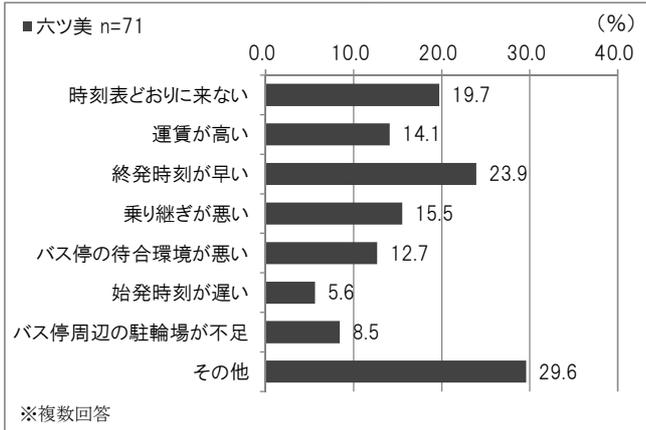
▼岩津



▼矢作



▼六ツ美



▼額田

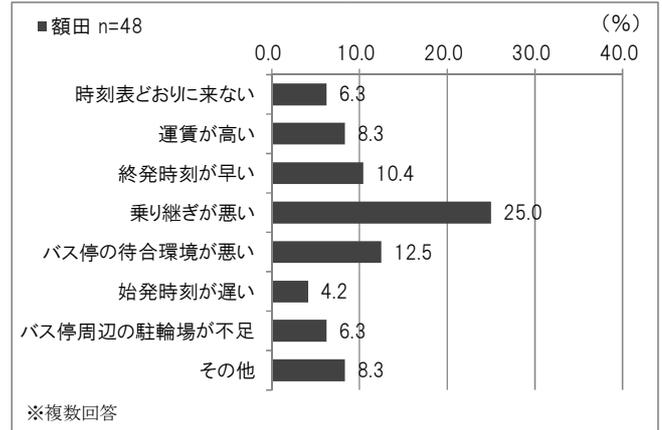
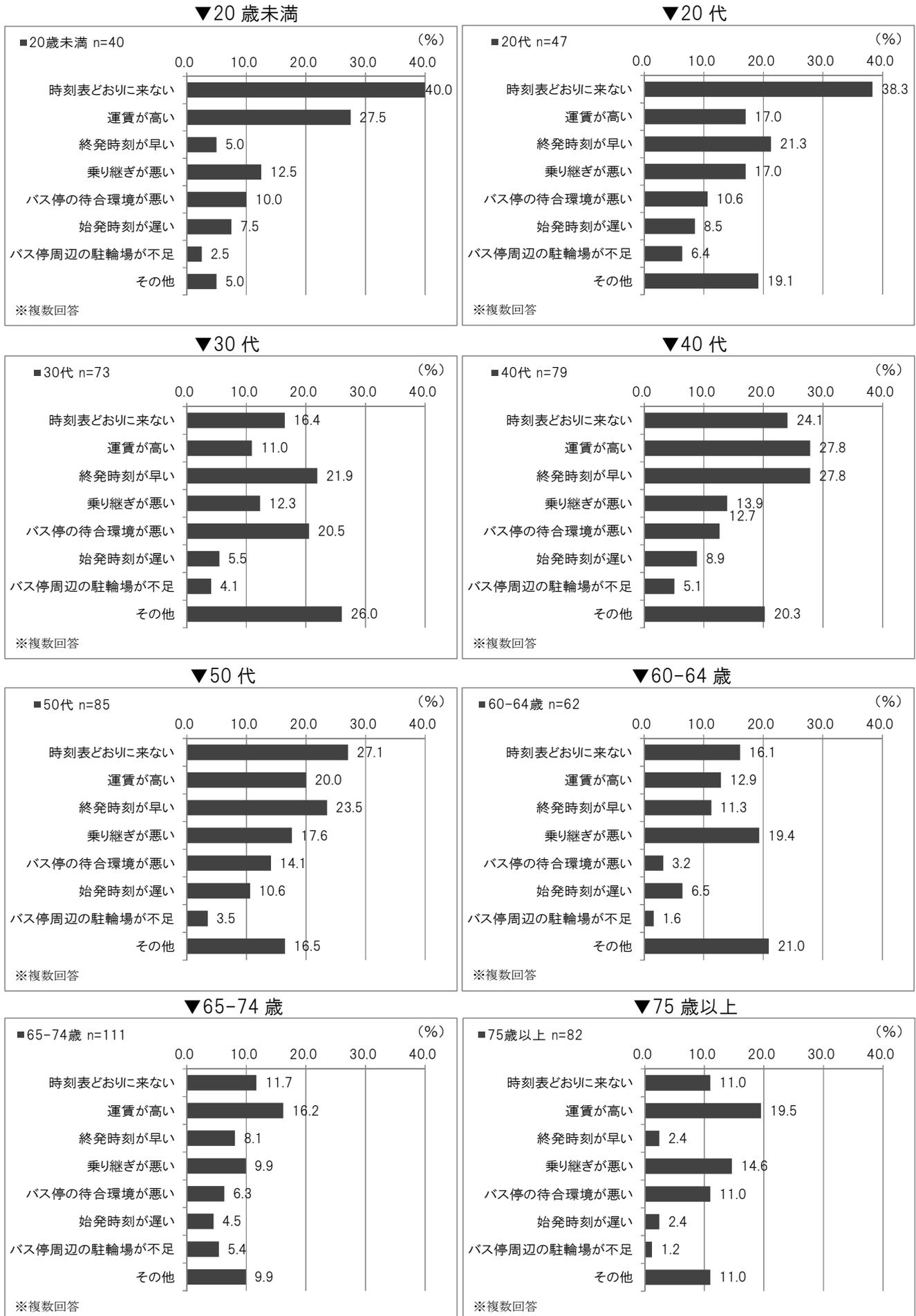


図46 バスの不満項目の年齢別クロス集計



### ⑫交通手段「自動車・バイク」の満足度と不満項目【問3②③】

※問2①で「身体的理由で外出しない」以外に回答した方

□満足度は、市全体で「満足+やや満足」が約58と「やや不満+不満」の約19%を上回る。  
 ◇H22年度結果と比較した場合、「満足+やや満足」の割合が26ポイント増加している。  
 □不満項目では、市全体で「渋滞する道路を通らないと目的地までいけない」が約34%と最も高い。  
 ■岡崎、大平地区では、「渋滞する道路を通らないと目的地までいけない」が4割以上を占め、額田地区では、「道幅が狭く危険な箇所が多い」が約42%を占める。

図47 自動車・バイクの満足度（地域別）

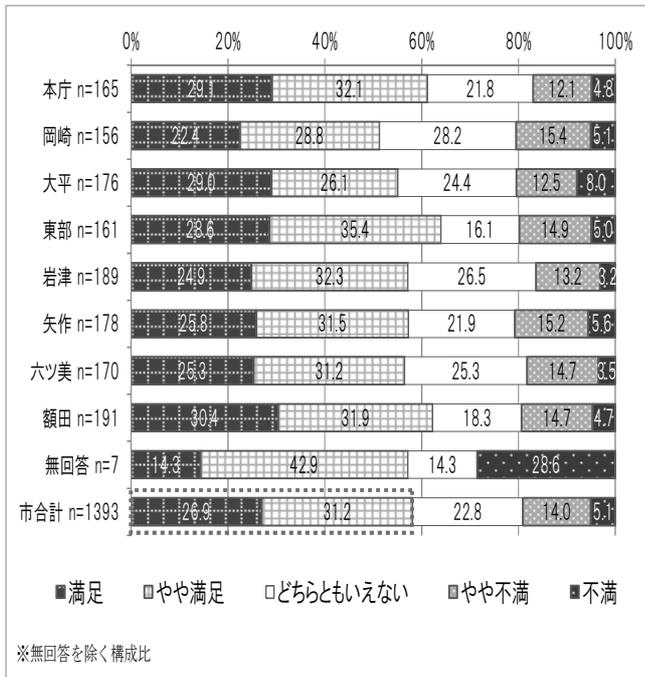


図48 自動車・バイクの満足度（年齢別）

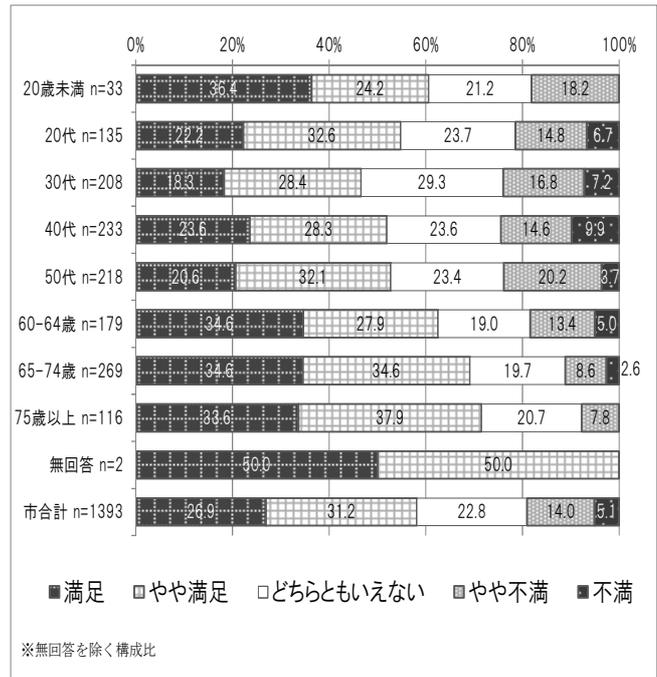
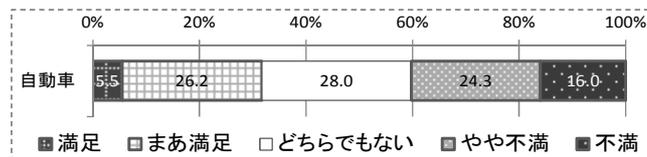


図49 平成22年度アンケート結果



※都心地域における具体的項目に対する満足度を集計した値

図50 自動車・バイクの不満項目【市合計】

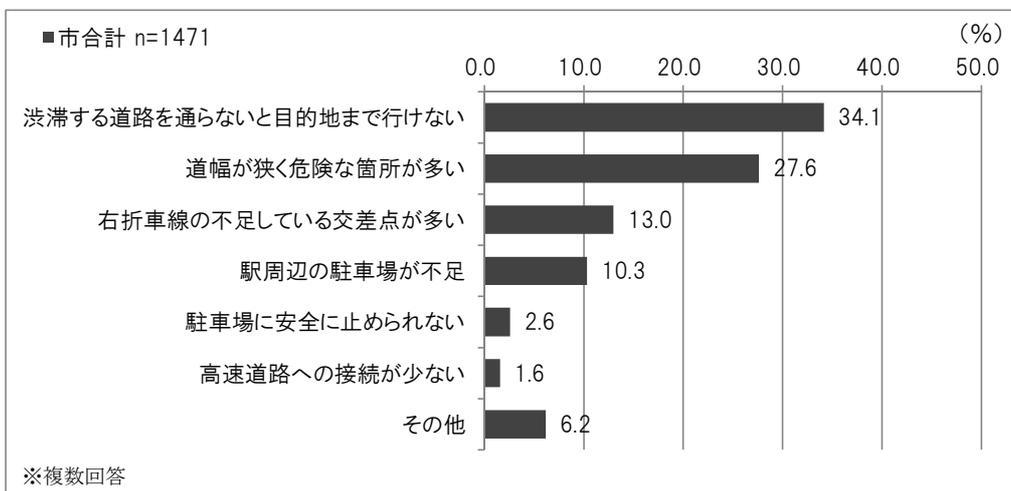
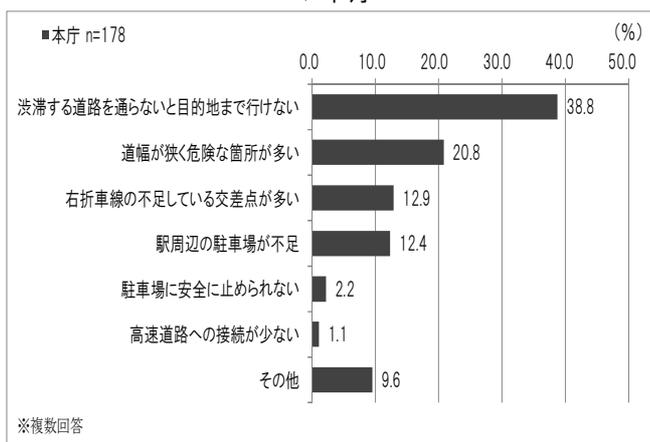
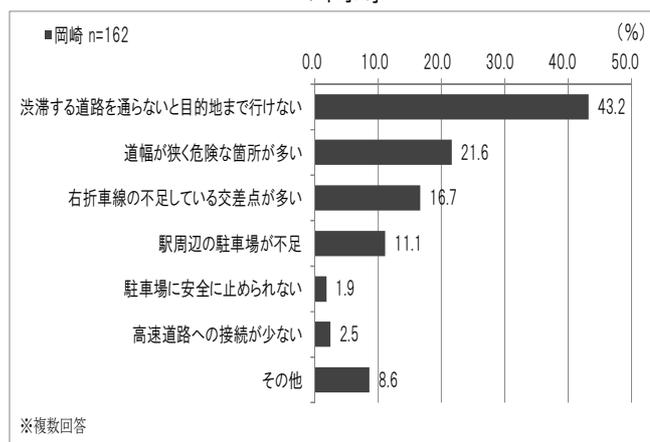


図 5 1 動車・バイクの不満項目の地域別クロス集計

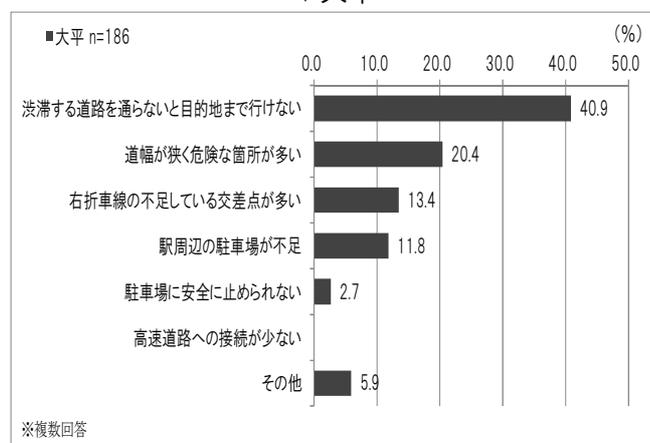
▼本庁



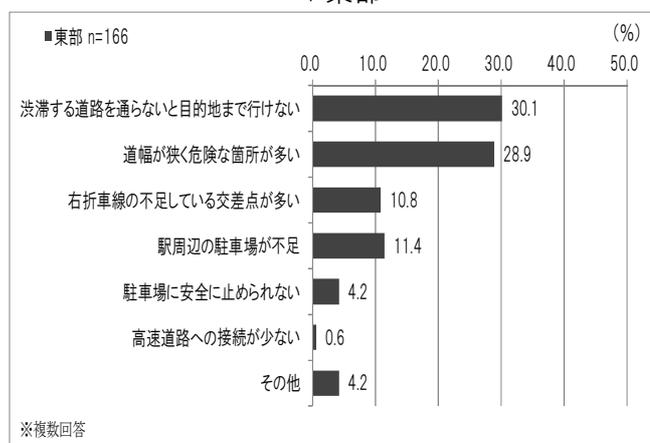
▼岡崎



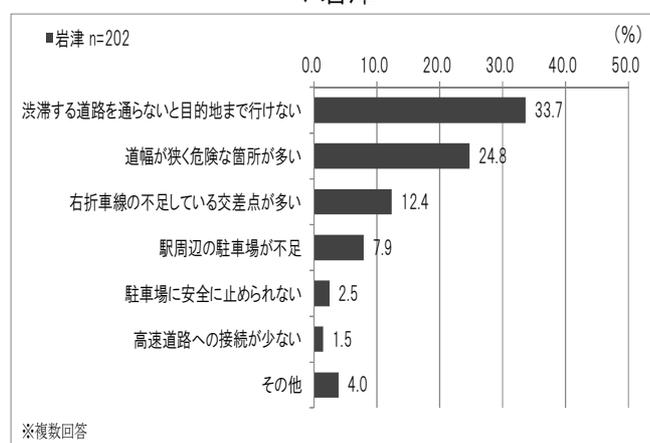
▼大平



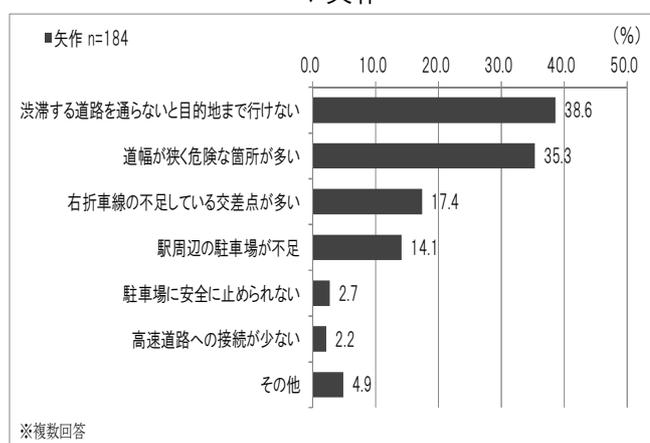
▼東部



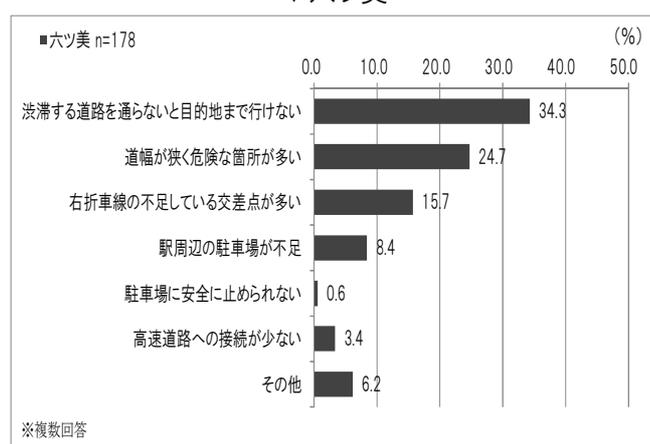
▼岩津



▼矢作



▼六ツ美



▼額田

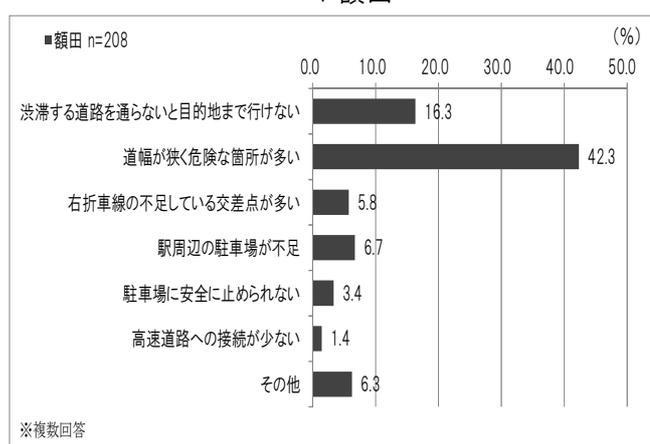
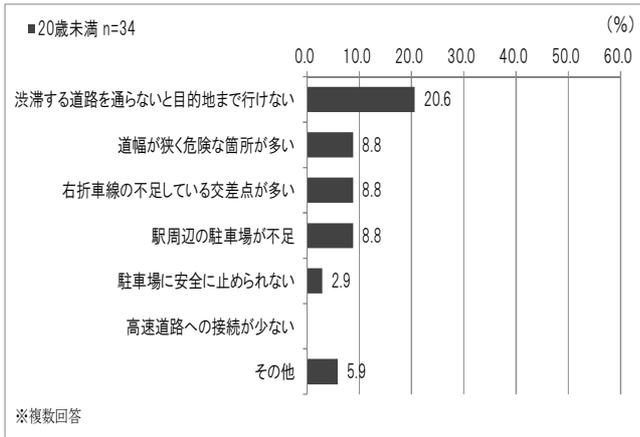
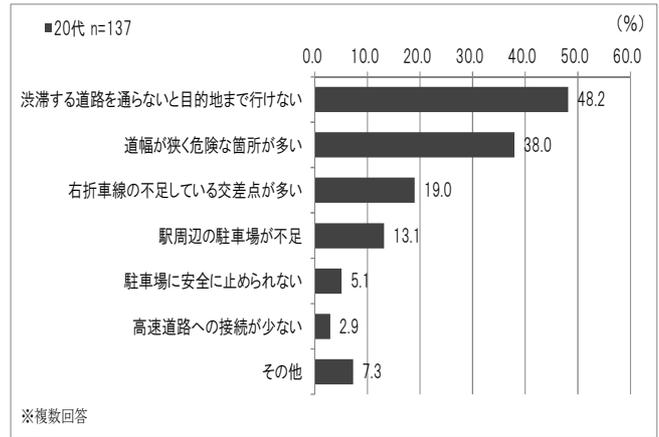


図5-2 自動車・バイクの不満項目の年齢別クロス集計

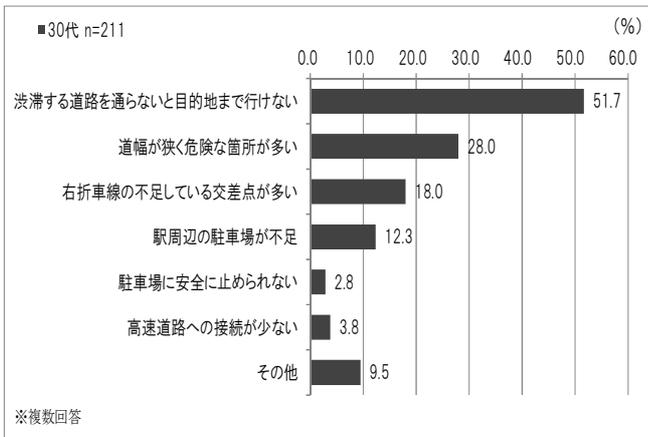
▼20歳未満



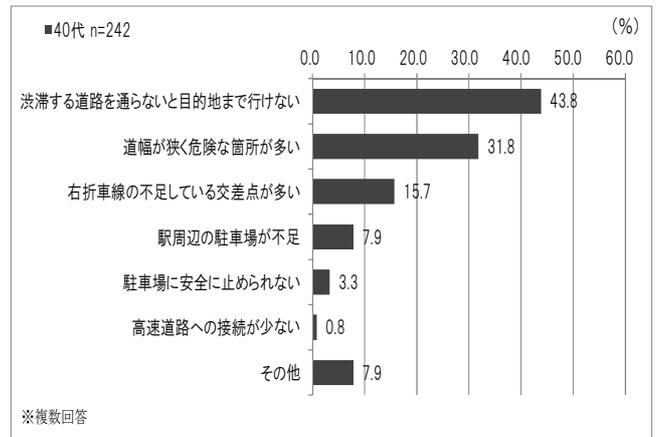
▼20代



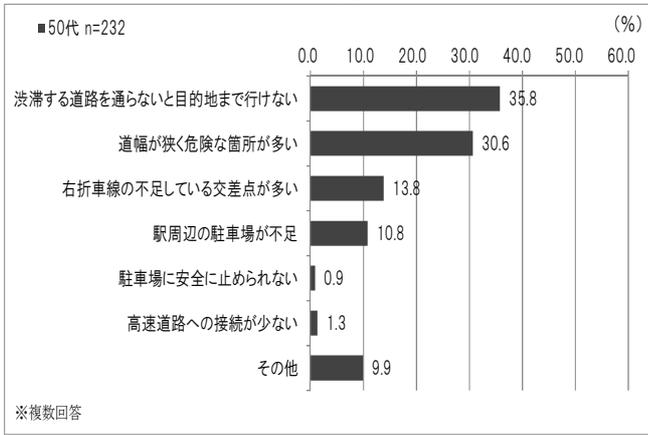
▼30代



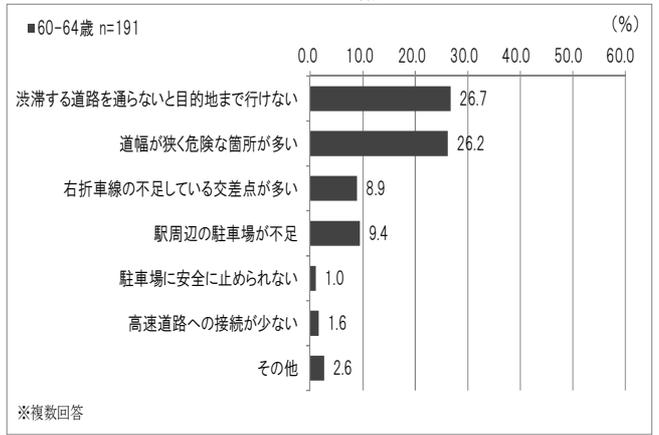
▼40代



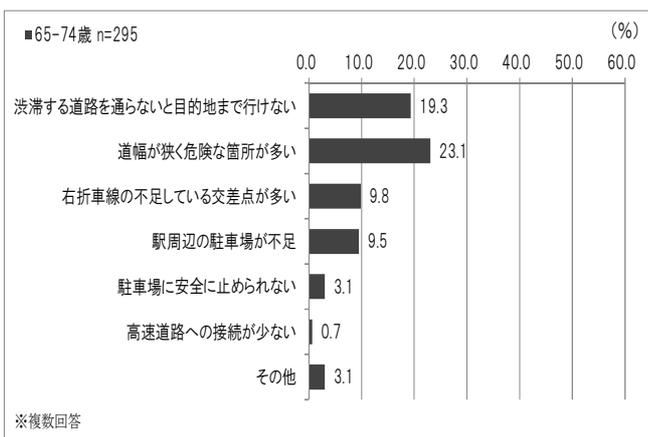
▼50代



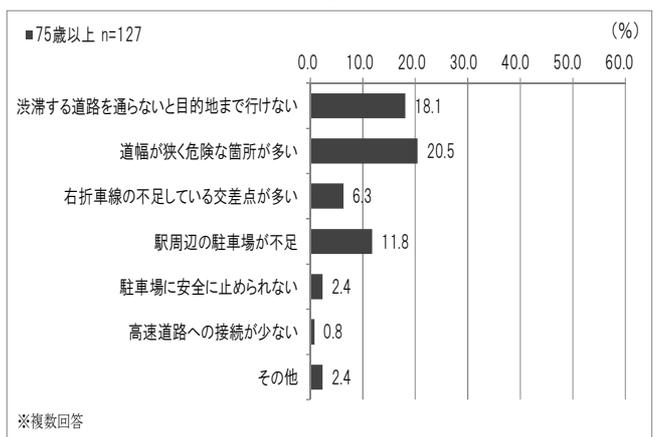
▼60-64歳



▼65-74歳



▼75歳以上



### ⑬交通手段「自転車」の満足度と不満項目【問3②③】

※問2①で「身体的理由で外出しない」以外に回答した方

□満足度は、市全体で「満足+やや満足」が約46%と「不満+やや不満」の約27%を上回る。  
 ◇H22年度結果と比較した場合、「満足+やや満足」が約23ポイント増加している。  
 □不満項目では、市全体で安全性の確保に関する項目全てが約2割前後を占める。  
 ■各地区とも市全体の結果とほぼ同様な傾向にある。

図53 自転車の満足度（地域別）

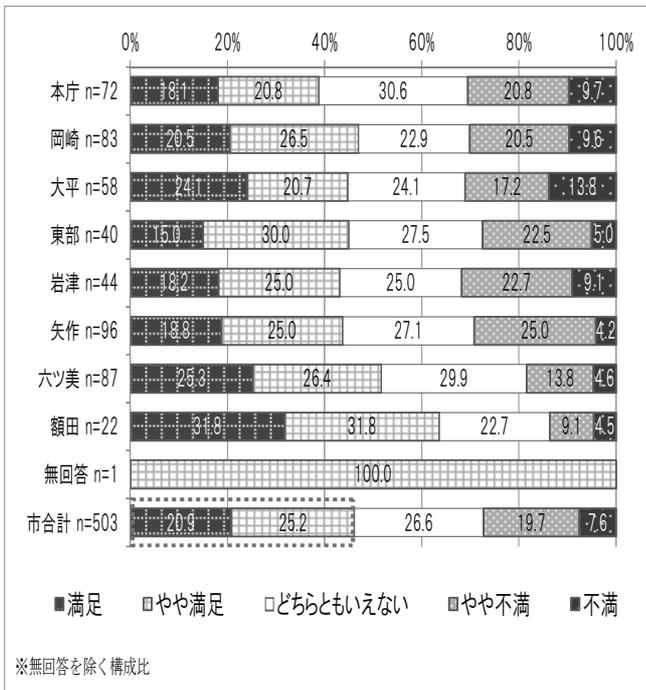


図54 自転車の満足度（年齢別）

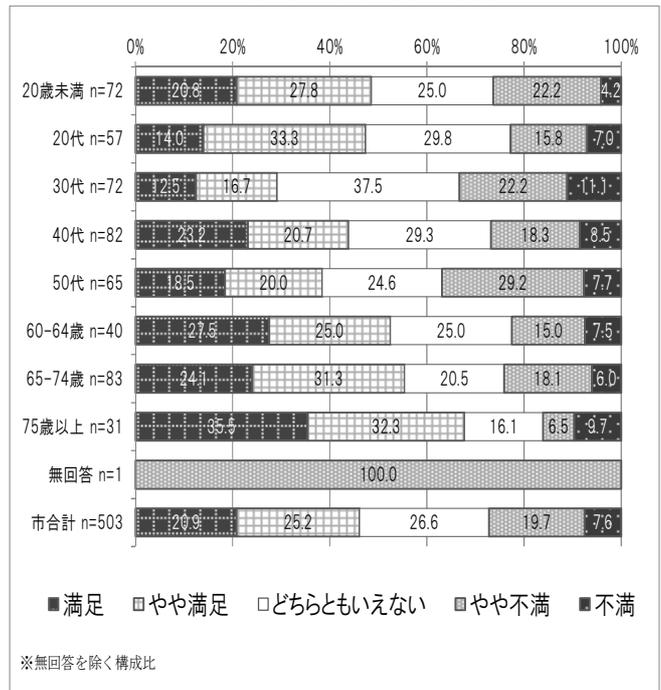


図55 平成22年度アンケート結果



※都心地域における具体的項目に対する満足度を集計した値

図56 自転車の不満項目【市合計】

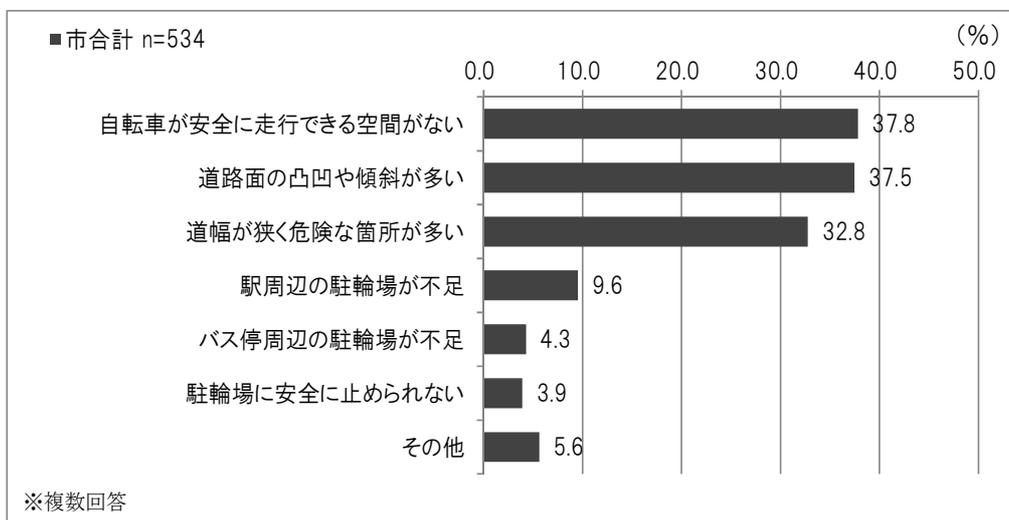
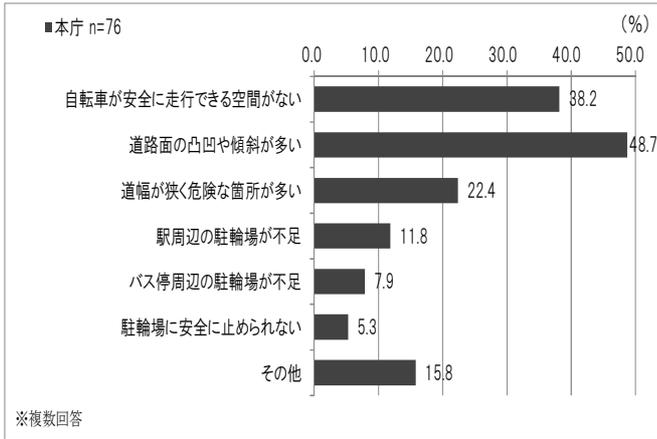
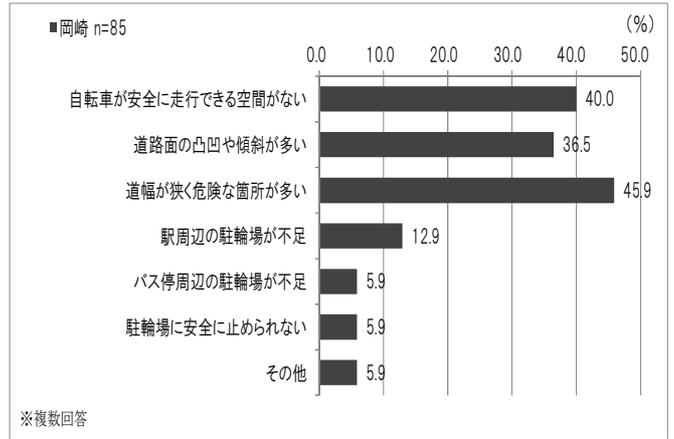


図5.7 自転車の不満項目の地域別クロス集計

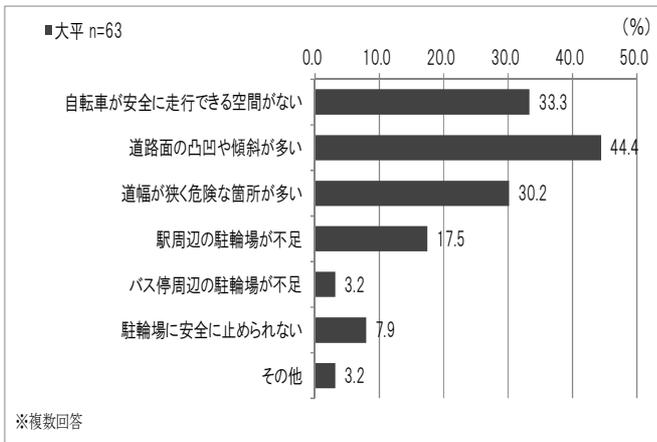
▼本庁



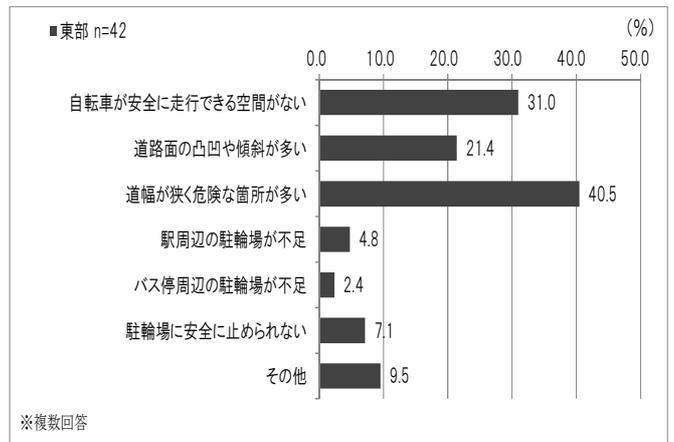
▼岡崎



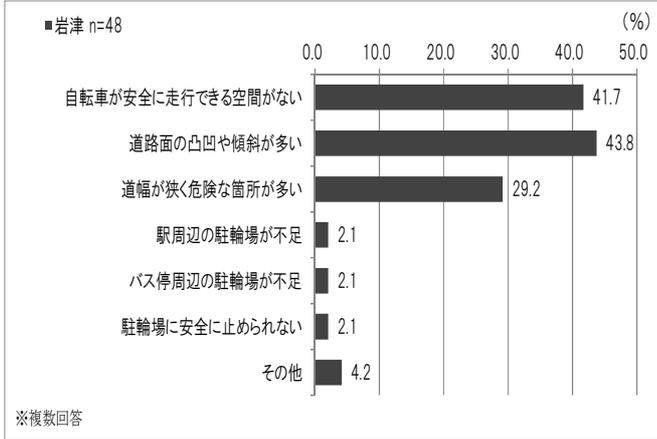
▼大平



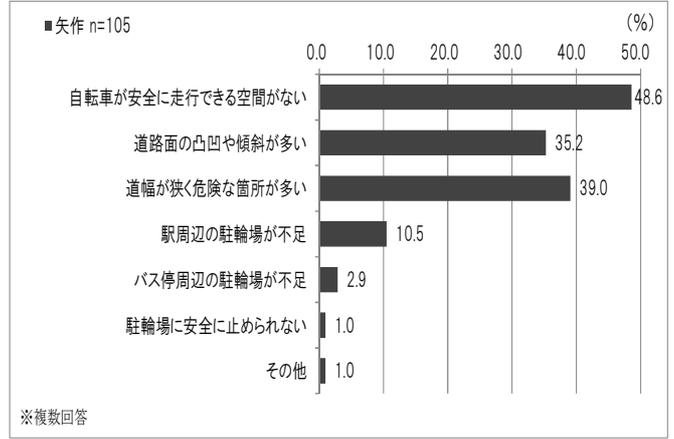
▼東部



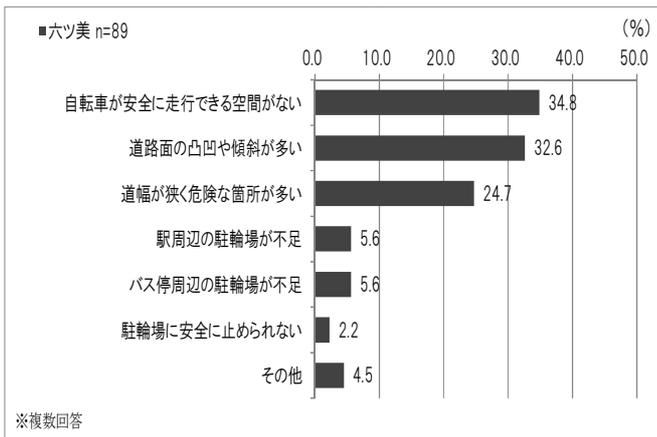
▼岩津



▼矢作



▼六ツ美



▼額田

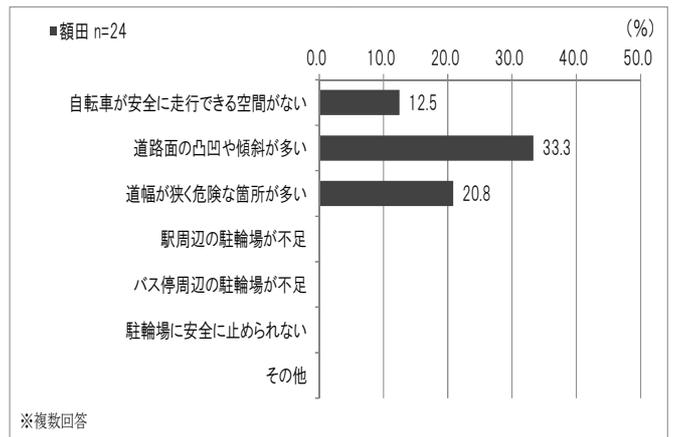
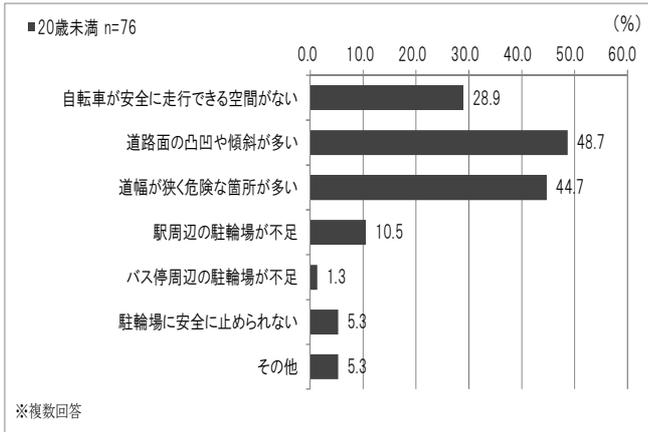
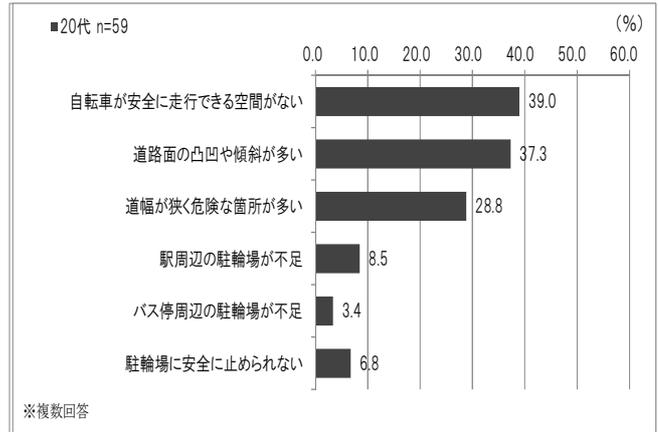


図58 自転車の不満項目の年齢別クロス集計

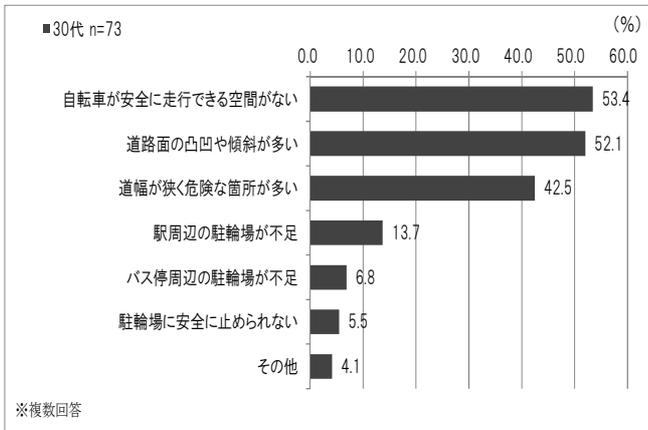
▼20歳未満



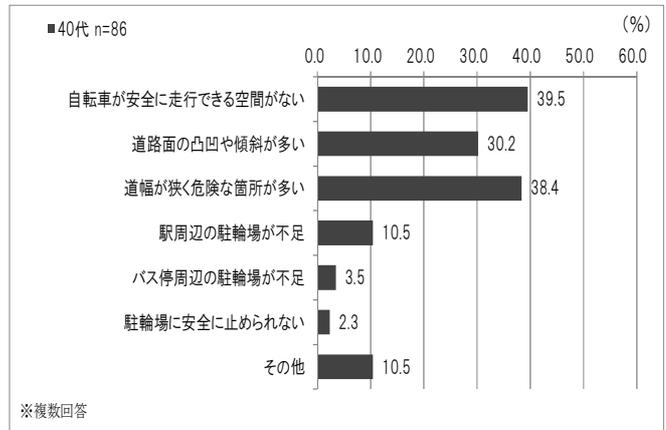
▼20代



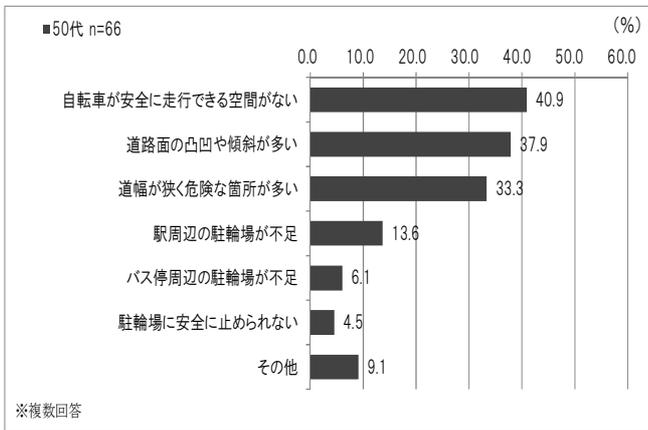
▼30代



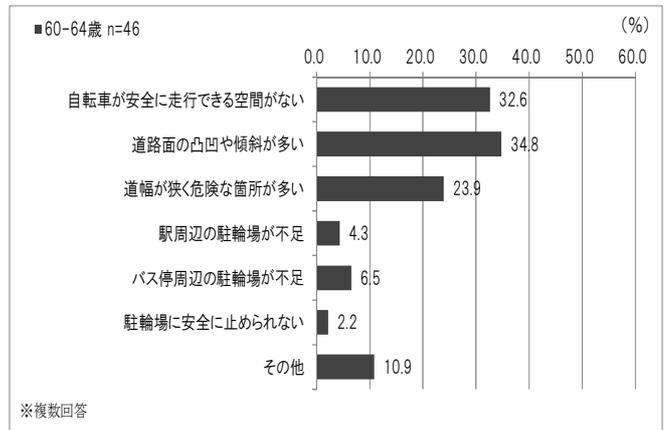
▼40代



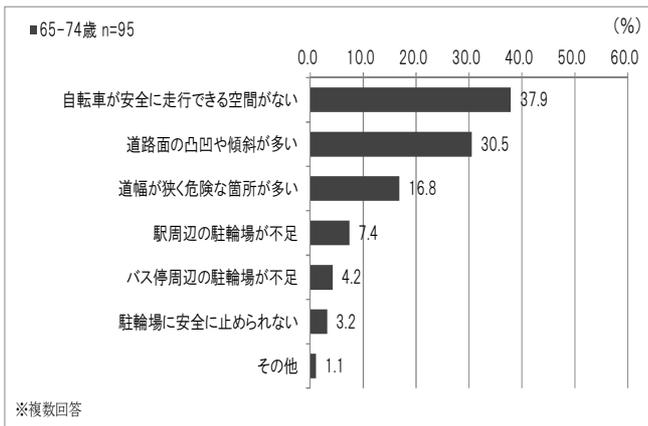
▼50代



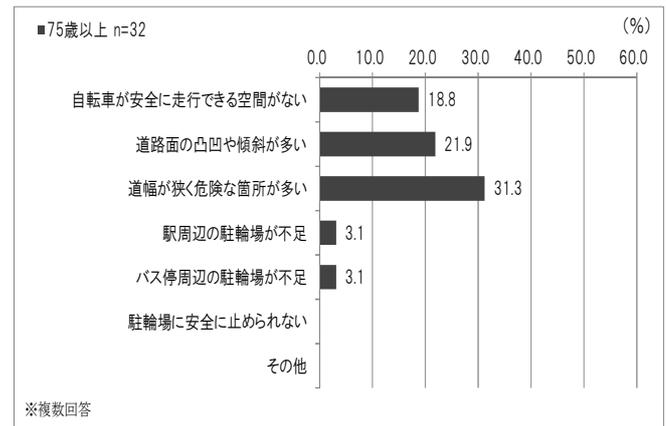
▼60-64歳



▼65-74歳



▼75歳以上



### ⑭交通手段「徒歩」の満足度と不満項目【問3②③】

※問2①で「身体的理由で外出しない」以外に回答した方

□満足度は、市全体で「満足+やや満足」が約52%と「不満+やや不満」の約20%を上回る。  
 ◇H22年度結果と比較した場合、「満足+やや満足」が約27ポイント増加している。  
 □不満項目では、市全体で安全性の確保に関する項目全てが約2割前後を占める。  
 ■各地区とも市全体の結果とほぼ同様な傾向にある。

図59 徒歩の満足度（地域別）

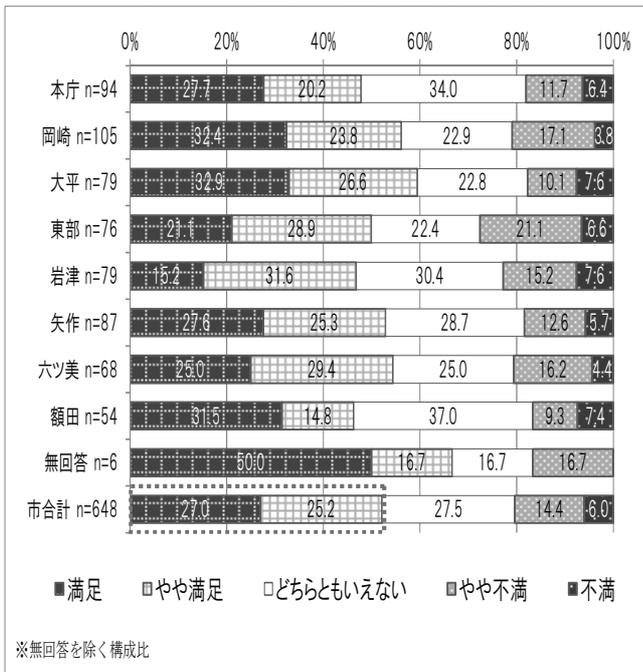


図60 徒歩の満足度（年齢別）

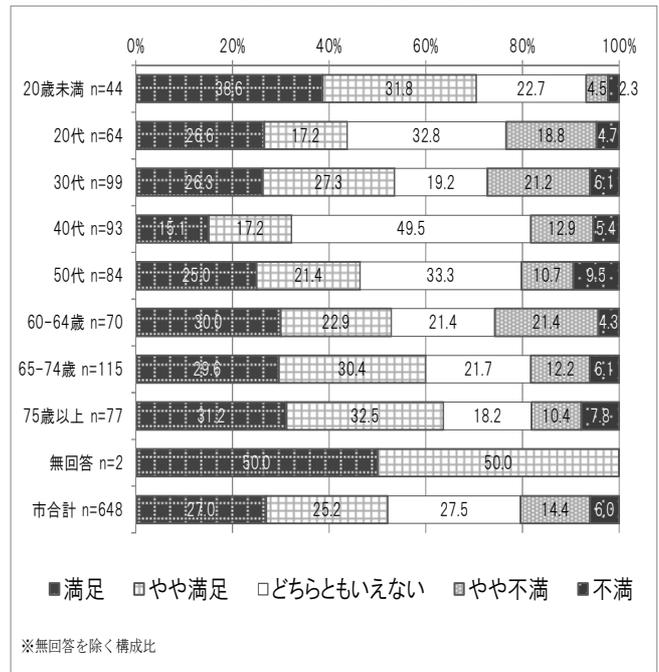
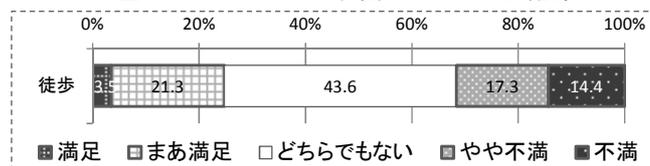


図61 平成22年度アンケート結果



※都心地域における具体的項目に対する満足度を集計した値

図62 徒歩の不満項目【市合計】

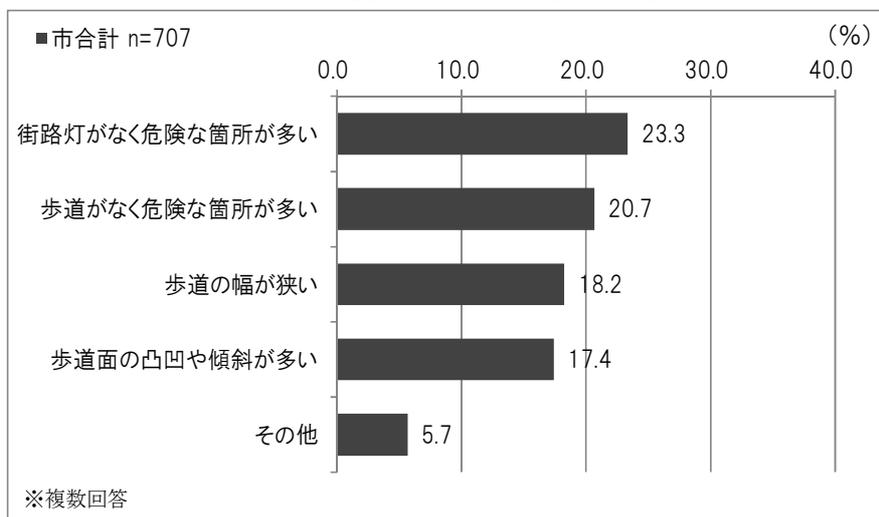
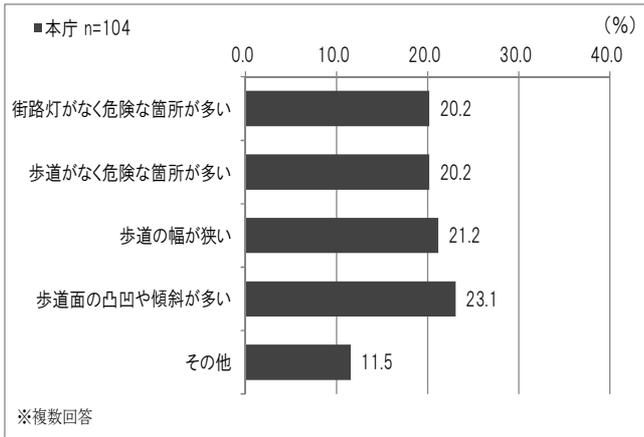
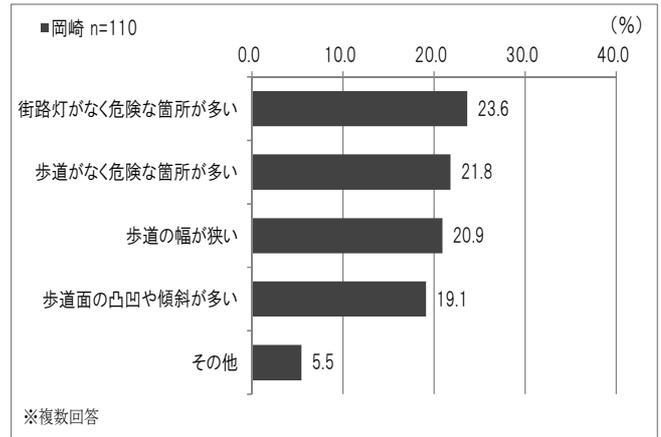


図6-3 徒歩の不満項目の地域別クロス集計

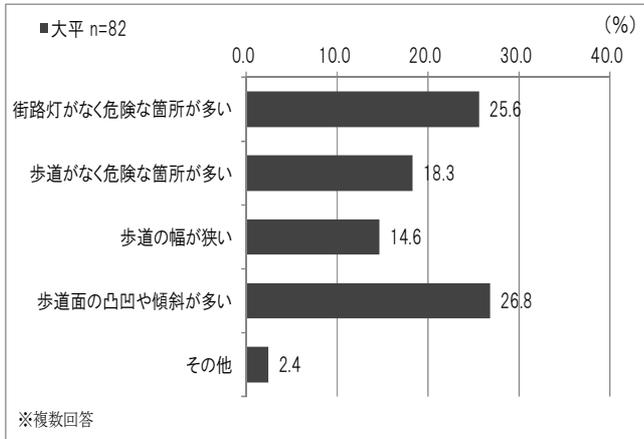
▼徒歩の不満項目【本庁】



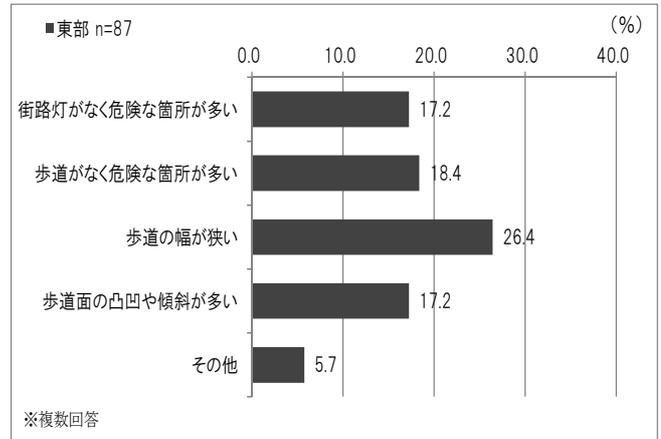
▼徒歩の不満項目【岡崎】



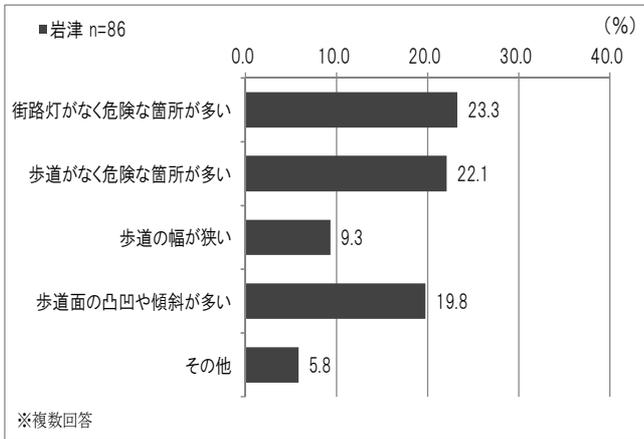
▼徒歩の不満項目【大平】



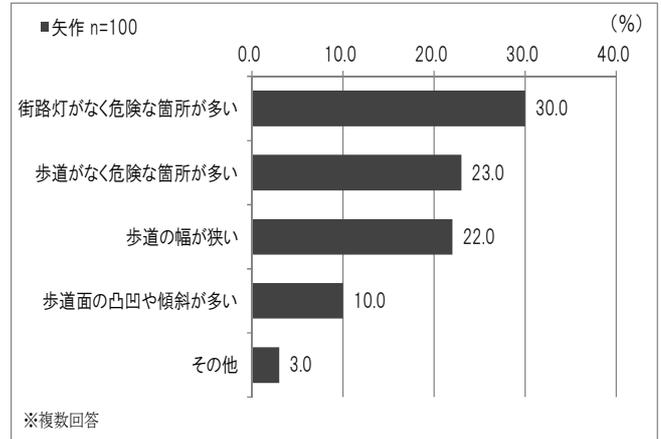
▼徒歩の不満項目【東部】



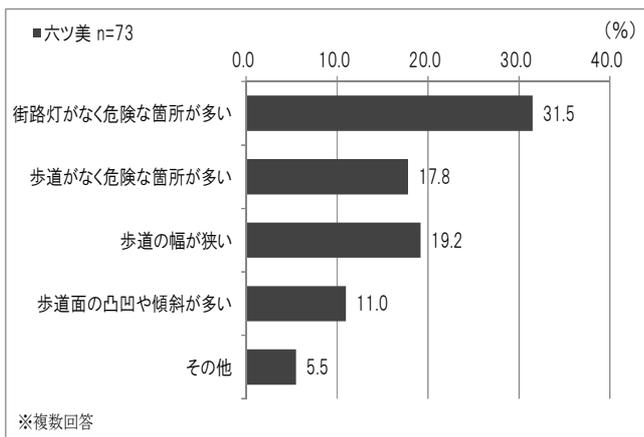
▼徒歩の不満項目【岩津】



▼徒歩の不満項目【矢作】



▼徒歩の不満項目【六ツ美】



▼徒歩の不満項目【額田】

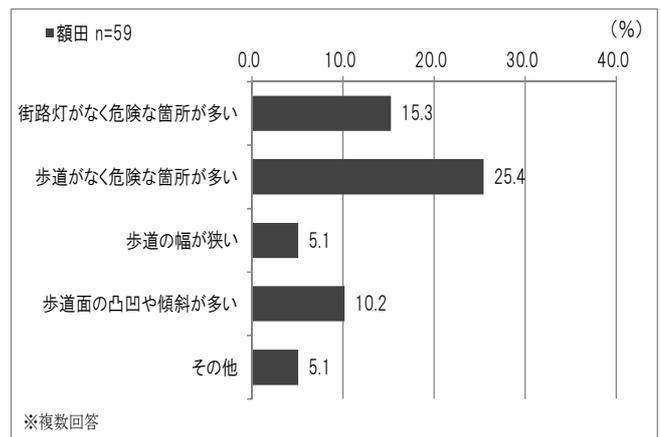
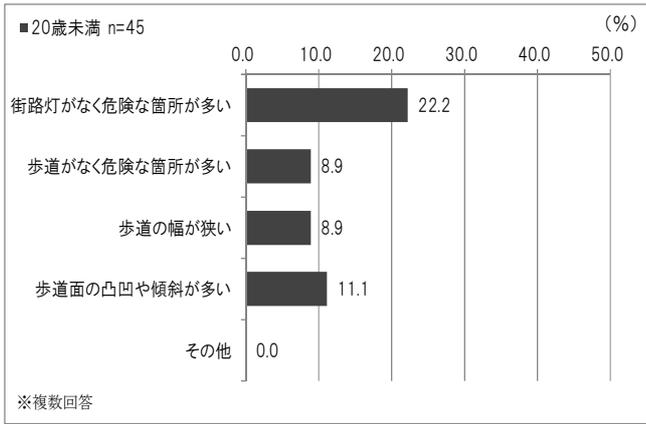
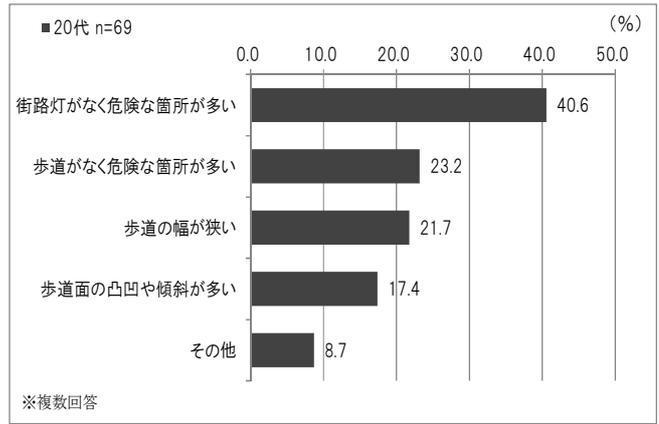


図6-4 徒歩の不満項目の年齢別クロス集計

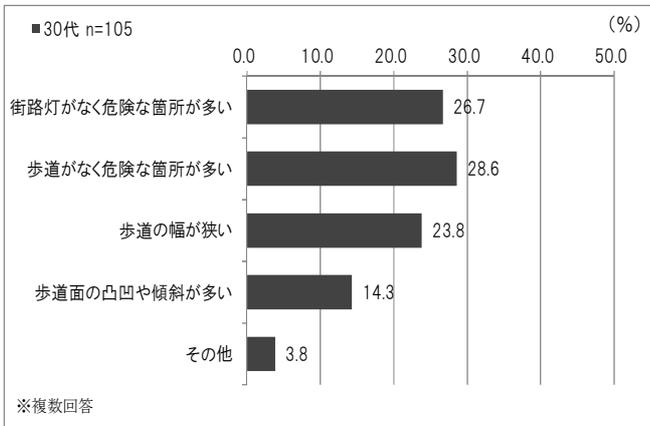
▼徒歩の不満項目【20歳未満】



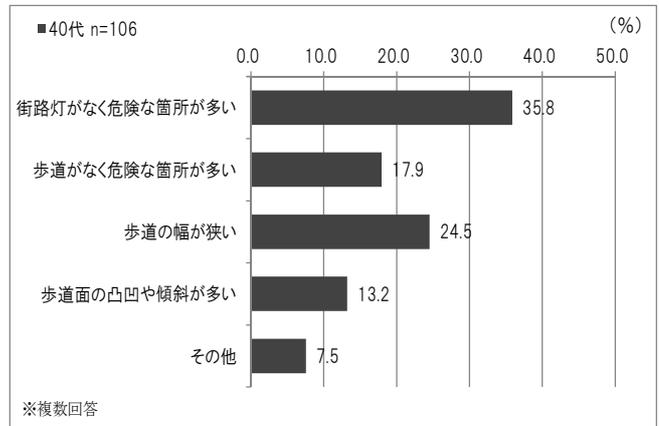
▼徒歩の不満項目【20代】



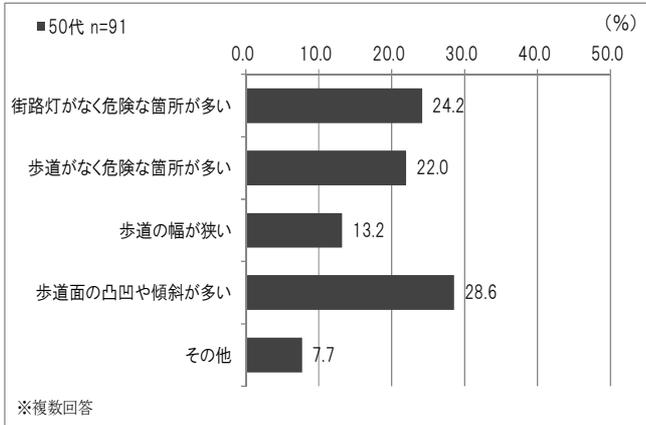
▼徒歩の不満項目【30代】



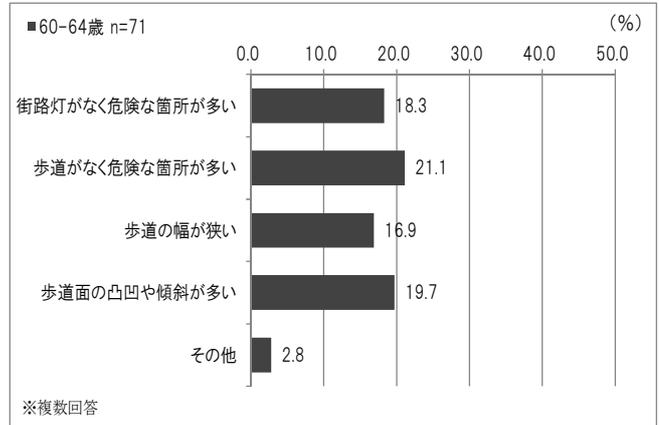
▼徒歩の不満項目【40代】



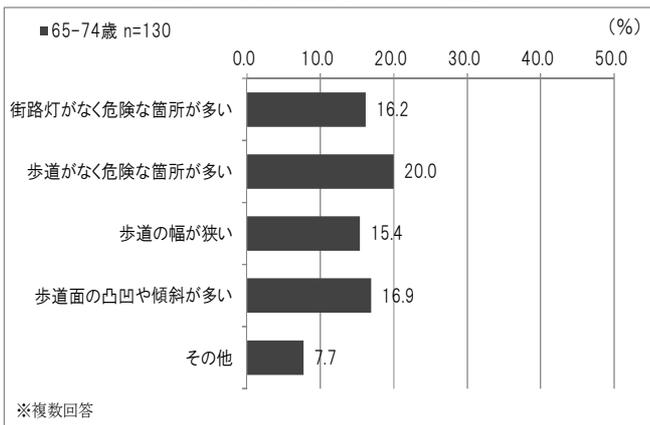
▼徒歩の不満項目【50代】



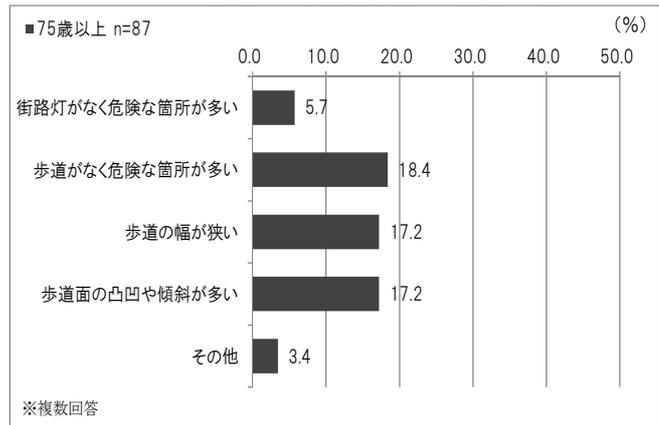
▼徒歩の不満項目【60-64歳】



▼徒歩の不満項目【65-74歳】



▼徒歩の不満項目【75歳以上】

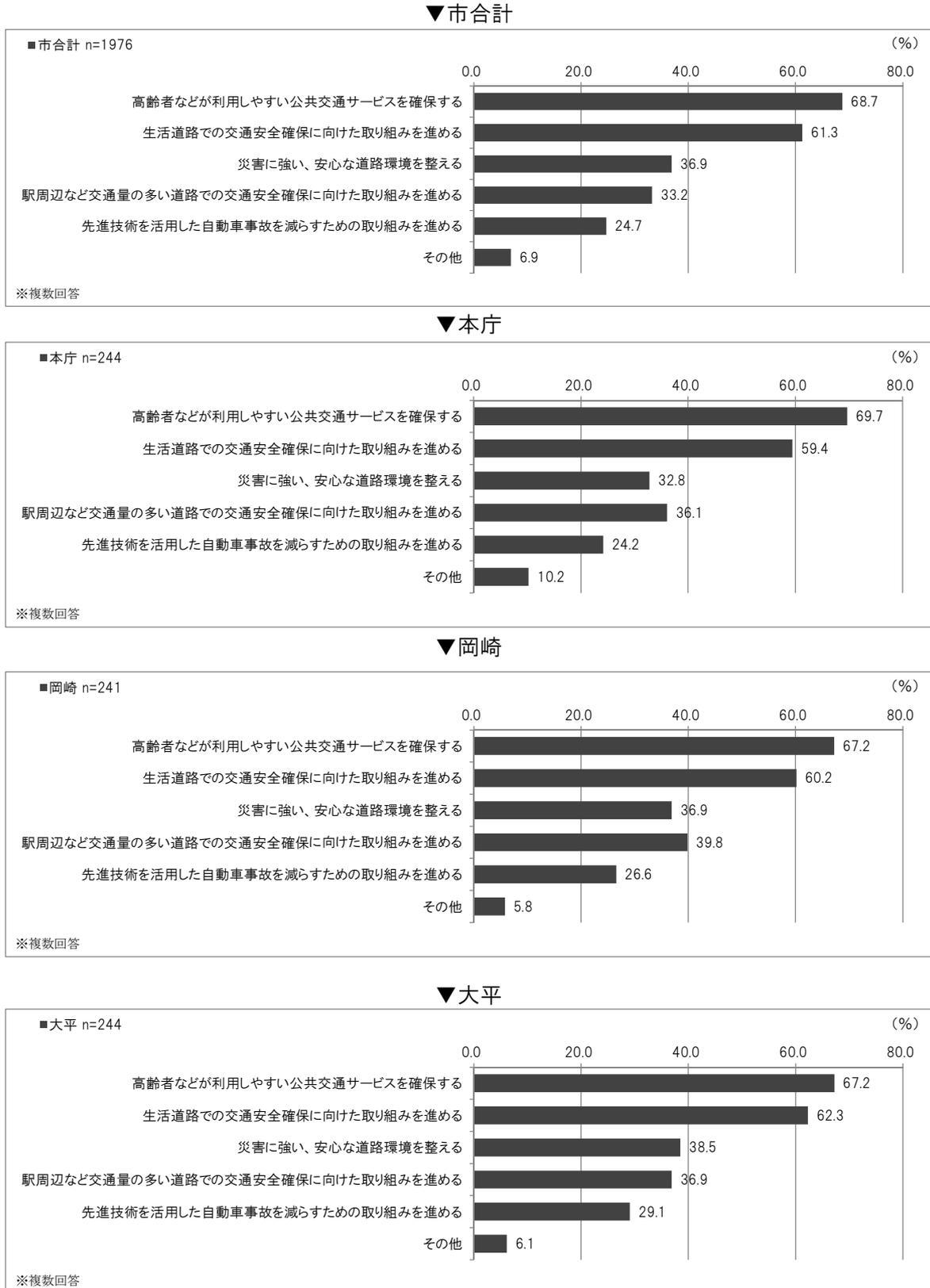


(3) 岡崎市の交通全般（岡崎市総合交通政策）について【問 A】

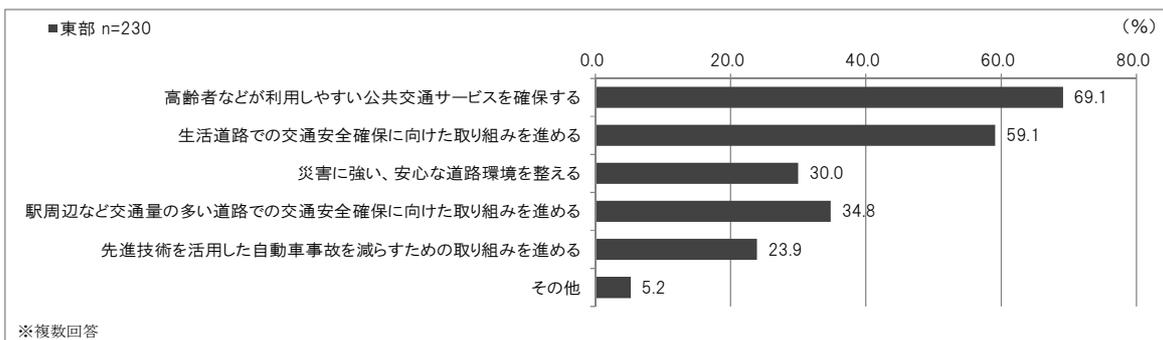
① 「人にやさしく安全安心な交通体系の整備」を進めるにあたっての考えについて【問 A1-1】

□市全体では、「高齢者などが利用しやすい公共交通サービスを確保する」が約 69%と高い。  
 ■各地区とも市全体の結果と同様な傾向にあるが、額田地区の「災害に強い、安心な道路環境を整える」は約 50%と高い。

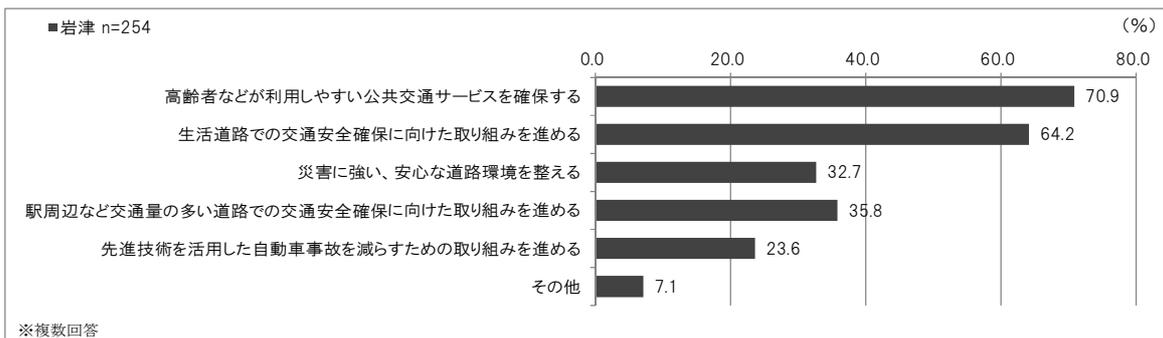
図 6 5 「人にやさしく安全安心な交通体系の整備」を進めるにあたっての考え



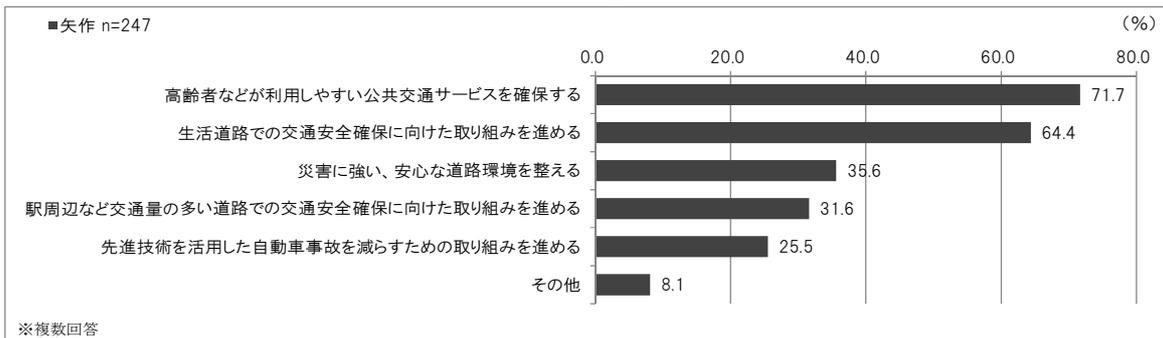
▼東部



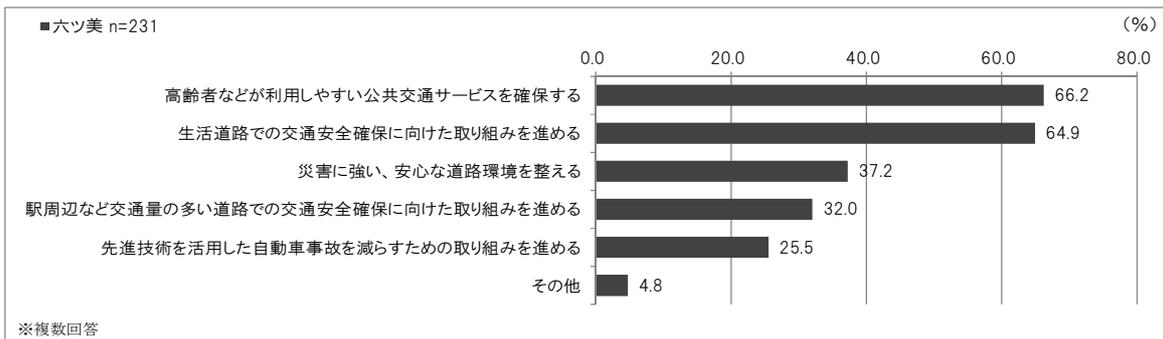
▼岩津



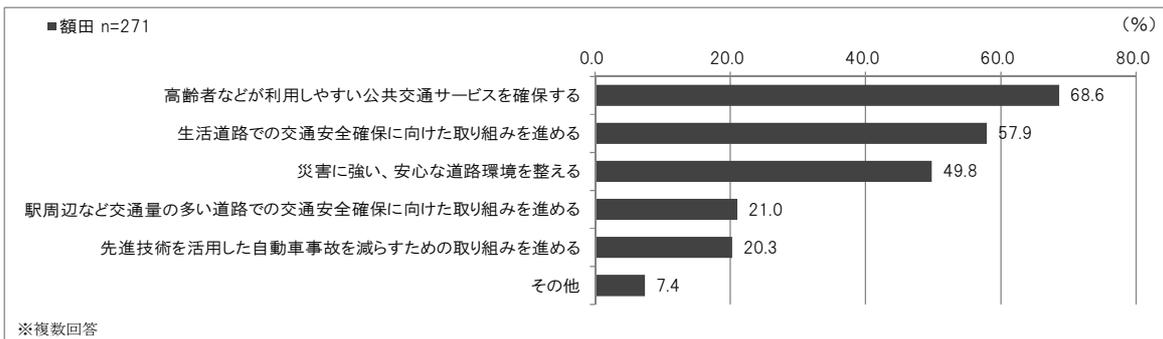
▼矢作



▼六ツ美



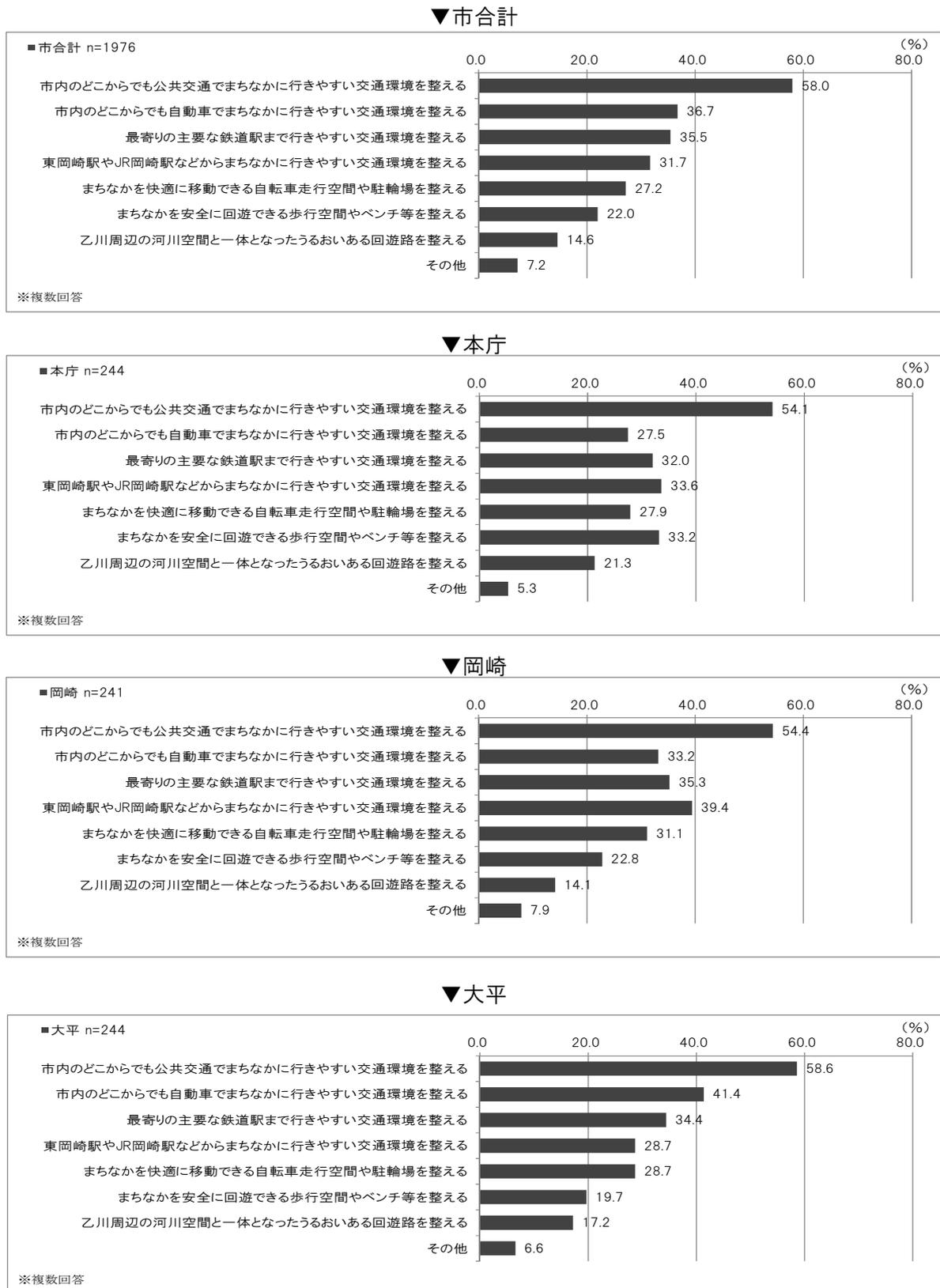
▼額田



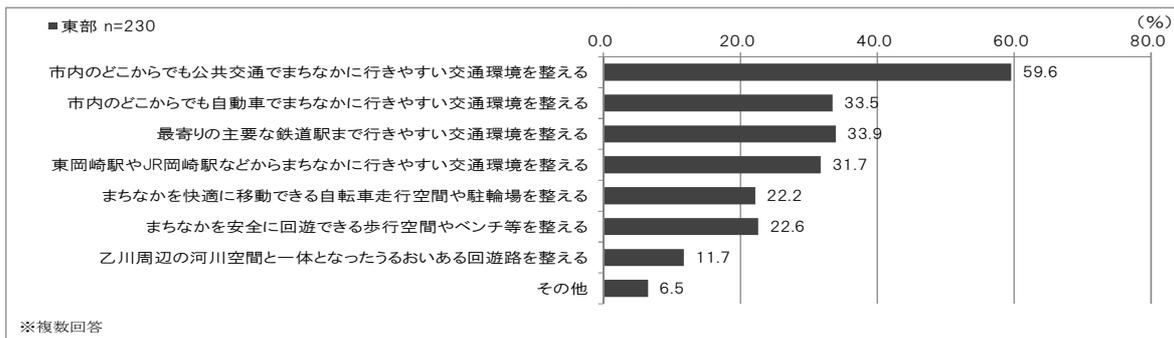
②「まちの魅力を高め活気づける交通体系の整備」を進めるにあたっての考えについて【問 A1-2】

□市全体では、「市内のどこからでも公共交通でまちなかに行きやすい交通環境を整える」が約 58% を占める。  
 ■各地区とも市全体の結果と同様な傾向にあるが、額田地区の「市内のどこからでも自動車でまちなかに行きやすい交通環境を整える」が約 48% と高い。

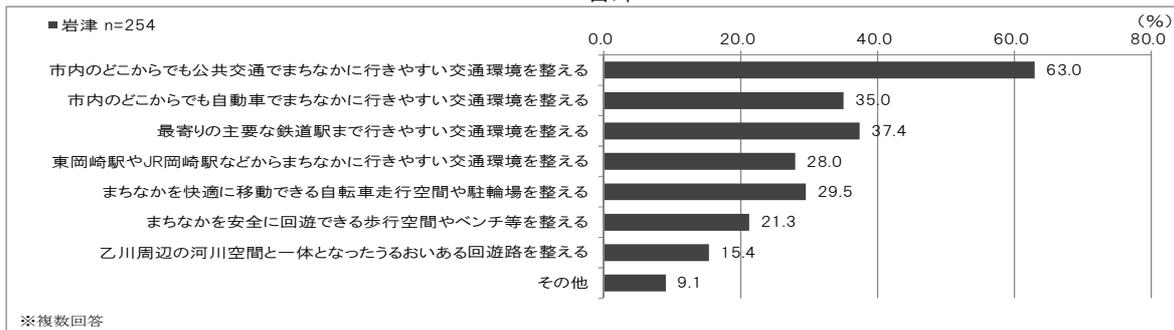
図 6 6 「まちの魅力を高め活気づける交通体系の整備」を進めるにあたっての考え



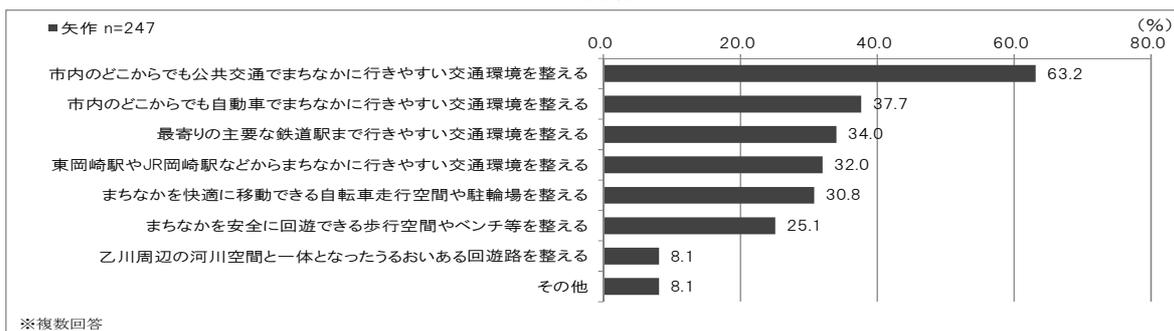
### ▼東部



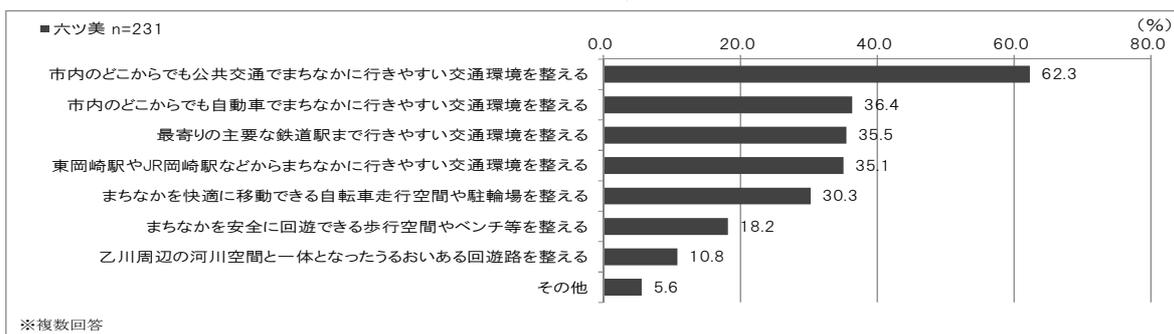
### ▼岩津



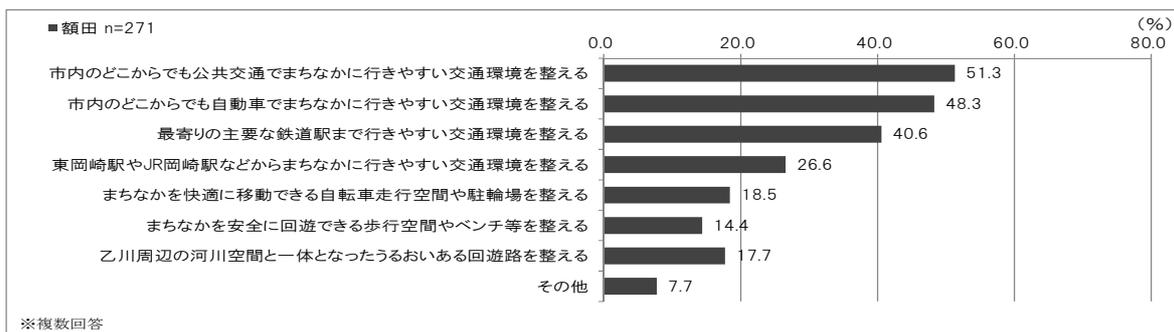
### ▼矢作



### ▼六ツ美



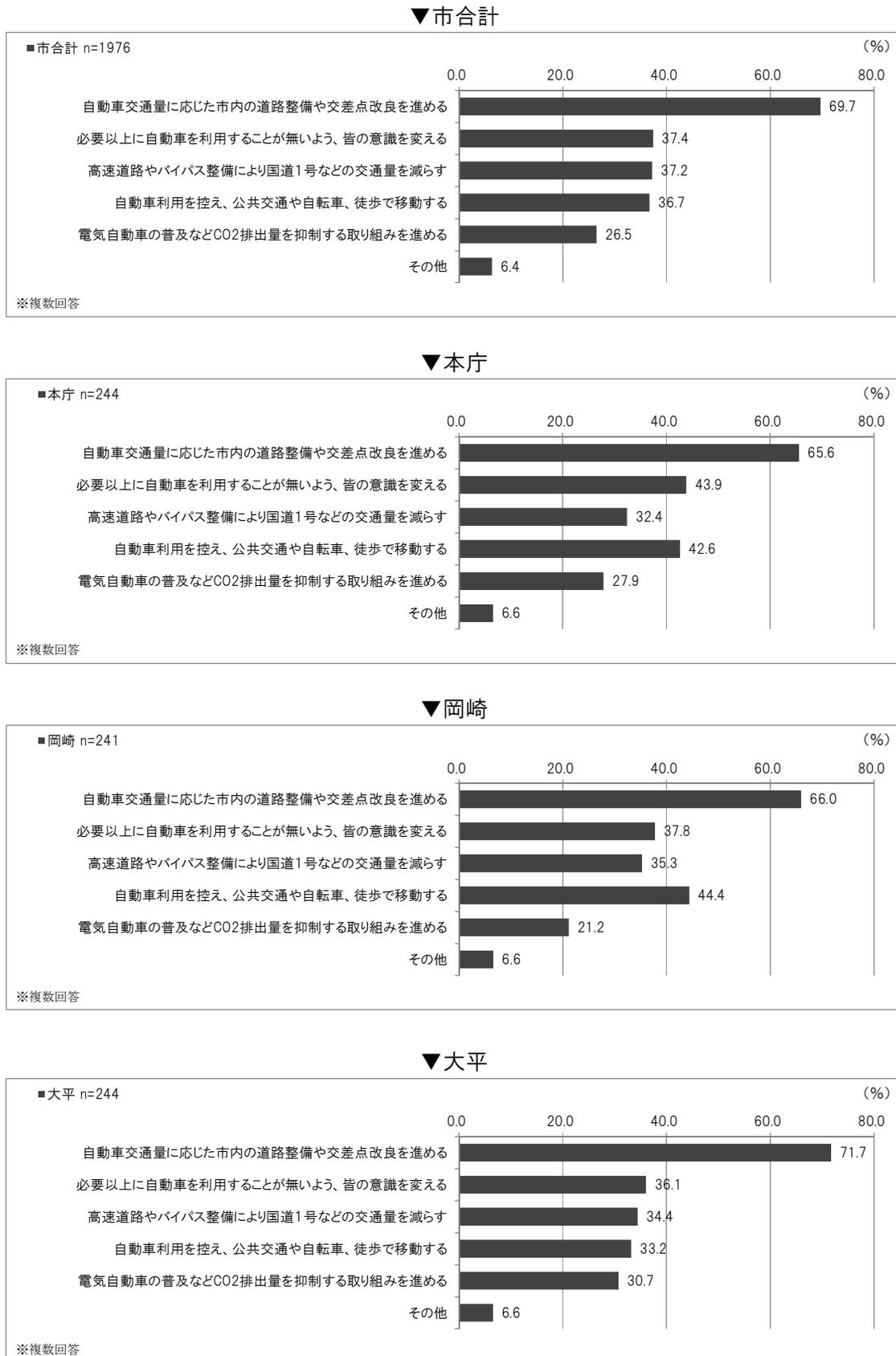
### ▼額田



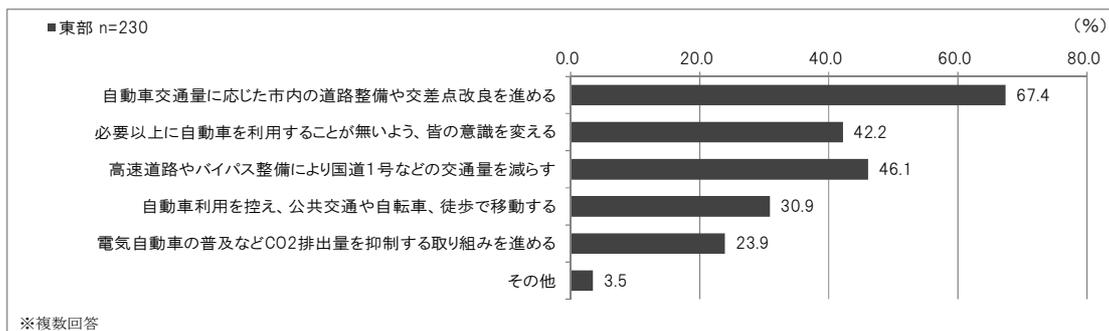
### ③「環境にやさしい交通体系の整備」を進めるにあたっての考えについて【問 A1-3】

□市全体では、「自動車交通量に応じた道路整備や交差点改良を進める」が約 70%を占める。  
 ■各地区とも市全体の結果と同様な傾向にある。

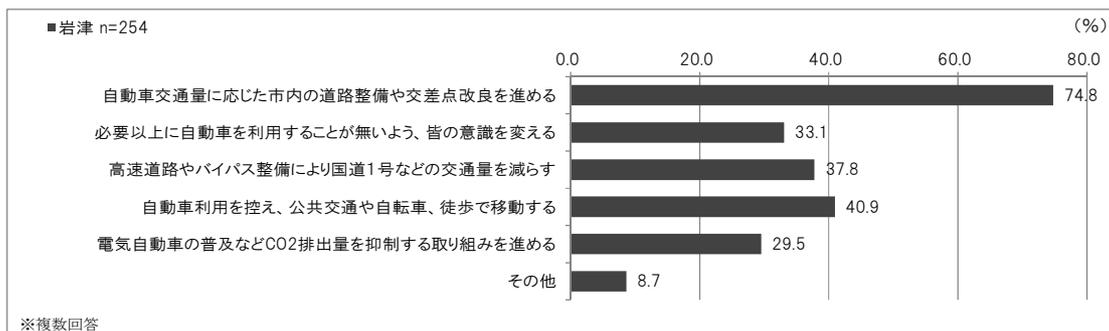
図 6 7 「環境にやさしい交通体系の整備」を進めるにあたっての考え



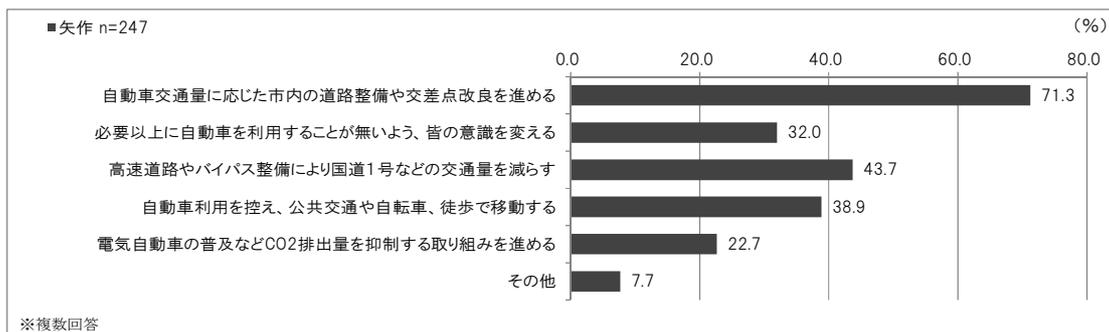
### ▼東部



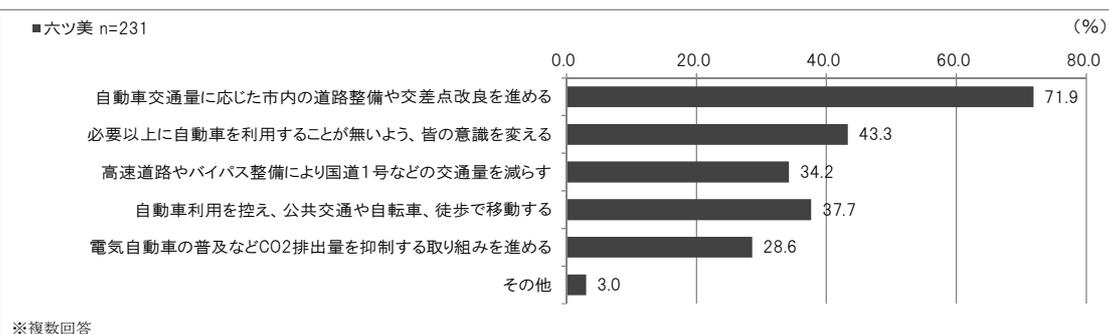
### ▼岩津



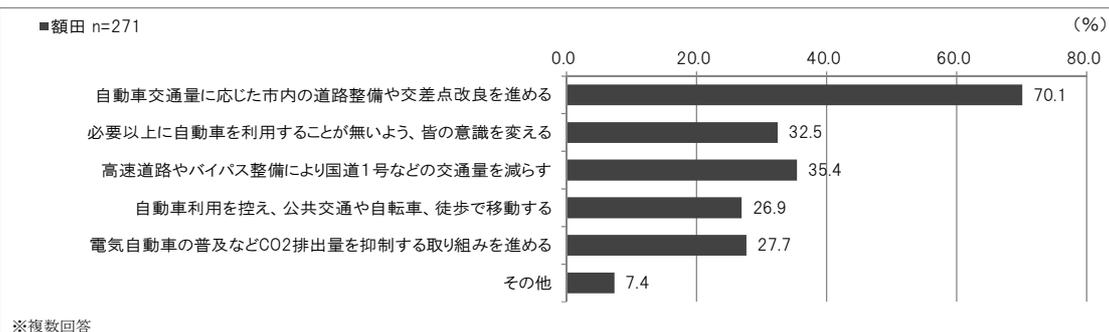
### ▼矢作



### ▼六ツ美



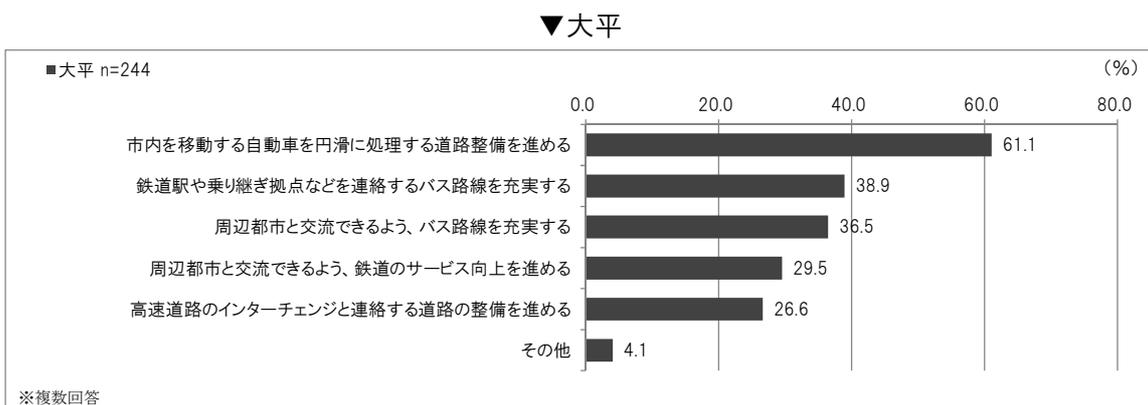
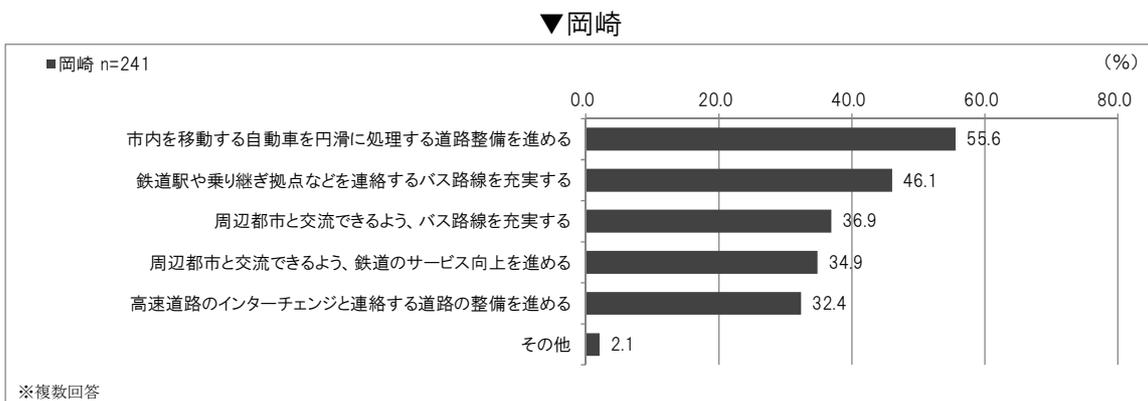
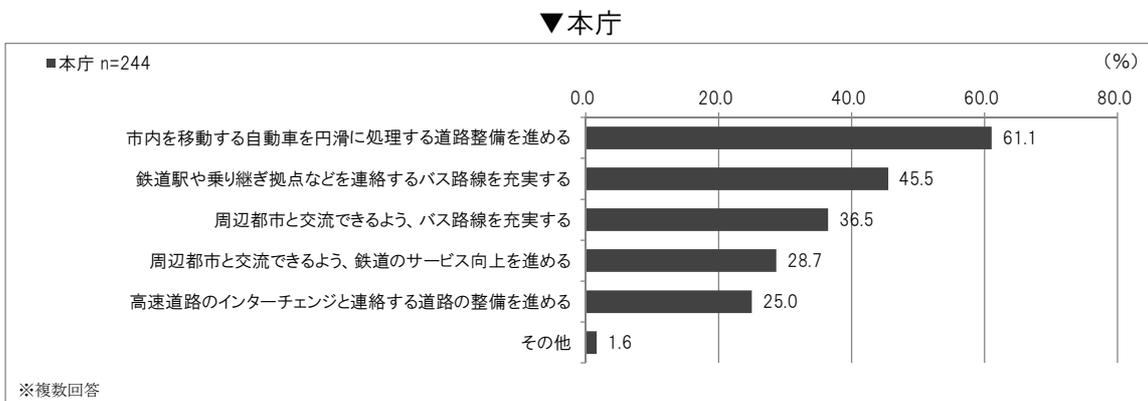
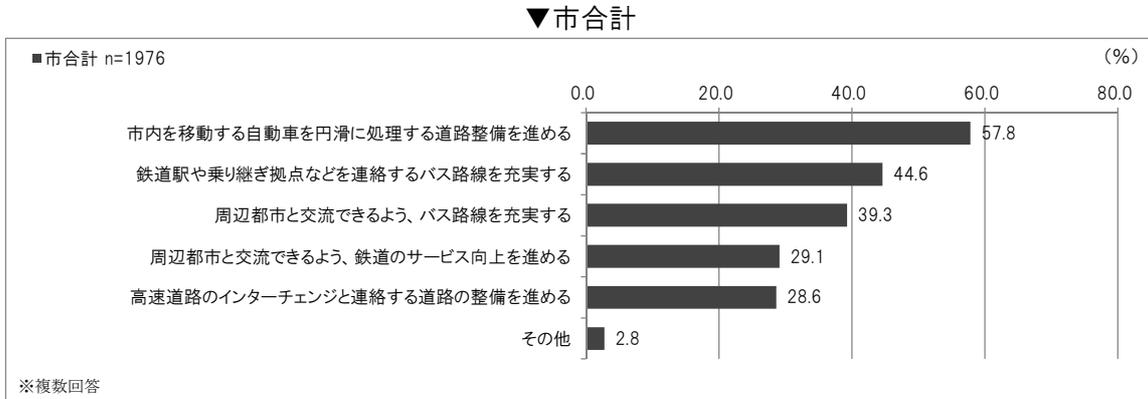
### ▼額田



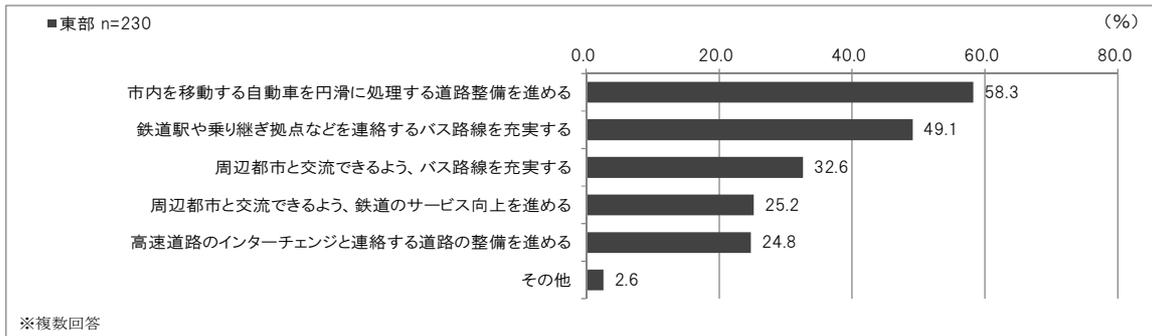
④「交流を促進する円滑で快適な交通体系の整備」を進めるにあたっての考えについて【問 A1-4】

□市全体では、「市内を移動する自動車を円滑に処理する道路整備を進める」が約 58%を占める  
 ■各地区とも市全体の結果と同様な傾向にある。

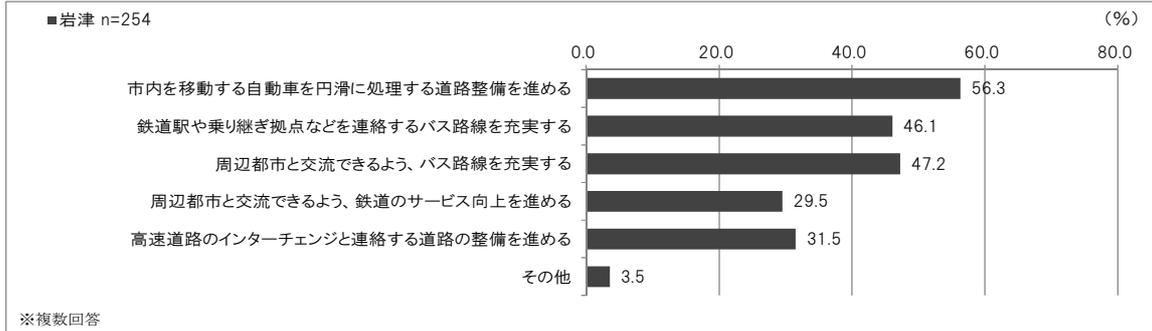
図 6 8 「交流を促進する円滑で快適な交通体系の整備」を進めるにあたっての考え



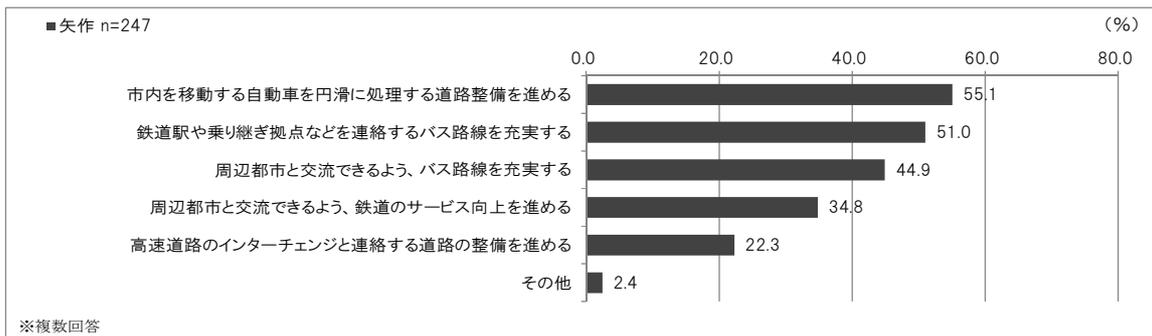
### ▼東部



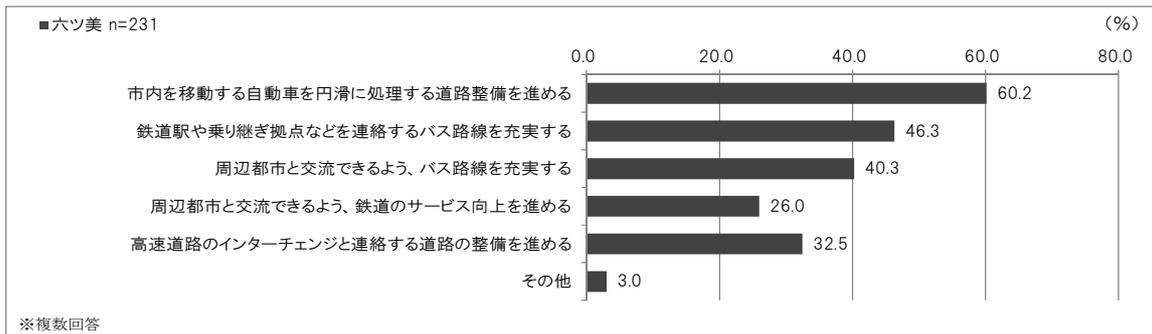
### ▼岩津



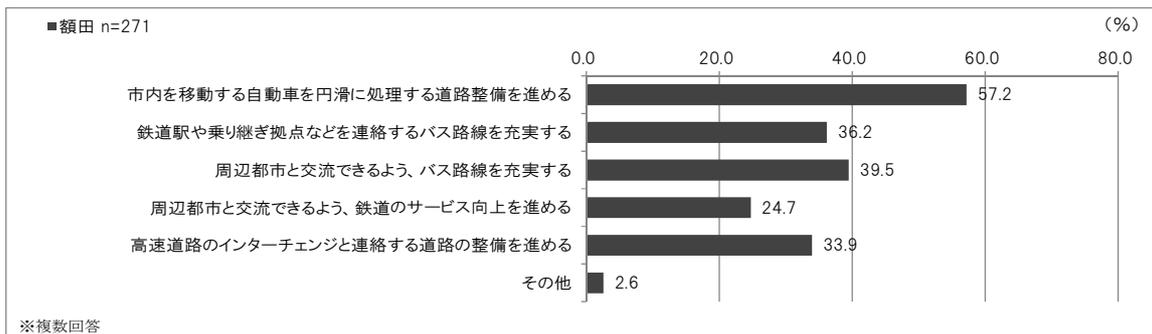
### ▼矢作



### ▼六ツ美



### ▼額田



### ⑤優先したいと思う「岡崎市の将来のまちの姿」について【問 A2-1】

※優先順に1番目は3ポイント、2番目は2ポイント、3番目は1ポイントをそれぞれの回答数に乗じて合計ポイントを算出した。

□市全体では、「公共交通や自転車、徒歩で移動しやすく、高齢者をはじめ市民が元気で健康に暮らすことができるまち」が最も多く、次いで「公共交通で市内のどこへでも安心して出かけることができるまち」の順となっている。

■各地区とも市全体の結果と同様な傾向にあるが、大平・額田地区では第1位と第2位の順番が逆転している。

図 6 9 岡崎市の将来のまちの姿（市合計）

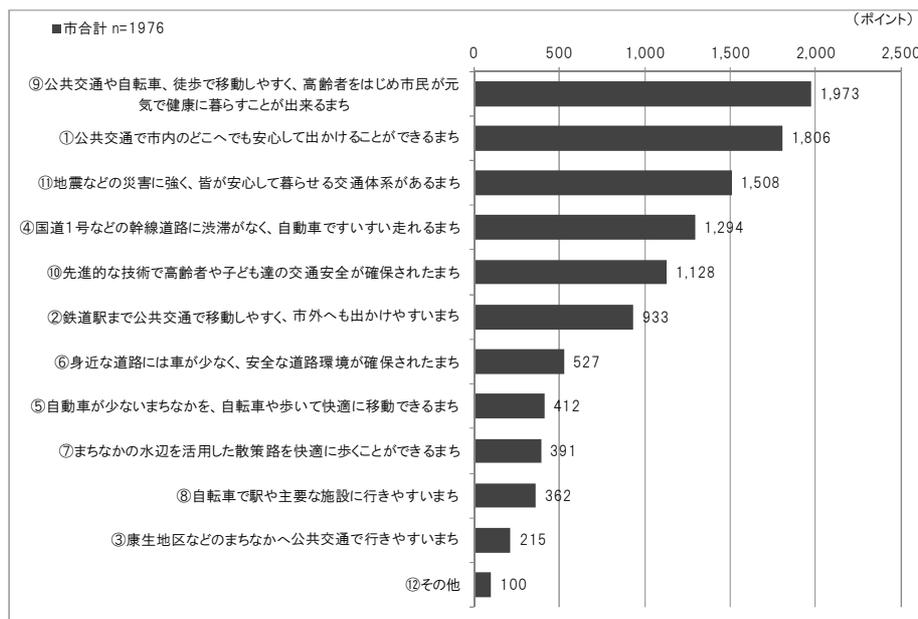
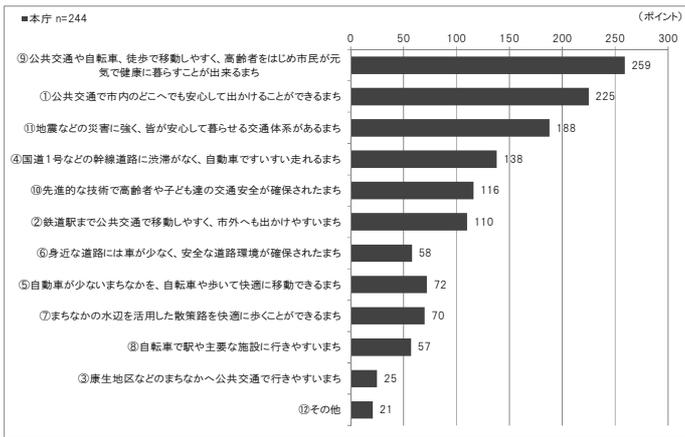
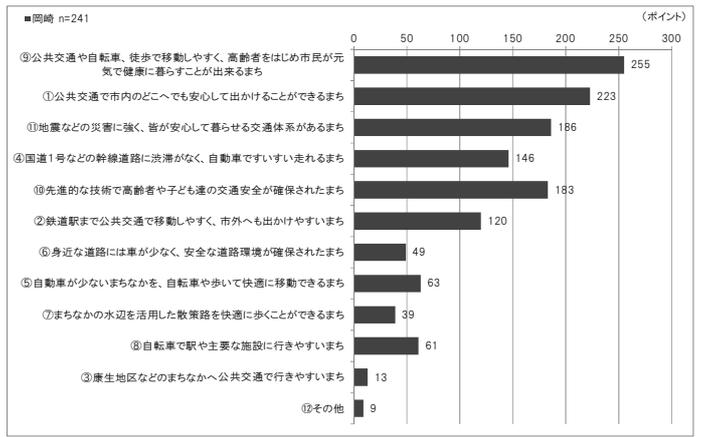


図 7 0 岡崎市の将来のまちの姿の地域別クロス集計

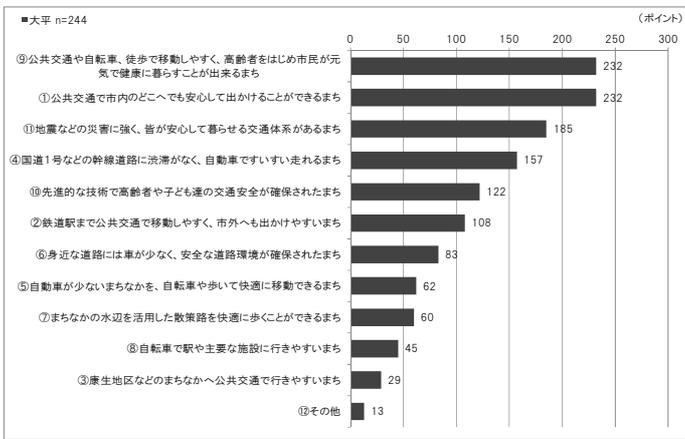
▼本庁



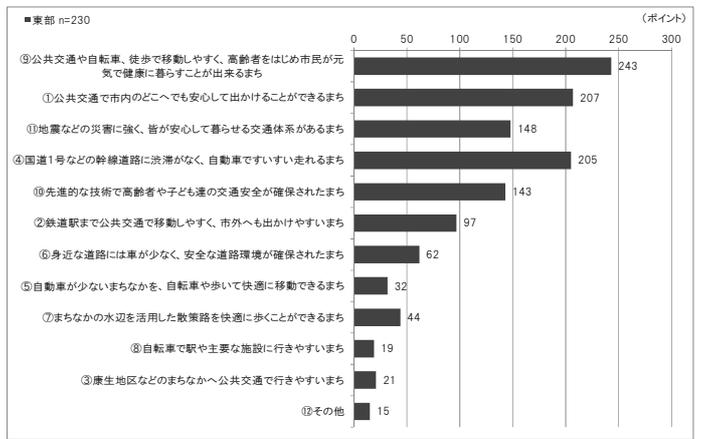
▼岡崎



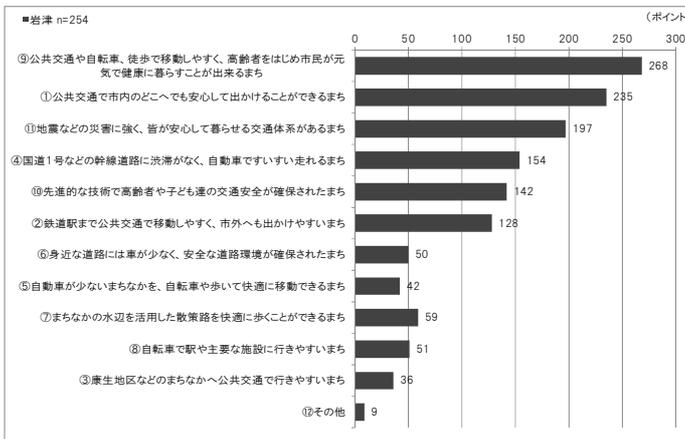
▼大平



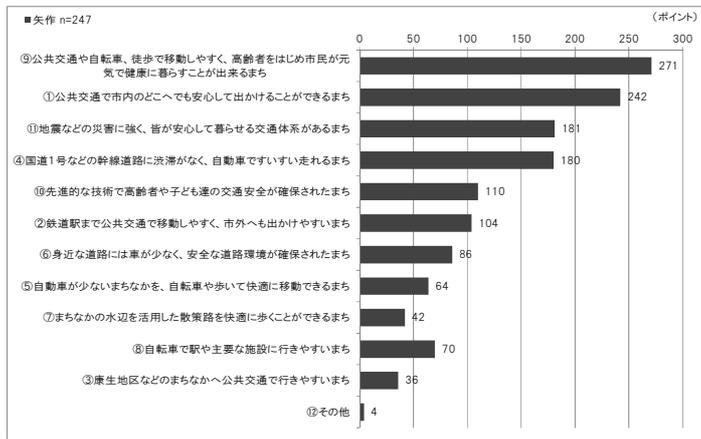
▼東部



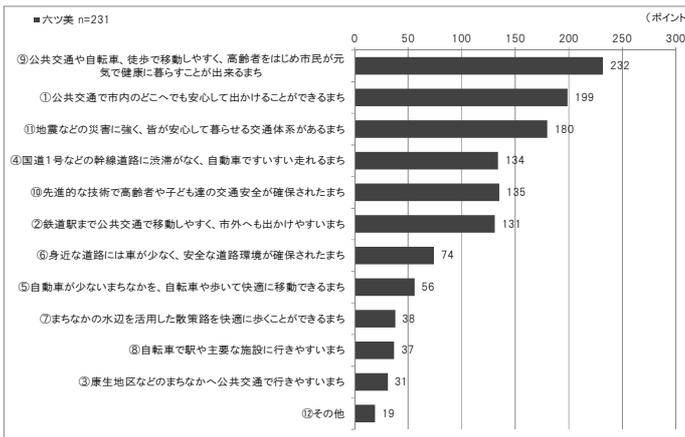
▼岩津



▼矢作



▼六ツ美



▼額田

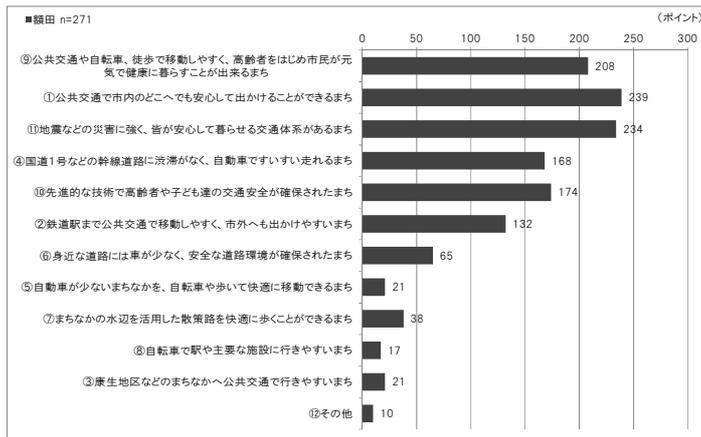
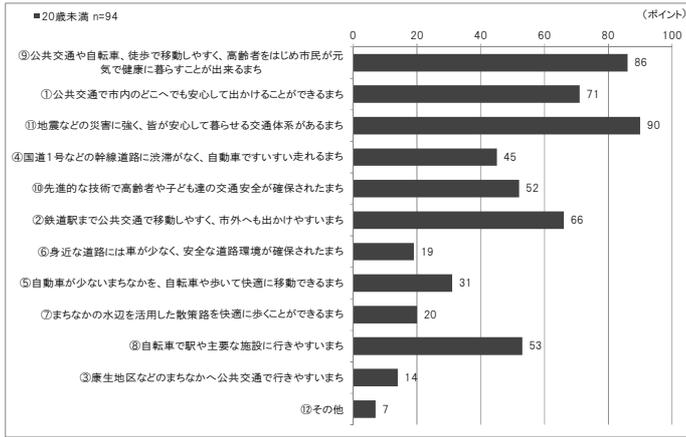
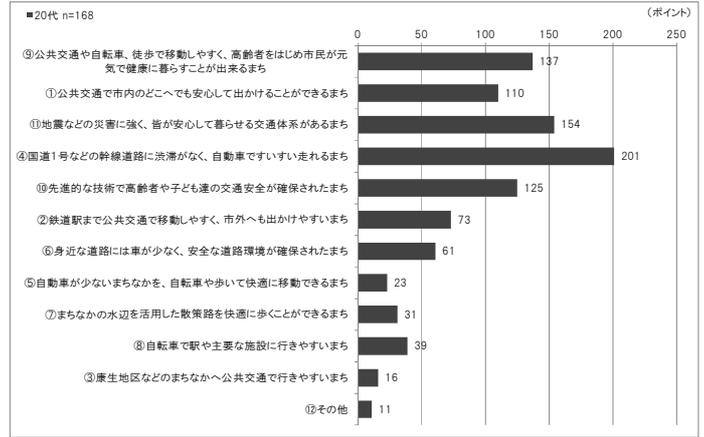


図 7 1 岡崎市の将来のまちの姿の年齢階層別クロス集計

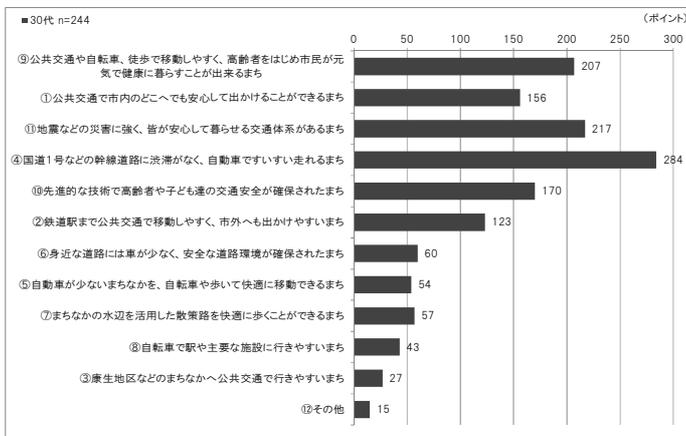
▼20 歳未満



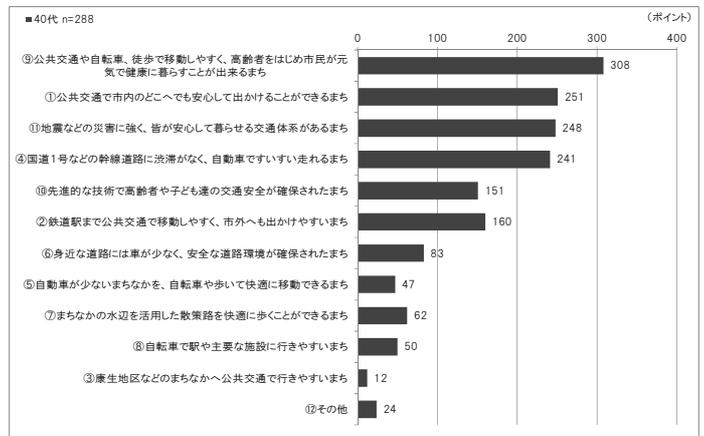
▼20 代



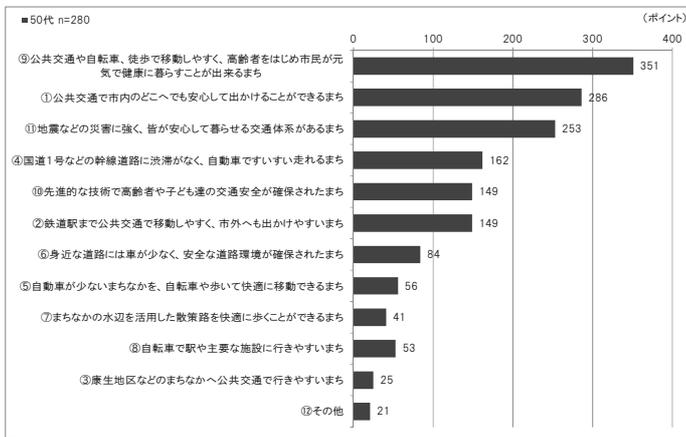
▼30 代



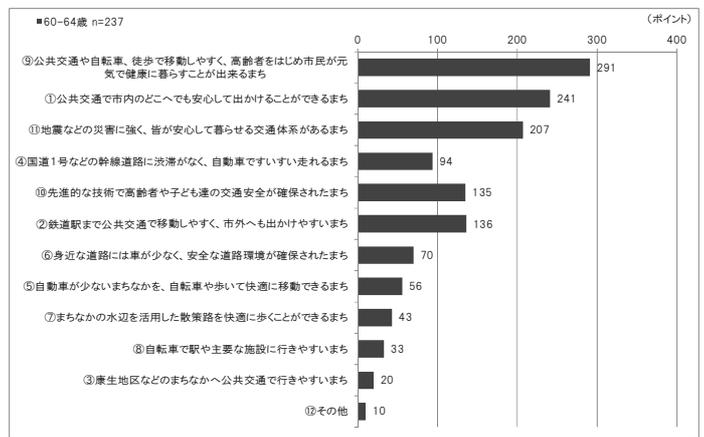
▼40 代



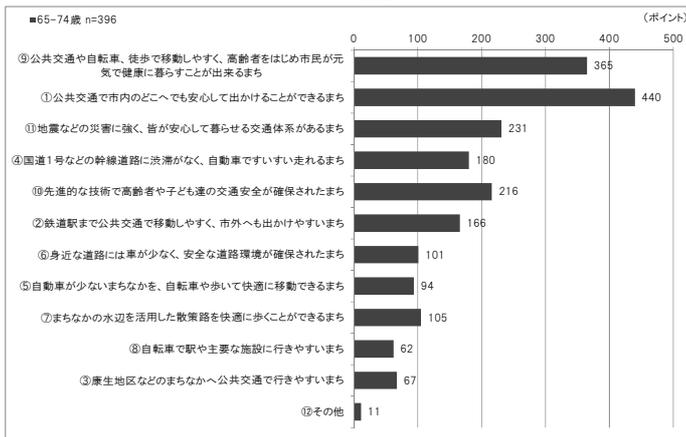
▼50 代



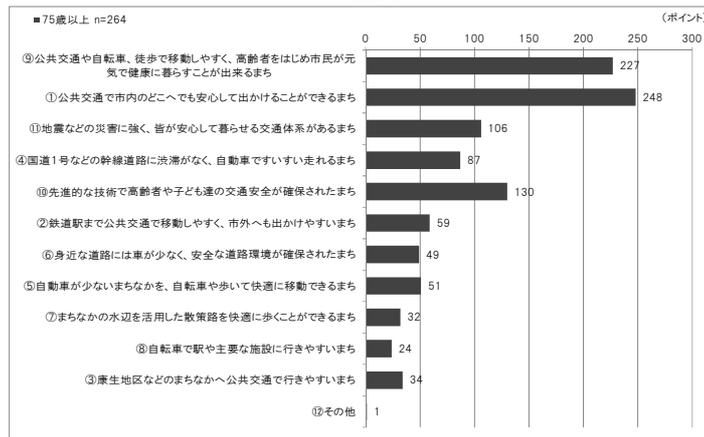
▼60-64 歳



▼65-74 歳



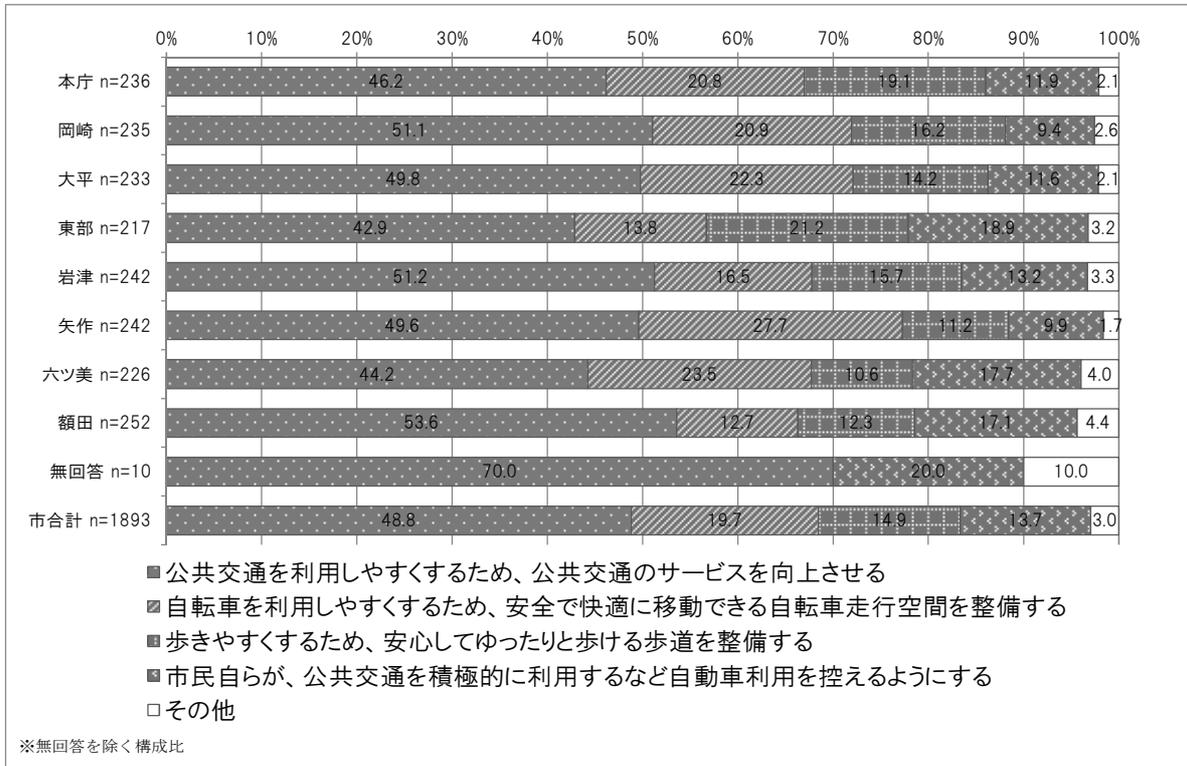
▼75 歳以上



⑥自動車以外の交通手段を使い分ける交通体系への変換について、最も有効だと思う取り組みについて【問 A2-2】

□市全体では、「公共交通のサービスを向上させる」が約 49%を占める。  
 ■矢作地区では、「自転車走行空間を整備する」が約 28%存在する。

図 7 2 最も有効だと思う取り組み



⑦自動車以外の交通手段を使い分ける交通体系への変換について、協力できると思う取り組みについて【問 A2-3】

□市全体では、「公共交通を利用する」が約 56%と最も高い。  
 ■額田地区では、「公共交通を利用する」が約 44%を占めるものの、「自動車利用」で協力できる取り組みが高い割合を占める。

図 7 3 自動車以外の交通手段を使い分ける交通体系への変換について協力できる取り組み（市合計）

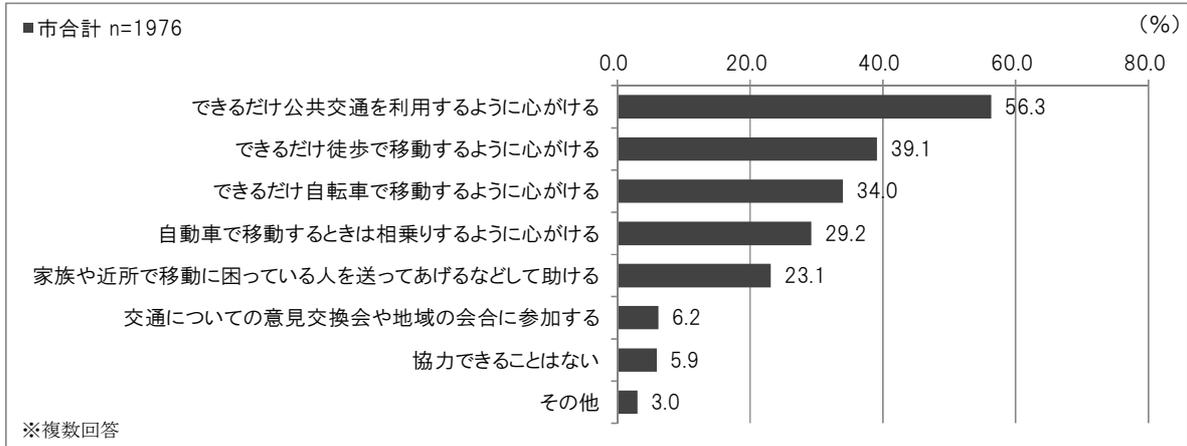
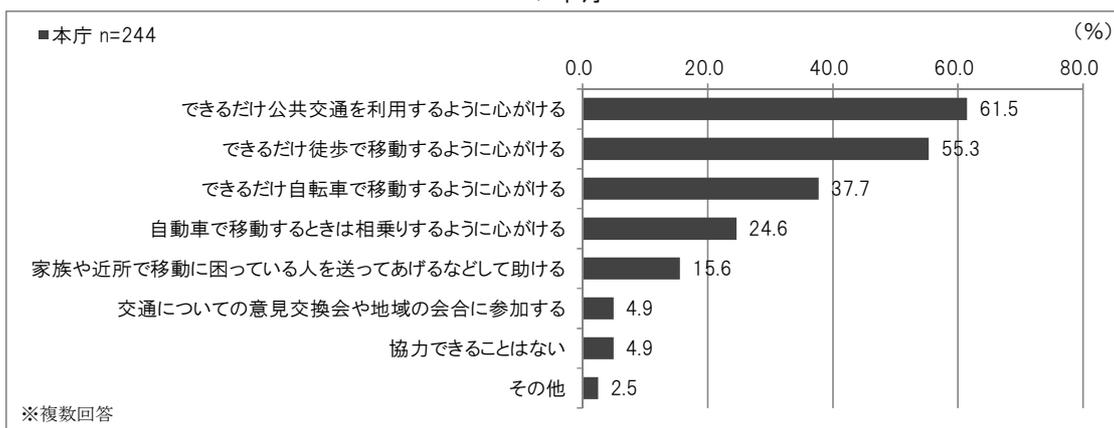
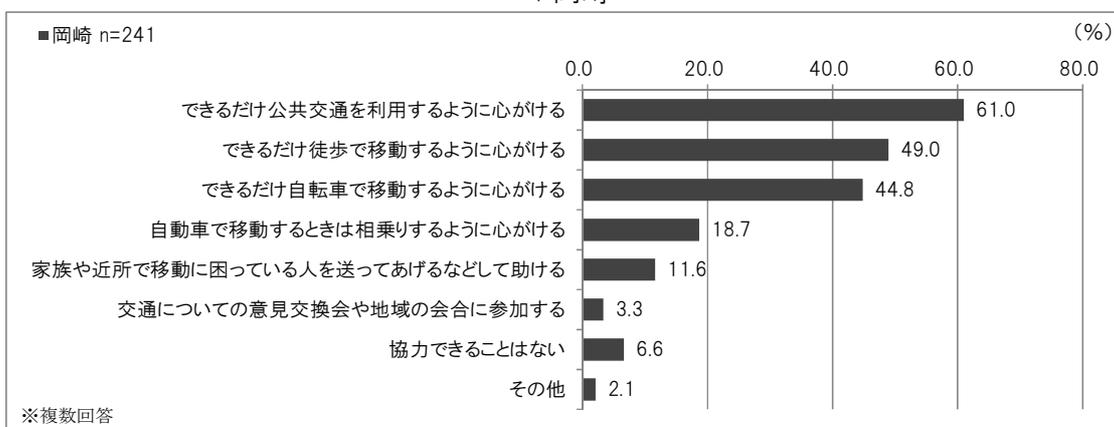


図 7 4 自動車以外の交通手段を使い分ける交通体系への変換について協力できる取り組み地域別クロス集計

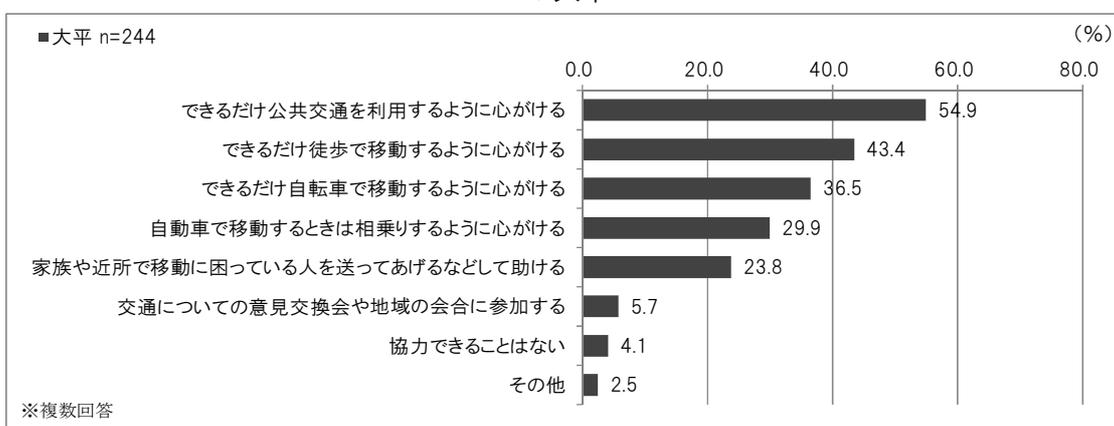
▼本庁



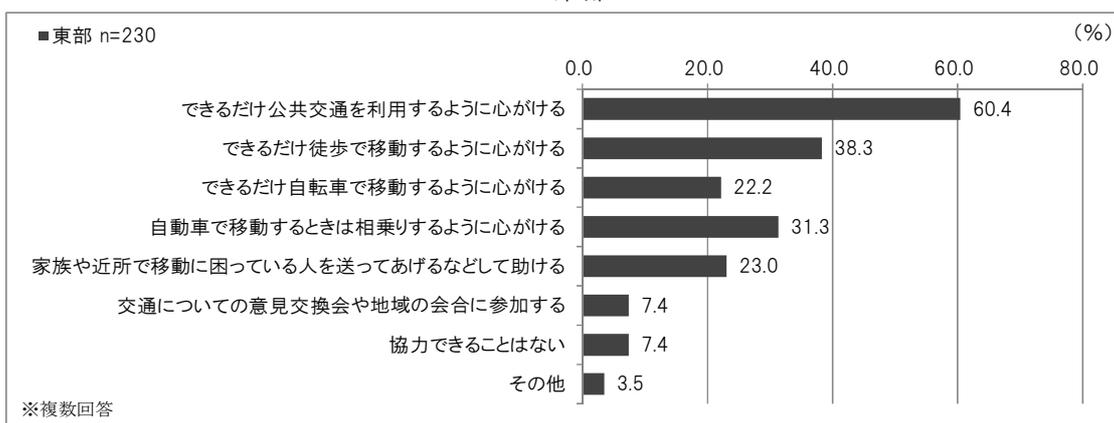
▼岡崎



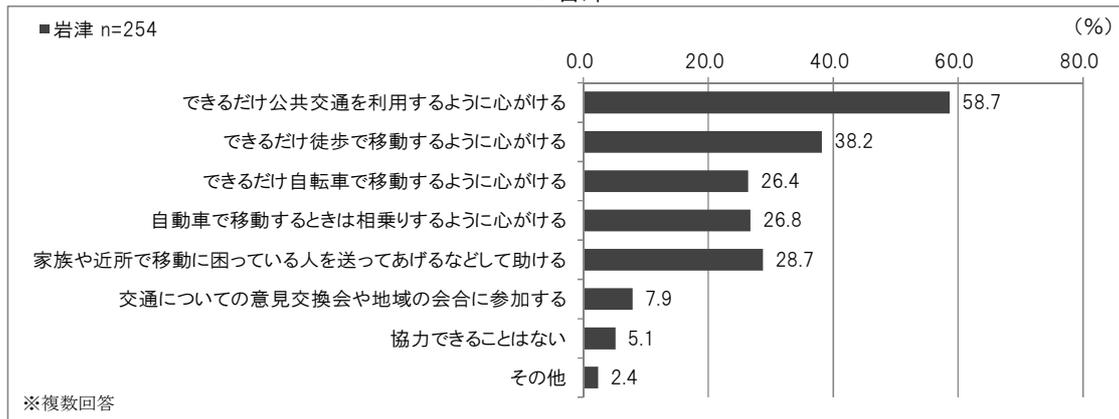
▼大平



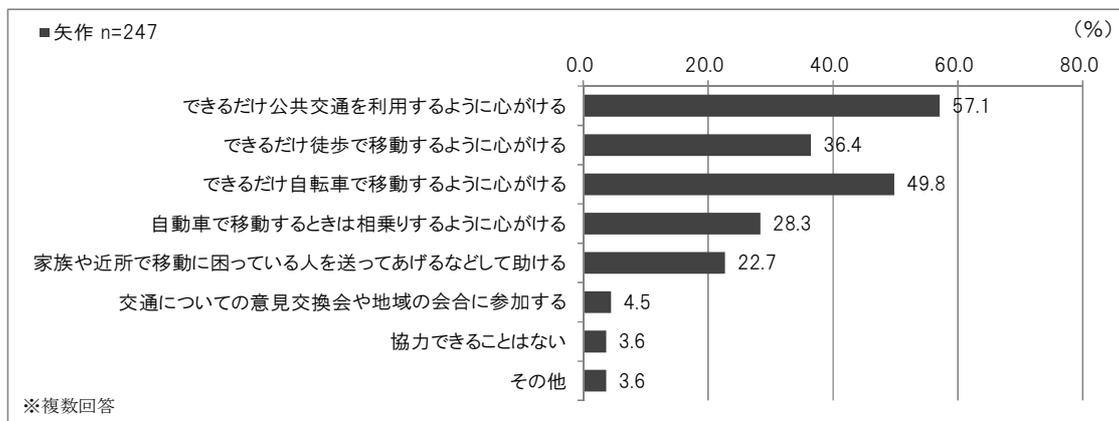
▼東部



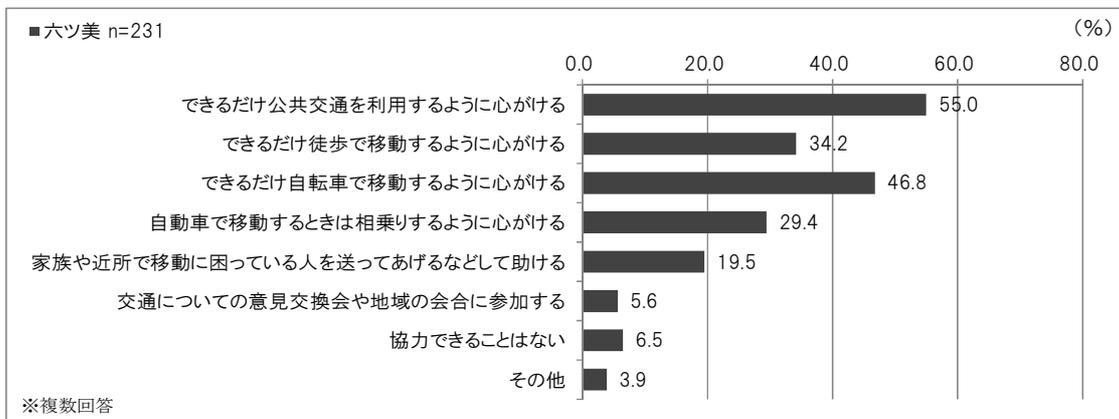
▼岩津



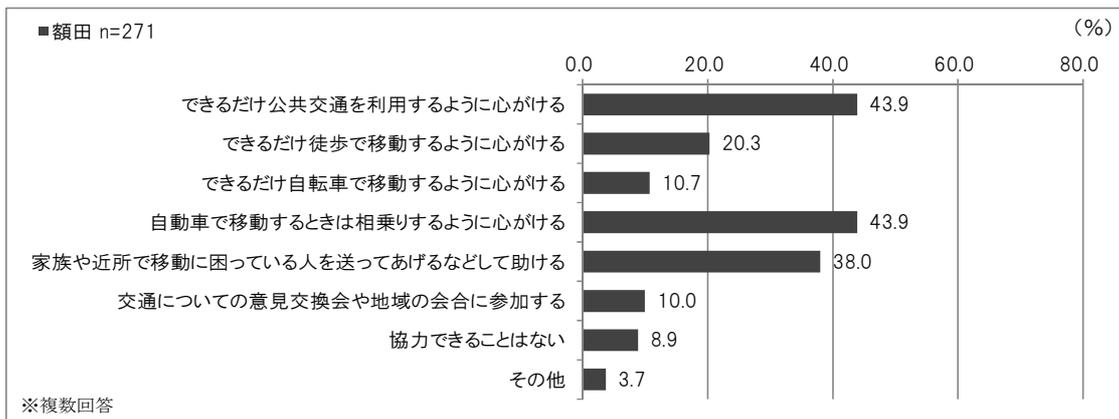
▼矢作



▼六ツ美



▼額田



#### (4) 岡崎市の公共交通（岡崎市地域公共交通総合連携計画）について【問 B】

##### ①これまで行ってきた公共交通に関する取り組みについての認知度と、知っている取り組みについての評価【問 B-1】

□市全体の認知度では、「⑬ICカードの導入」が約 55%と最も高く、次いで、「④まちバスの整備」が 46%となっている。

取り組みの評価としては、「⑬ICカードの導入」で 90%、次いで「⑪バスロケーションシステムの導入」で約 86%、「⑫バス待合環境の整備」で約 85%が「効果的であるまたは便利になった」と回答しているものの、「⑤市内補助路線の改善」で約 22%、「④まちバスの整備」で約 17%が「効果的でないまたは便利ではない」と回答している。

■額田地区の認知度では、「②市民病院線の整備」が約 62%、「③乗合タクシーの整備」が約 53%と高い割合を占める。

■平成 22 年度アンケート結果でも、「④まちバスの整備」の認知度は約 49%と高い割合を占める。

図 7 5 公共交通に関する取り組みについての認知度と評価（市合計）

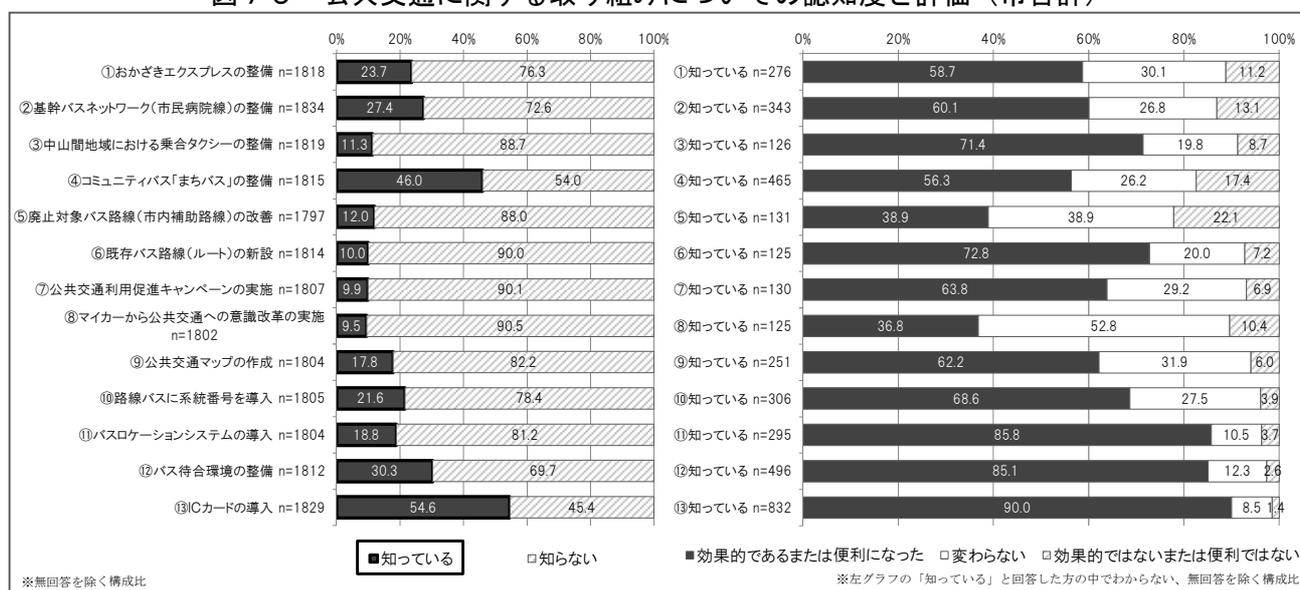


図 7 6 平成 22 年度アンケート結果

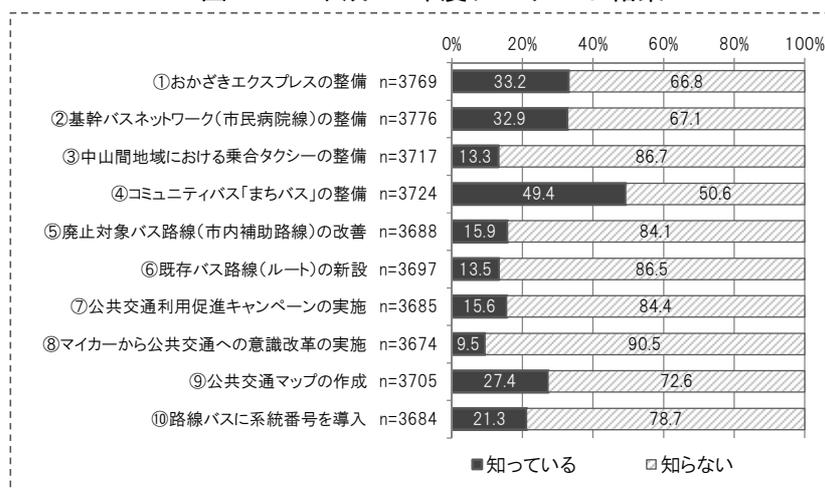
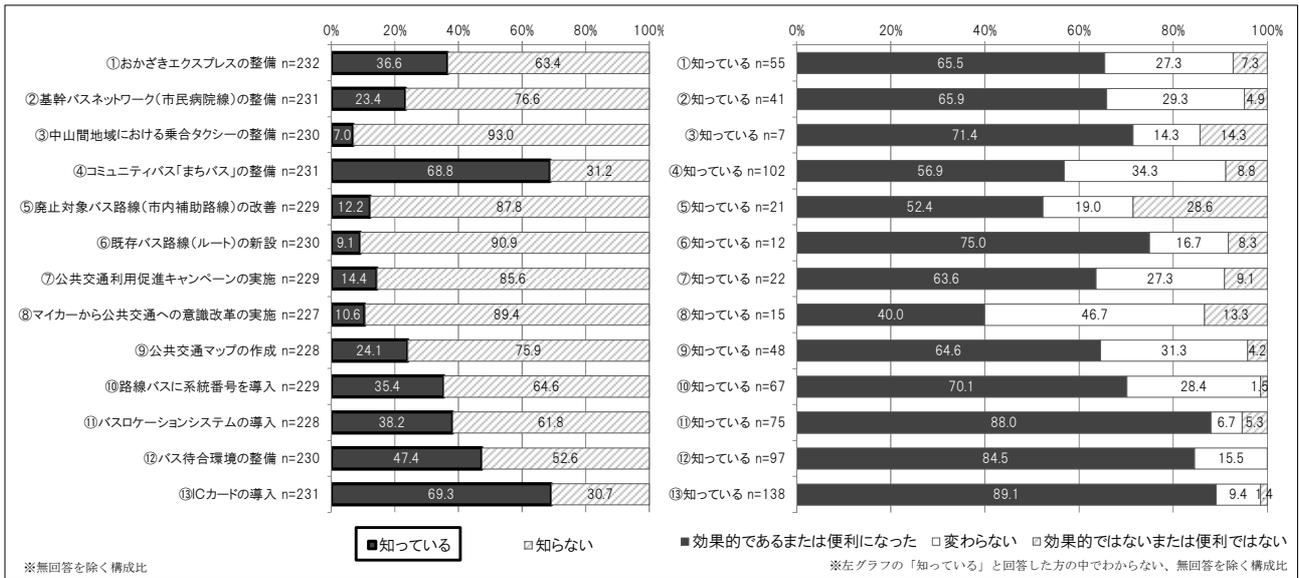
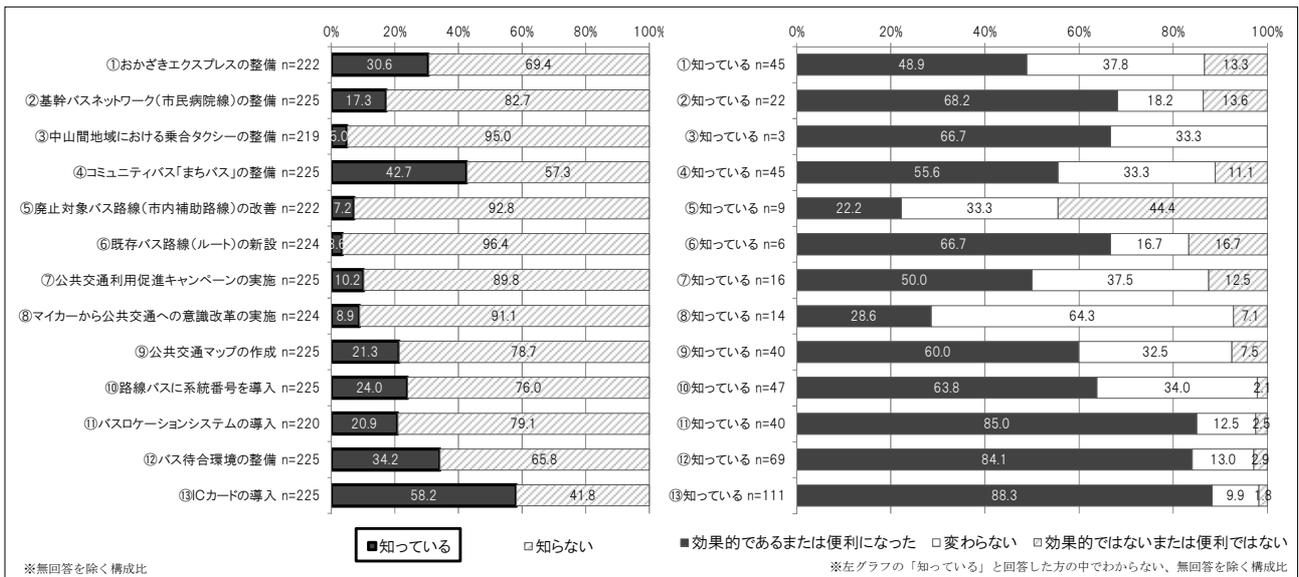


図7-7 公共交通に関する取り組みについての認知度と評価の地域別クロス集計

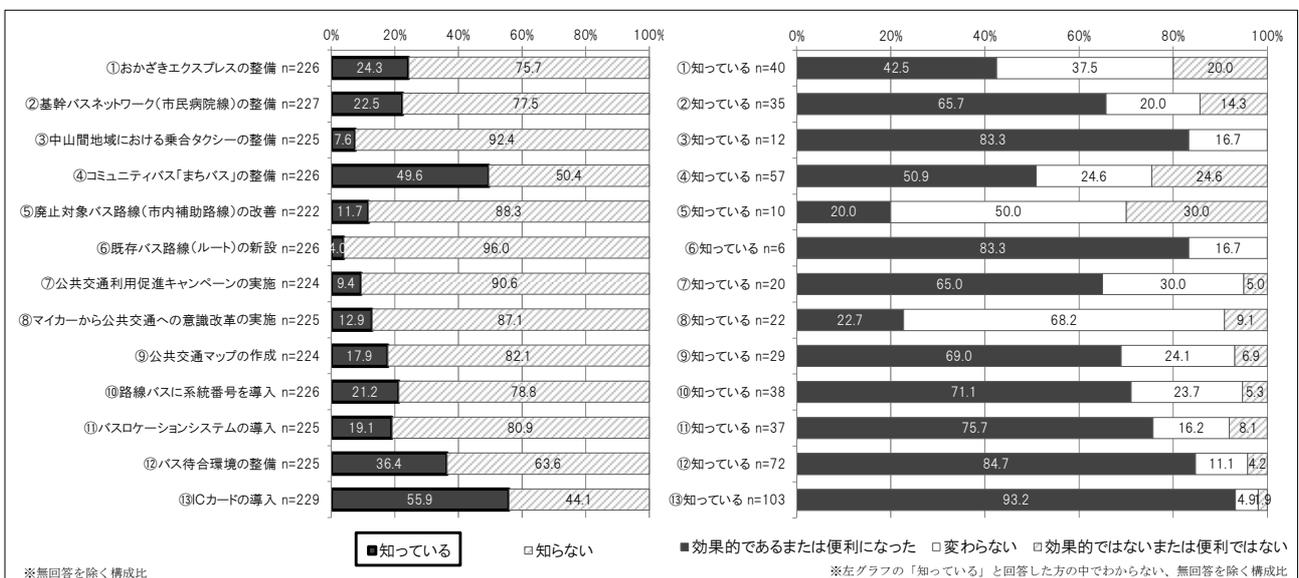
▼本庁



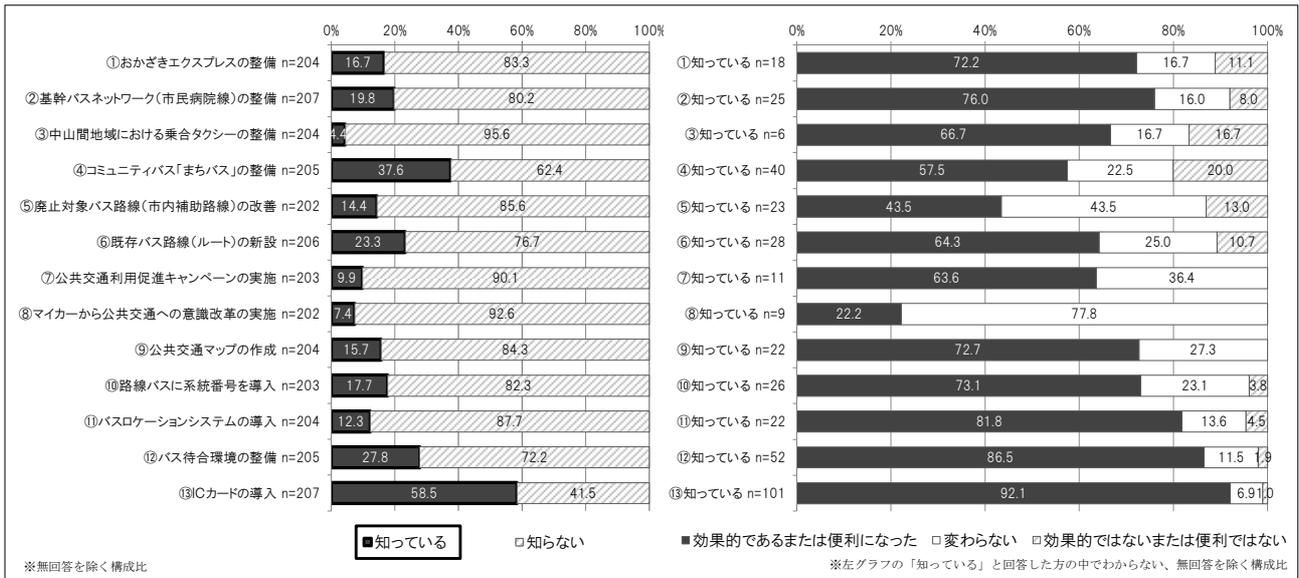
▼岡崎



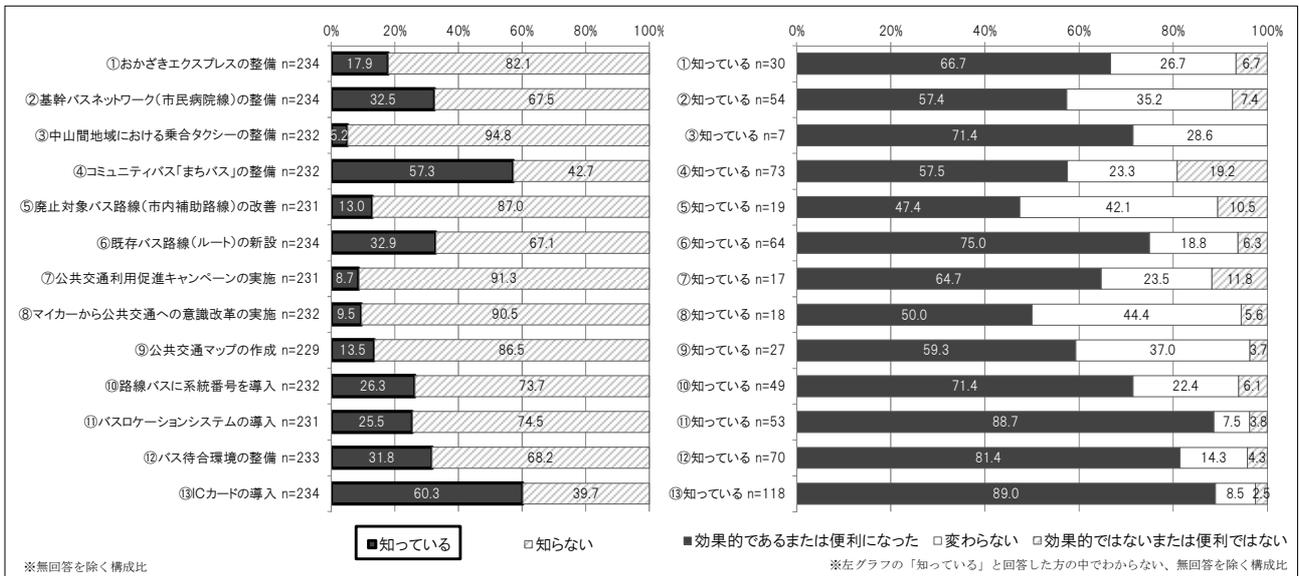
▼大平



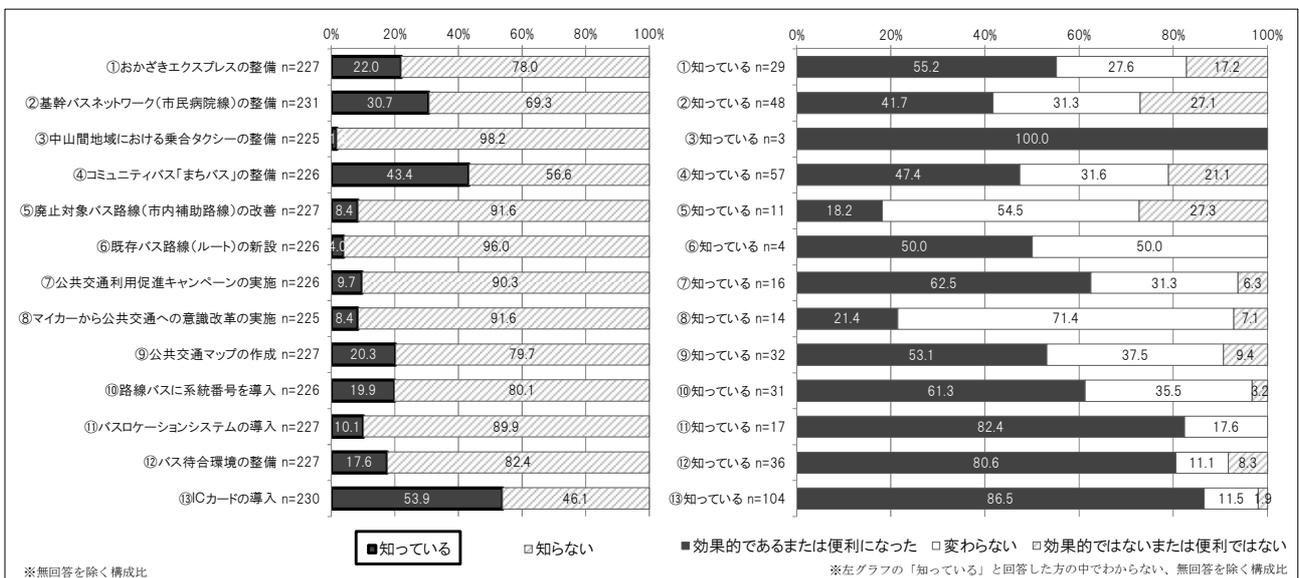
▼東部



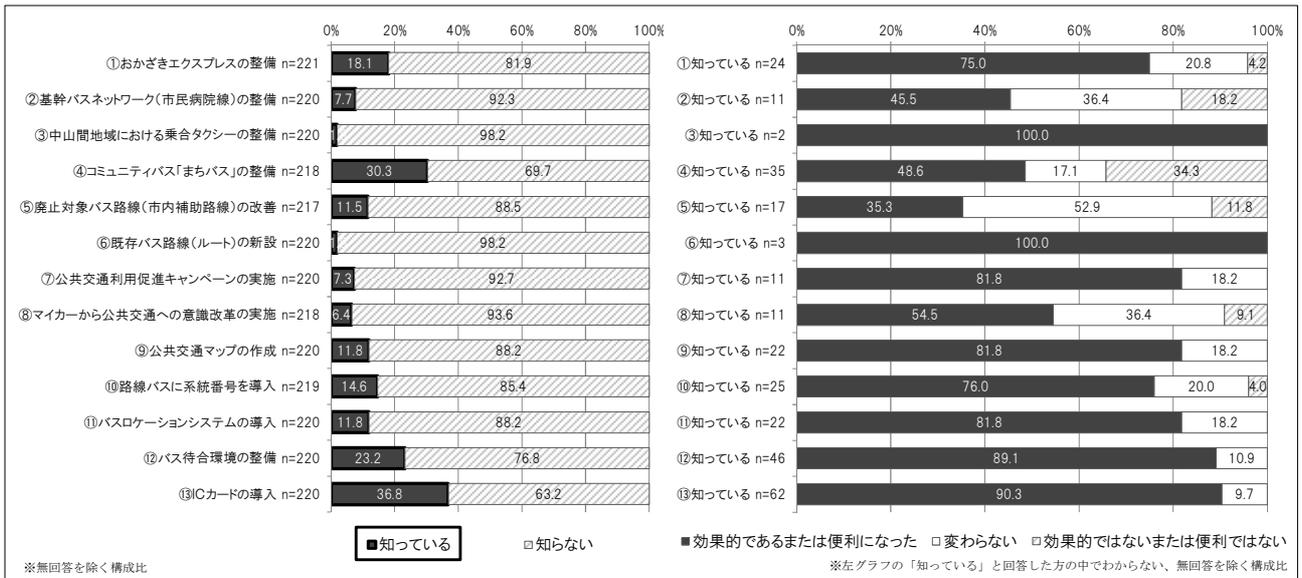
▼岩津



▼矢作



## ▼六ツ美



## ▼額田

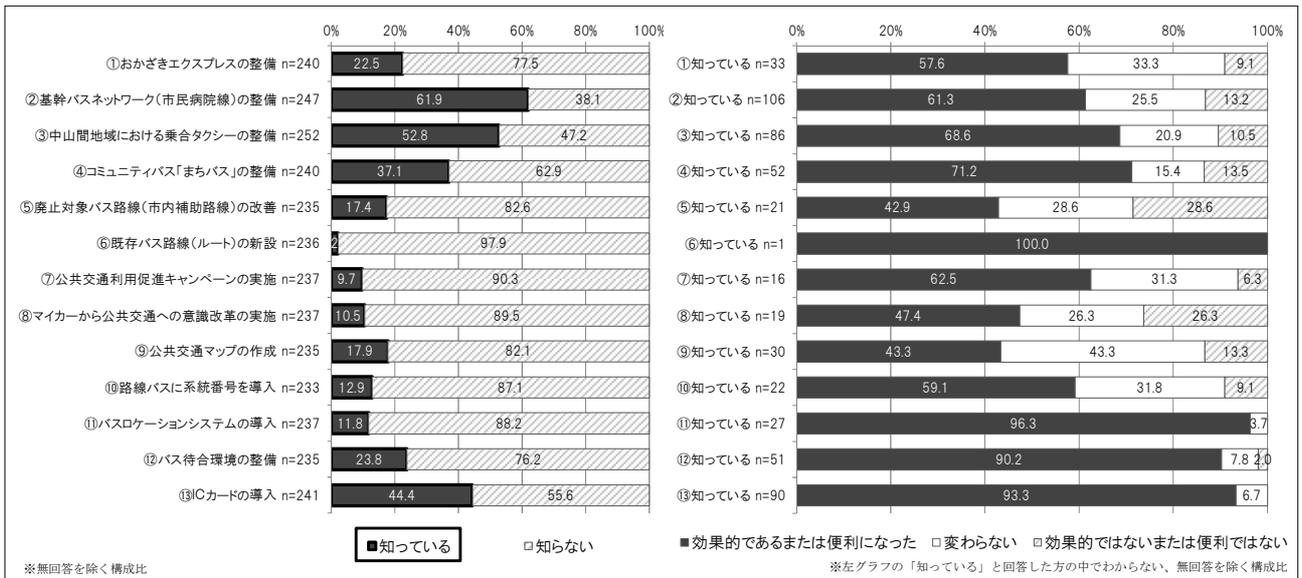
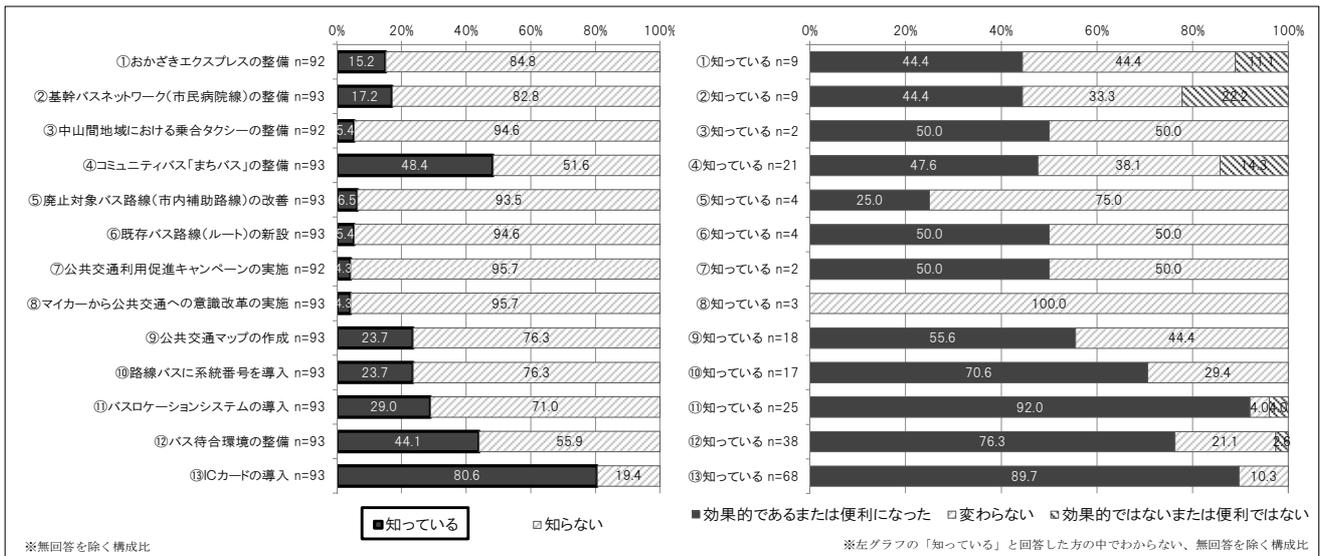
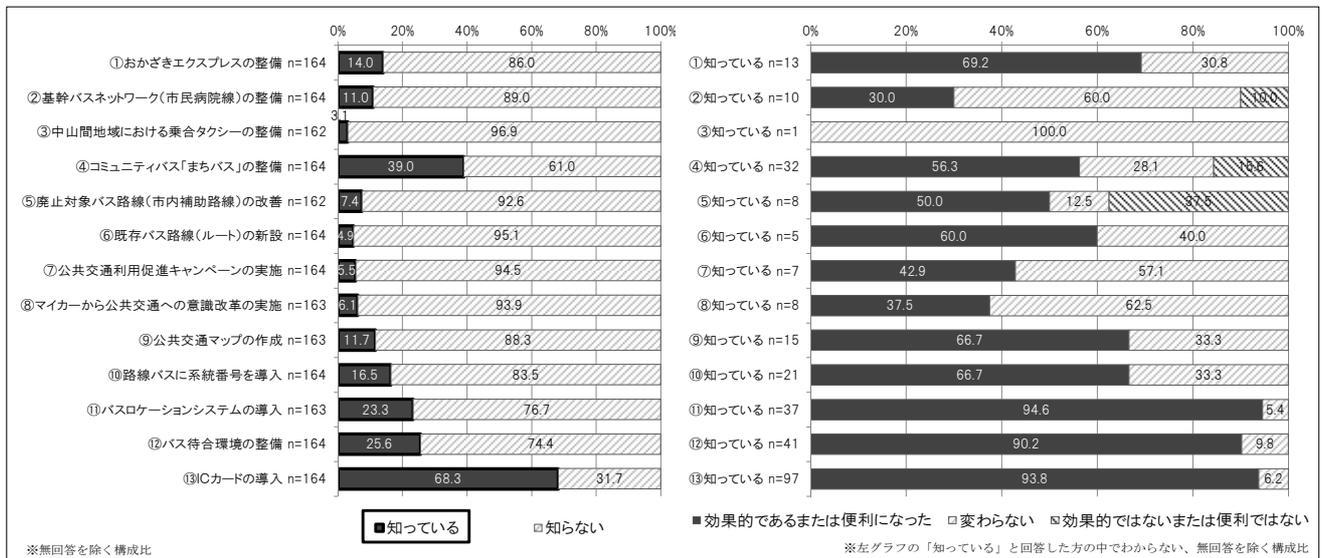


図 7 8 公共交通に関する取り組みについての認知度と評価の年齢別クロス集計

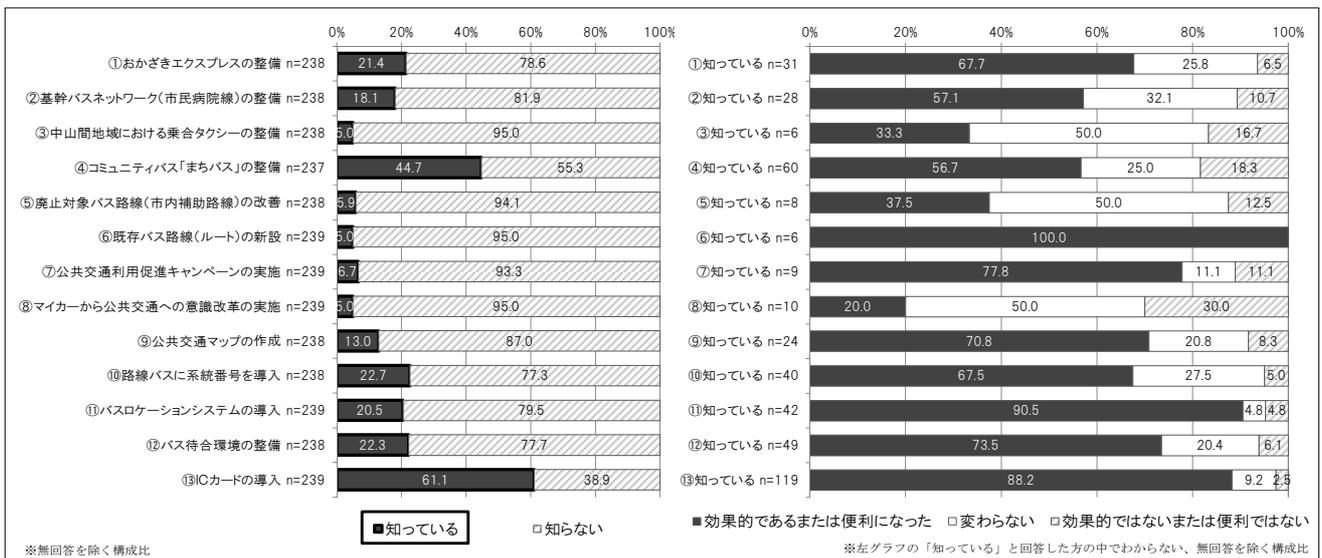
▼20 歳未満



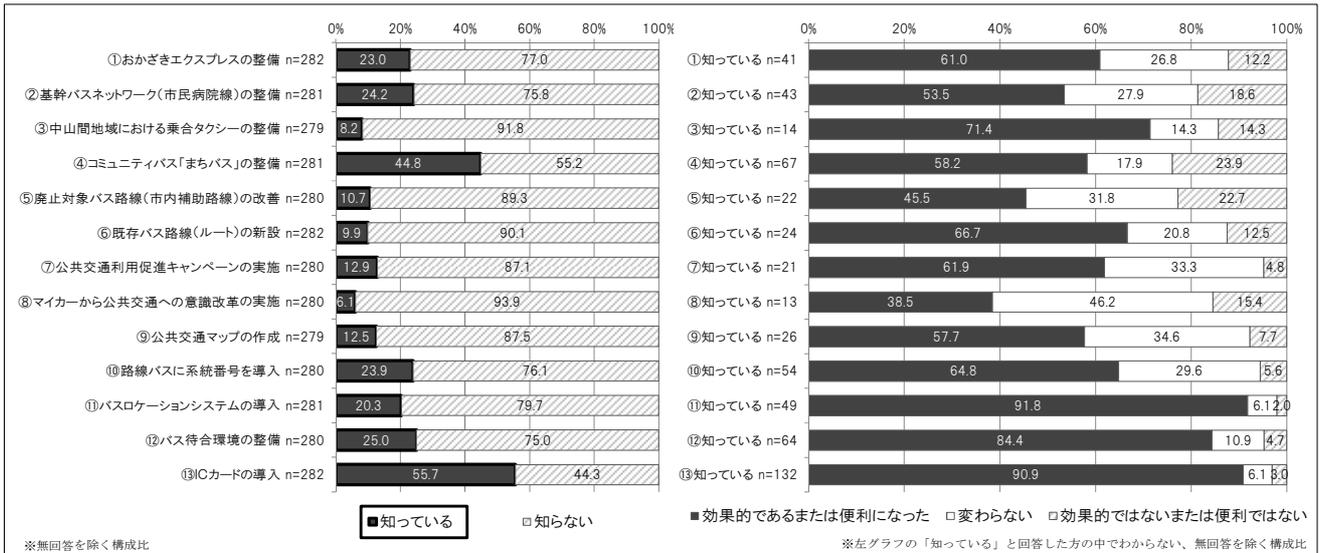
▼20 代



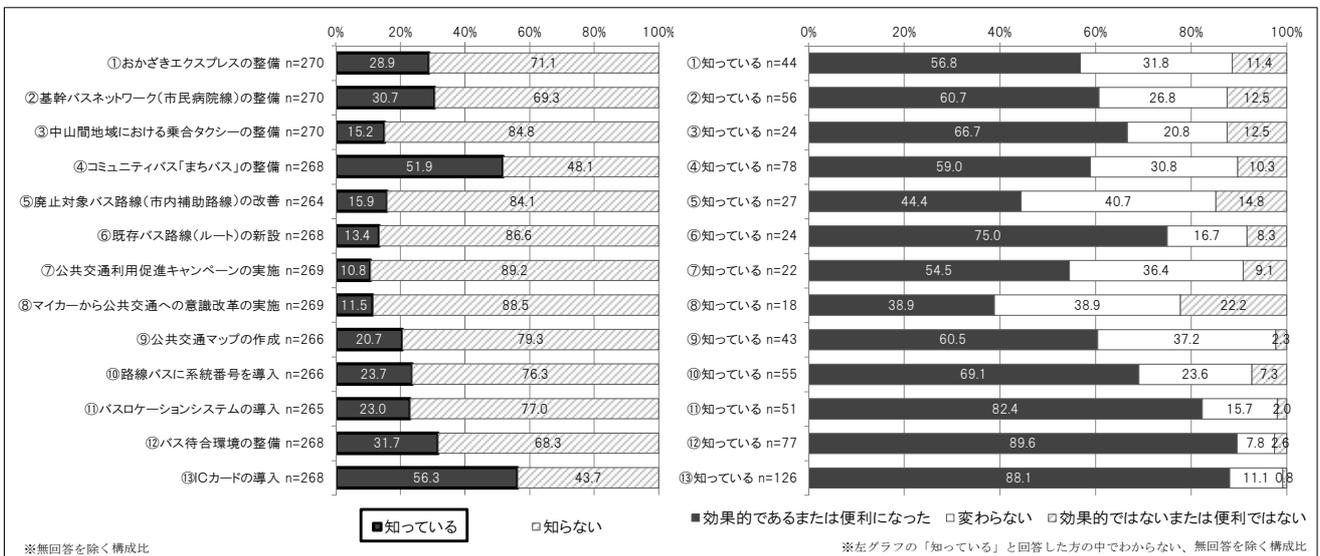
▼30 代



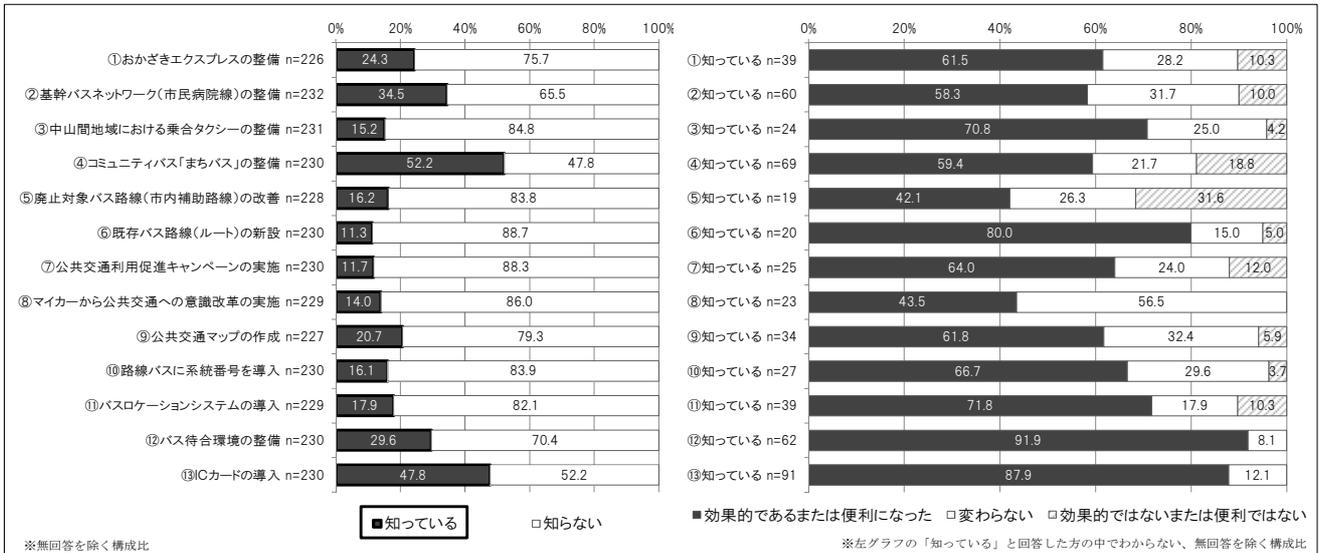
▼40代



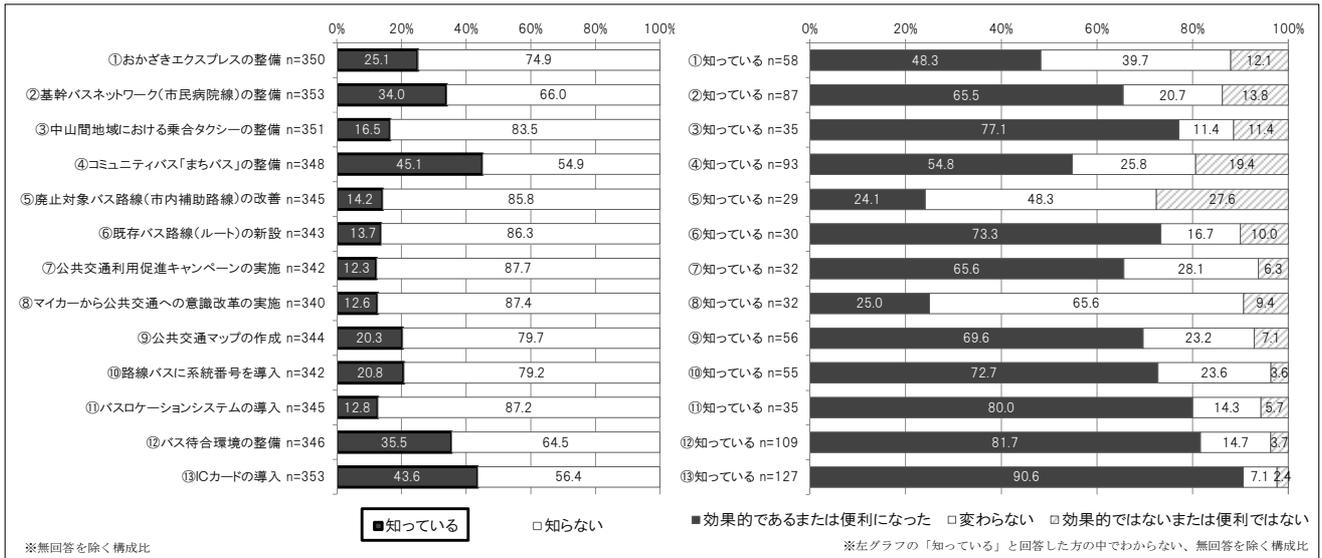
▼50代



▼60-64歳



### ▼65-74 歳



### ▼75 歳以上

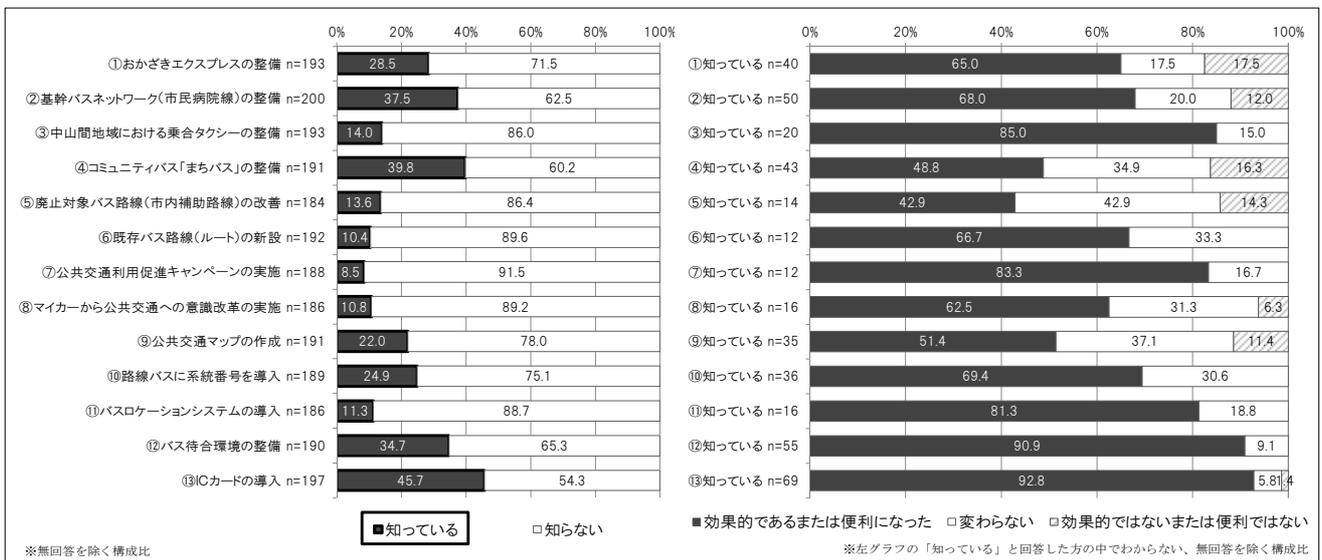
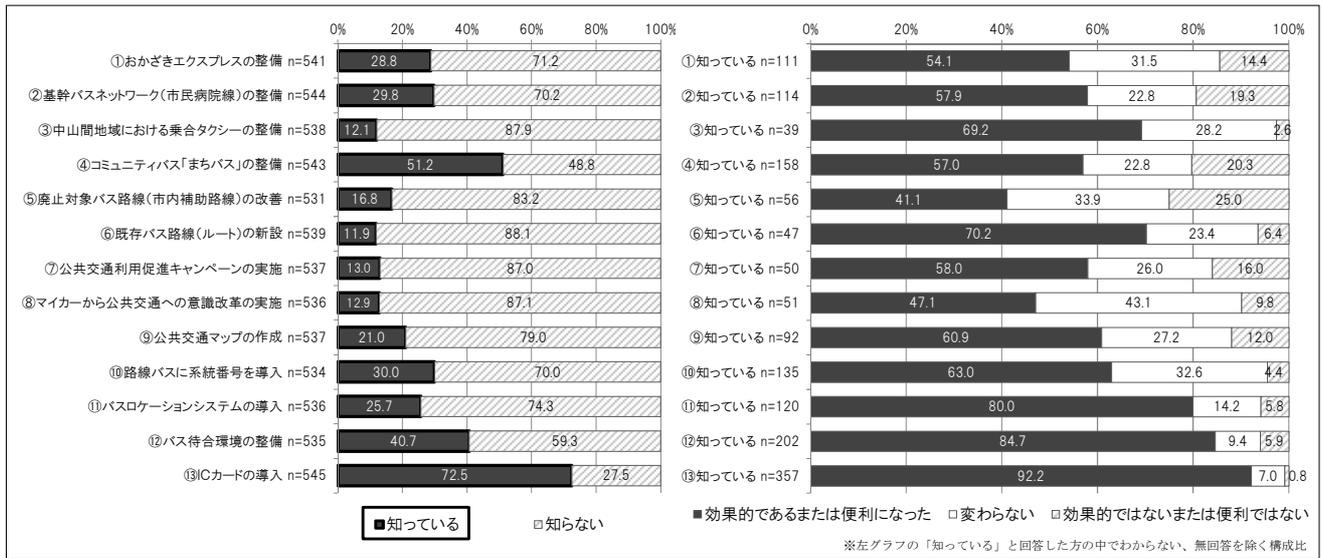
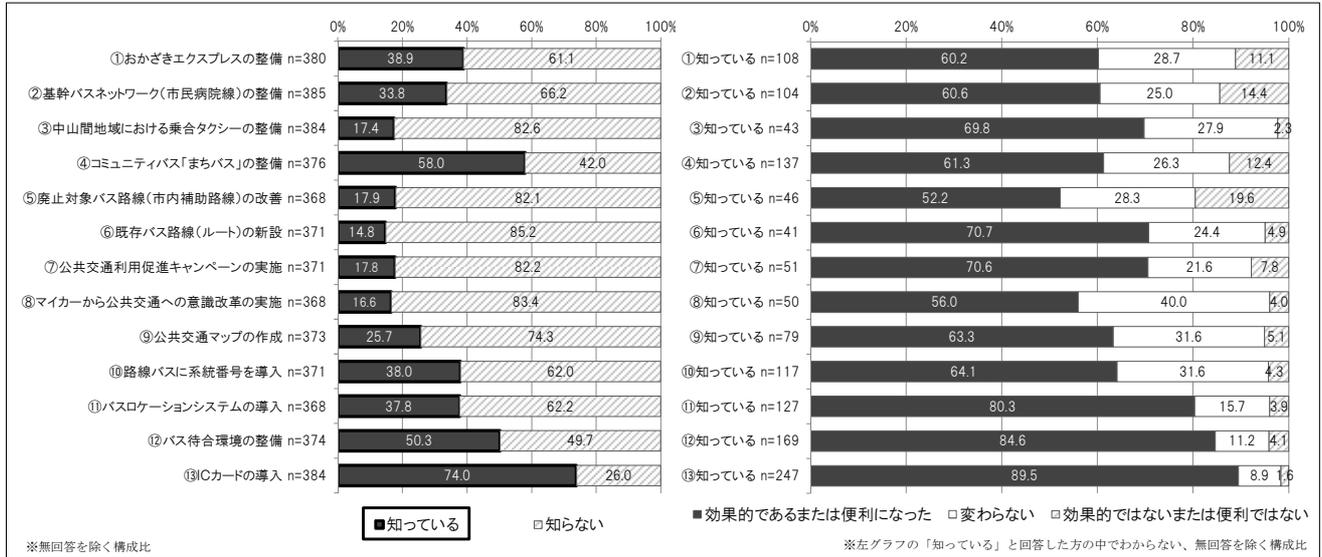


図 7 9 公共交通に関する取り組みについての認知度と評価の利用交通手段別クロス集計

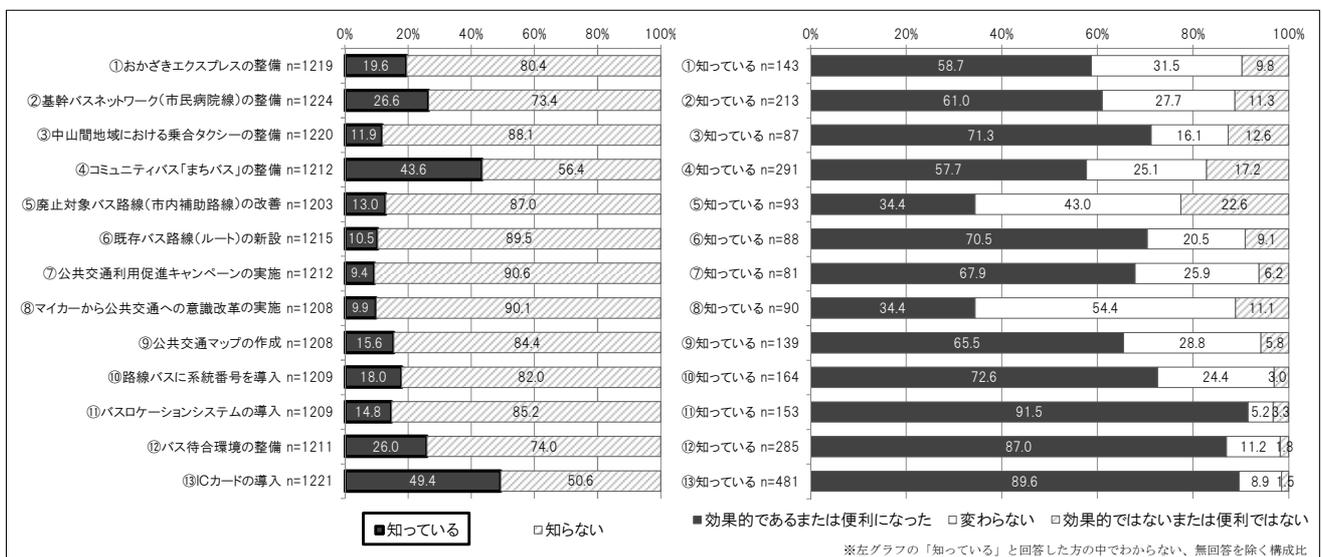
▼鉄道



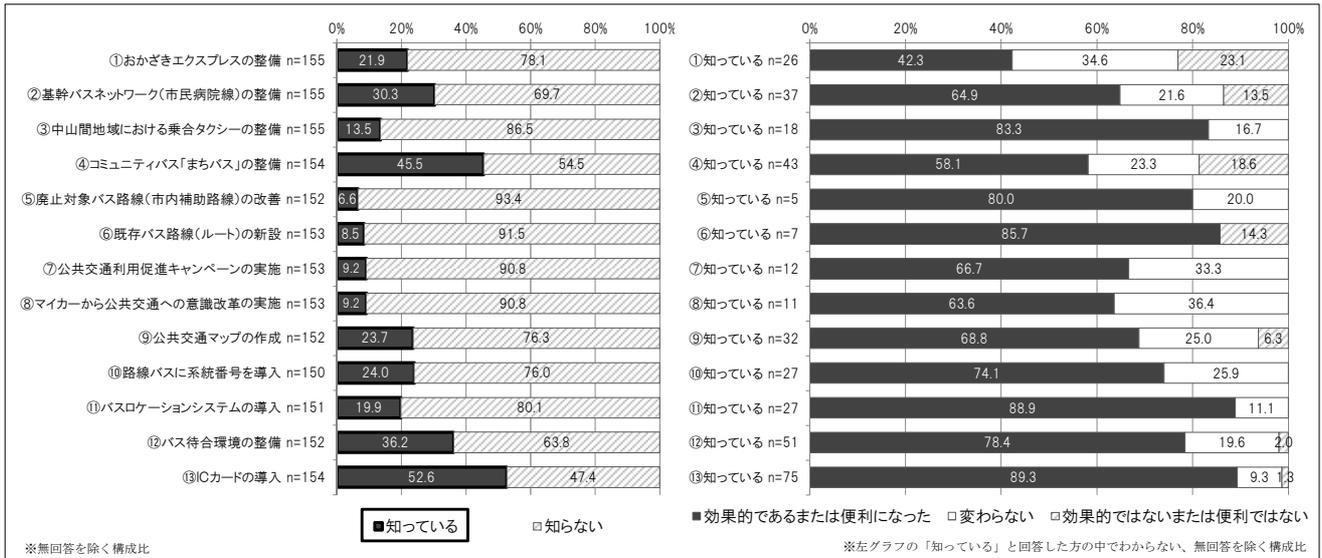
▼バス



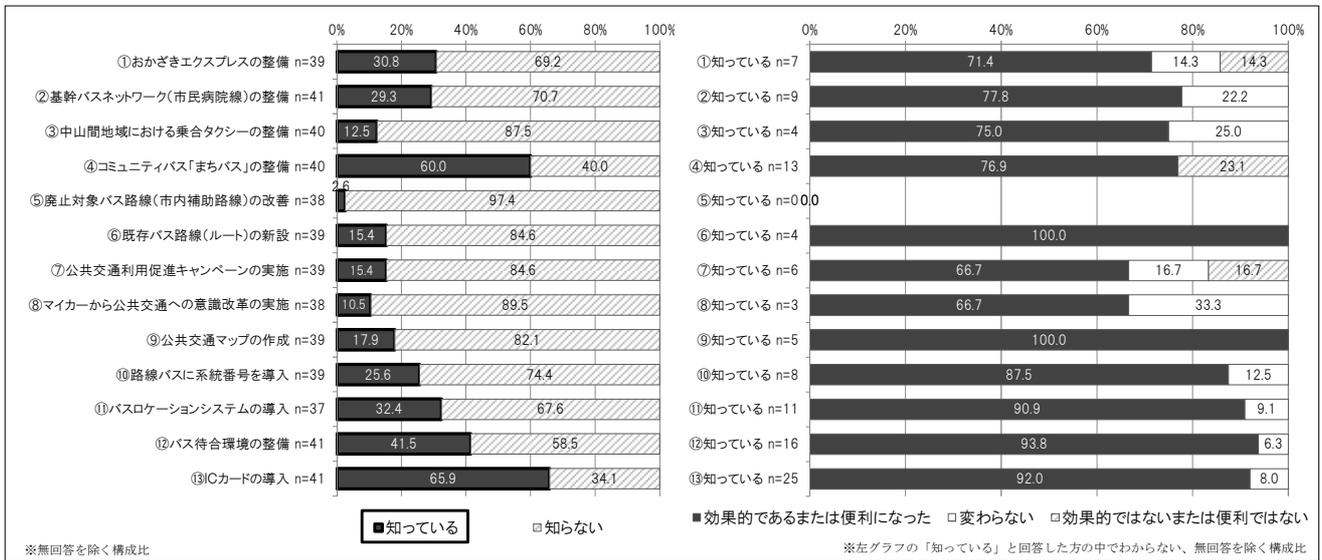
▼自動車(運転)



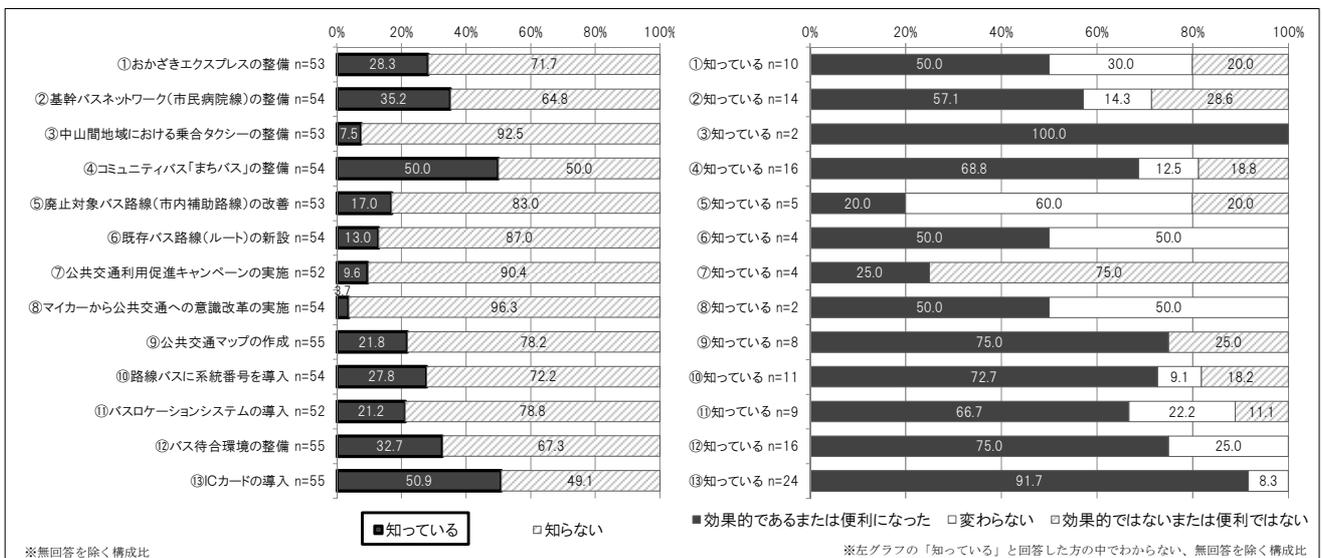
### ▼自動車(送迎)



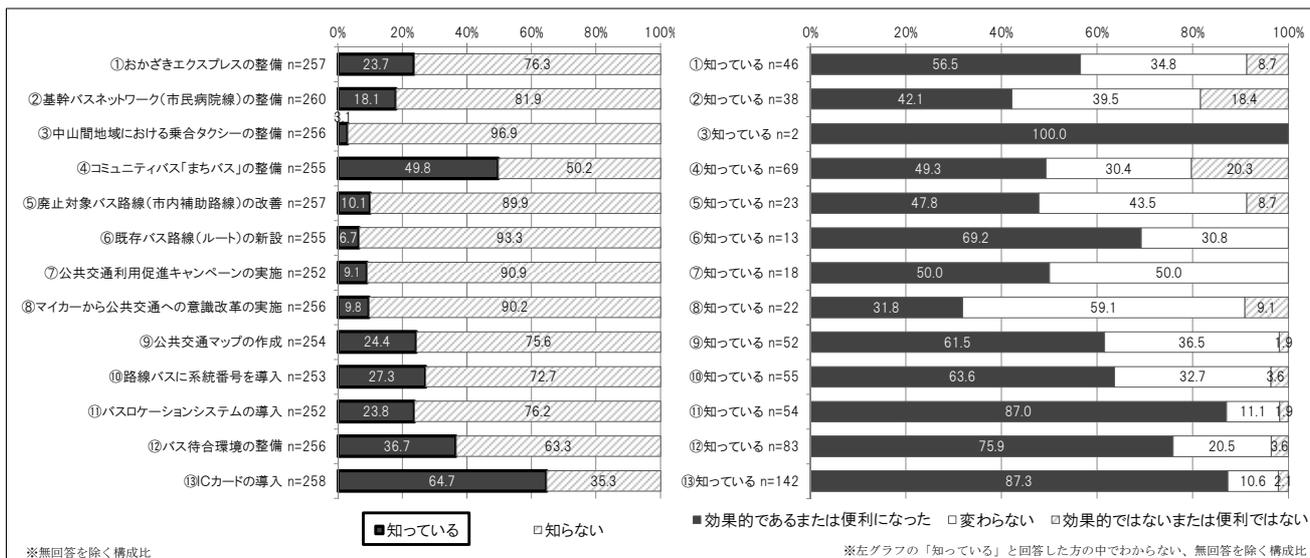
### ▼タクシー



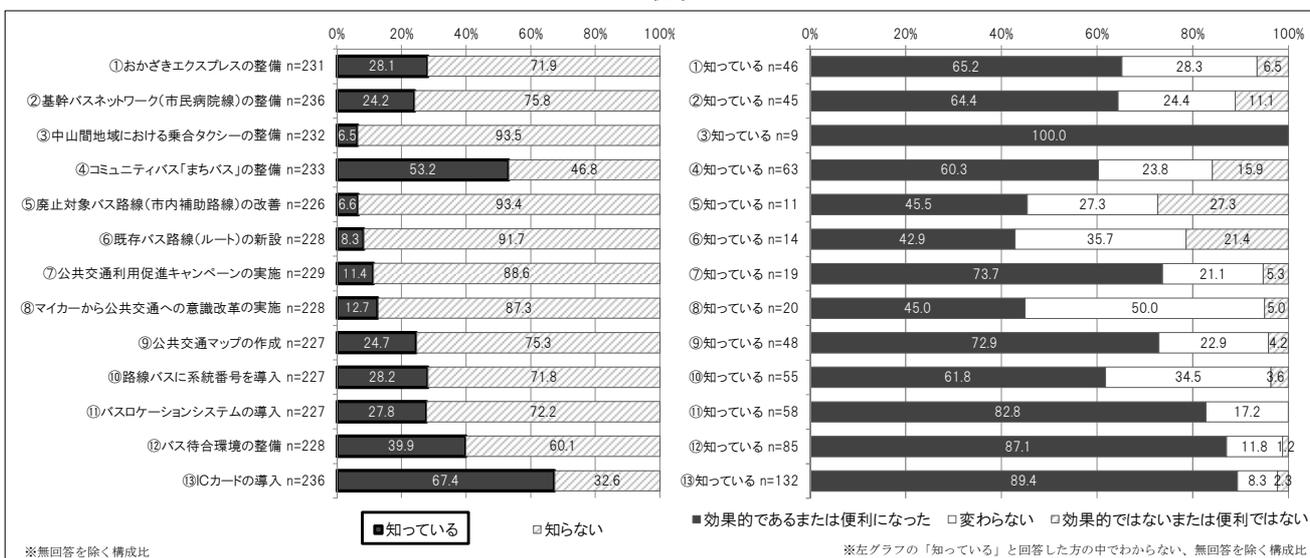
### ▼バイク



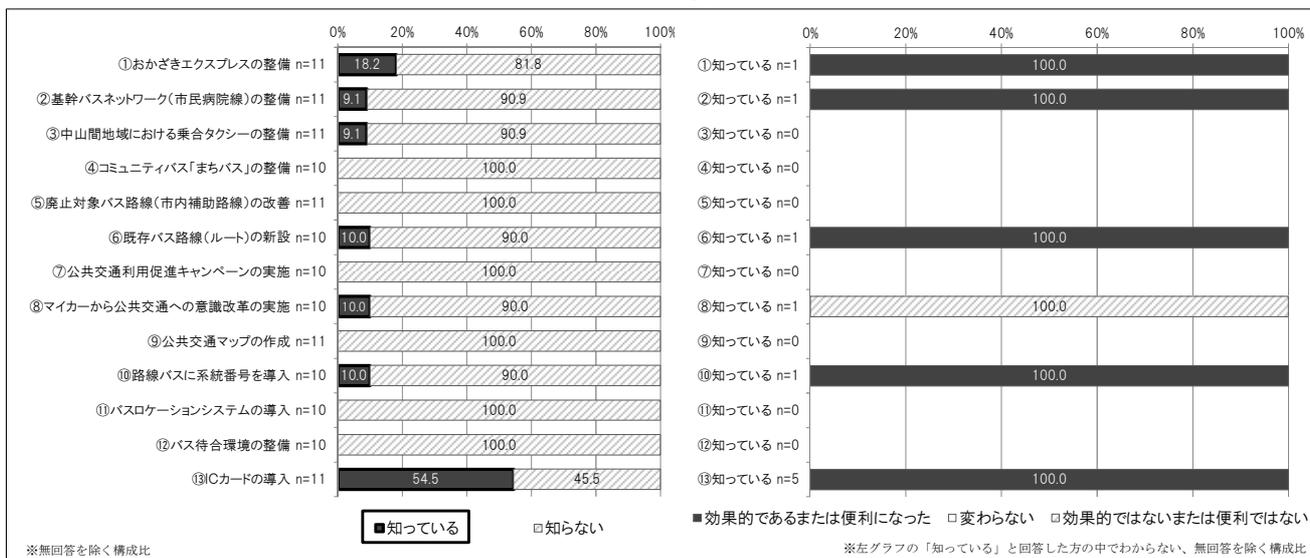
### ▼自転車



### ▼徒歩



### ▼その他



②平成 20 年からの取り組んできた公共交通利用改善による平成 20 年以前と現在の公共交通利用に対する意識の変化について【問 B-2】

□市全体では、「必要性を感じていた、感じている」が平成 20 年以前では約 69%、平成 22 年度アンケート結果では約 74%、現在では約 87%となっている。

図 8 0 平成 20 年以前の公共交通に対する意識（地域別）

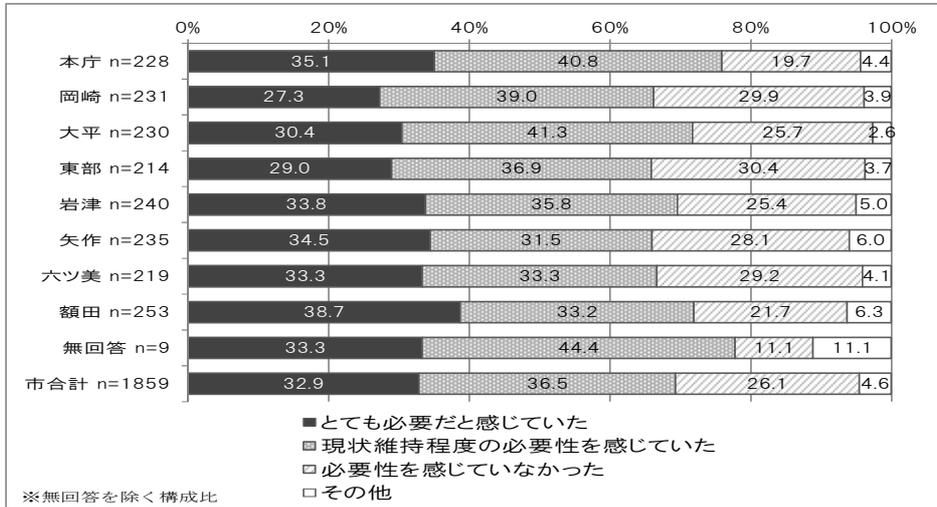


図 8 1 平成 22 年度アンケート結果（地域別）

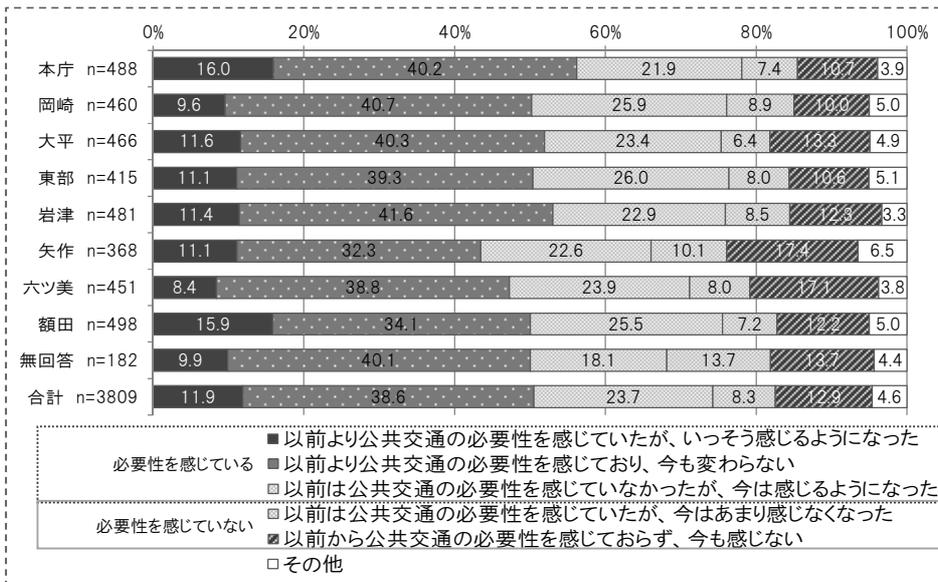


図 8 2 現在の公共交通に対する意識（地域別）

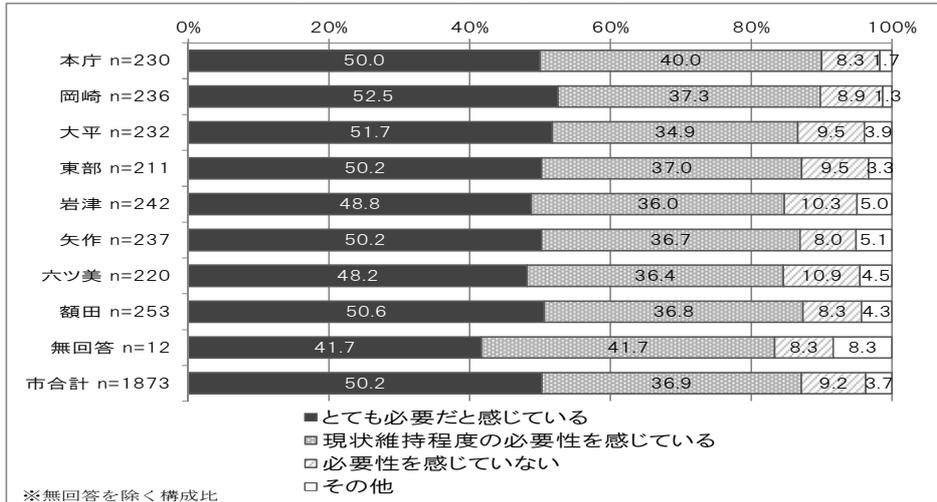


図 8 3 平成 20 年以前の公共交通に対する意識（年齢別）

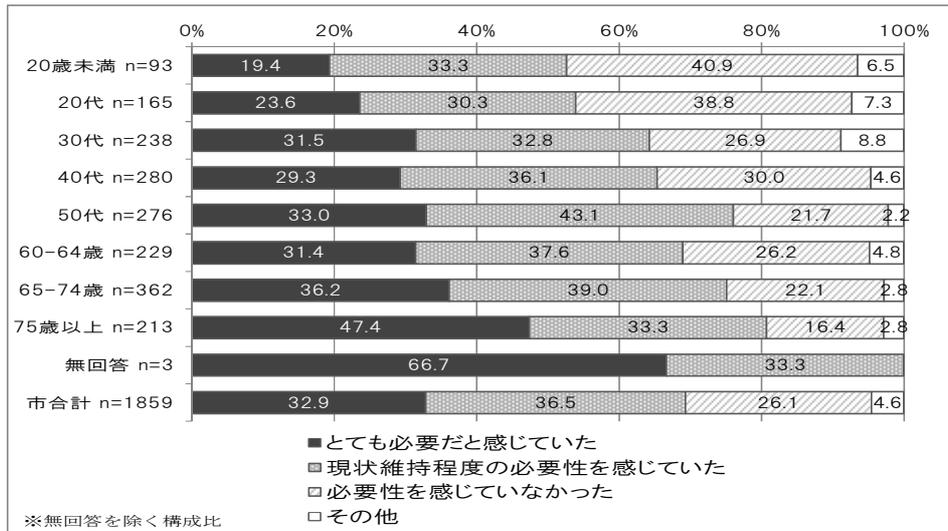


図 8 4 平成 22 年度アンケート結果（年齢別）

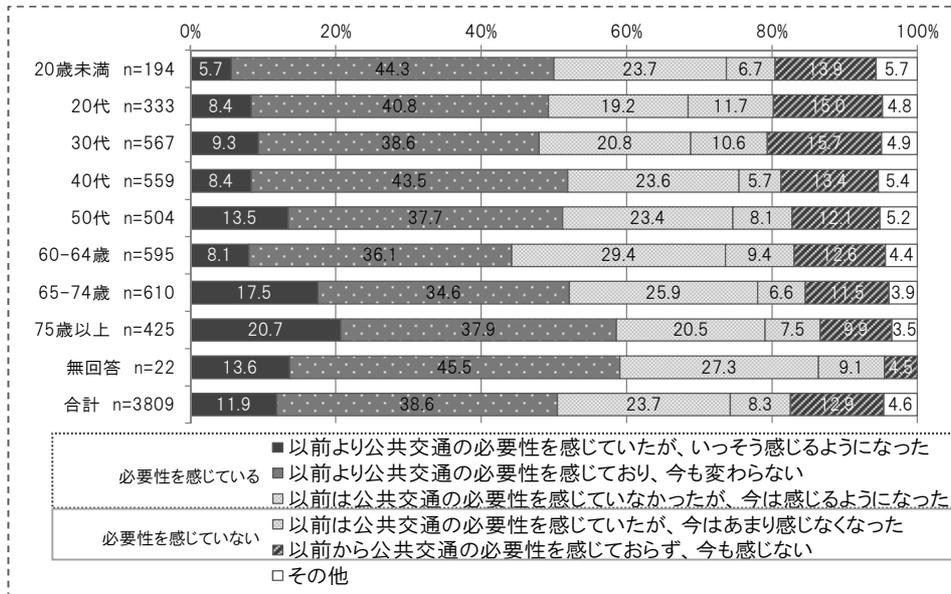
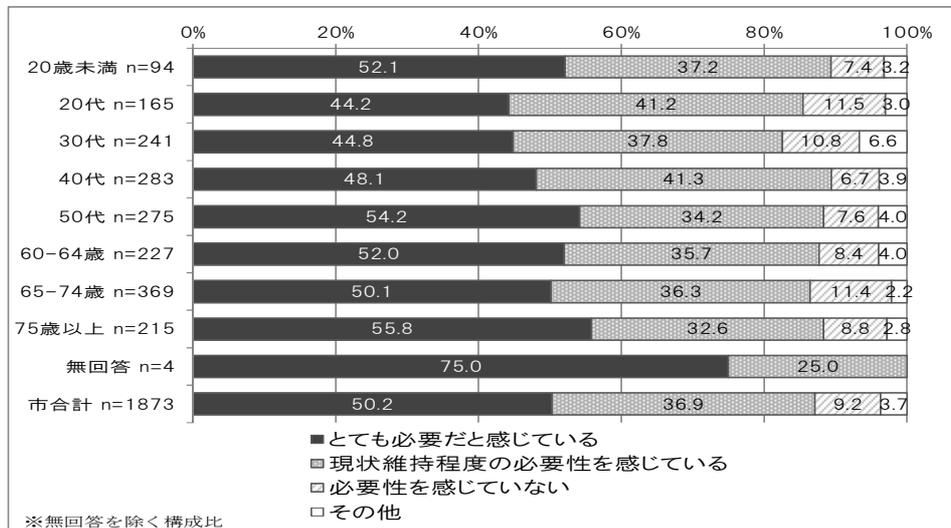


図 8 5 現在の公共交通に対する意識（年齢別）



③平成 20 年から取り組んできた公共交通利用改善による利用の有無や頻度の変化と、変化が生じた理由について【問 B-3】

□市全体では、平成 22 年度アンケート結果と比較すると「以前より利用するようになった」が約 11%から約 30%と高くなっているものの、「以前よりも利用しなくなった」も約 8%から約 15%と高くなっている。

□利用するようになった理由としては、「通勤・通学先の変化」が約 34%を占めるものの、「公共交通への認識や評価の変化に対する項目」も合わせて約 48%存在する。一方利用しなくなった理由としては、「通勤・通学先の変化」が約 53%と高い割合を占める。

図 8 6 公共交通利用の有無や頻度の変化（地域別）

図 8 7 平成 22 年度アンケート結果（地域別）

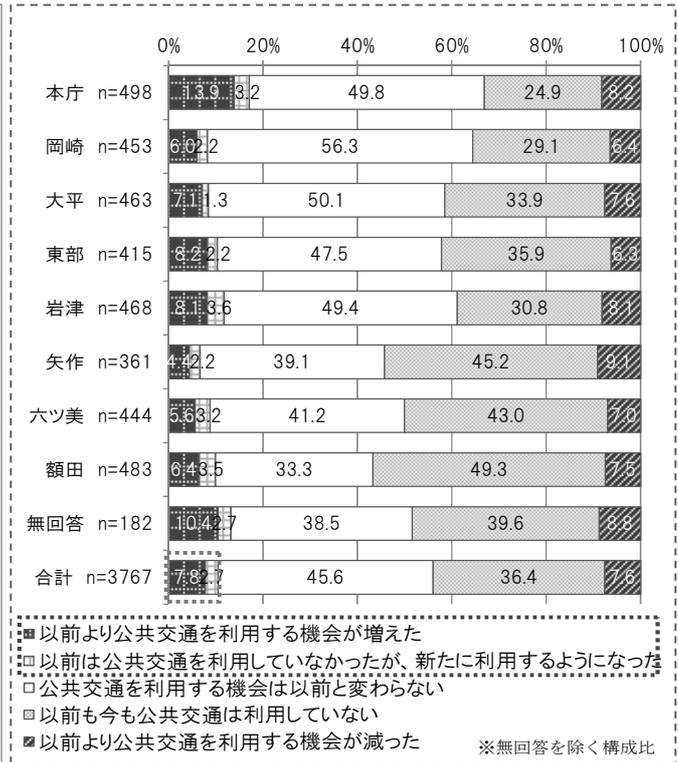
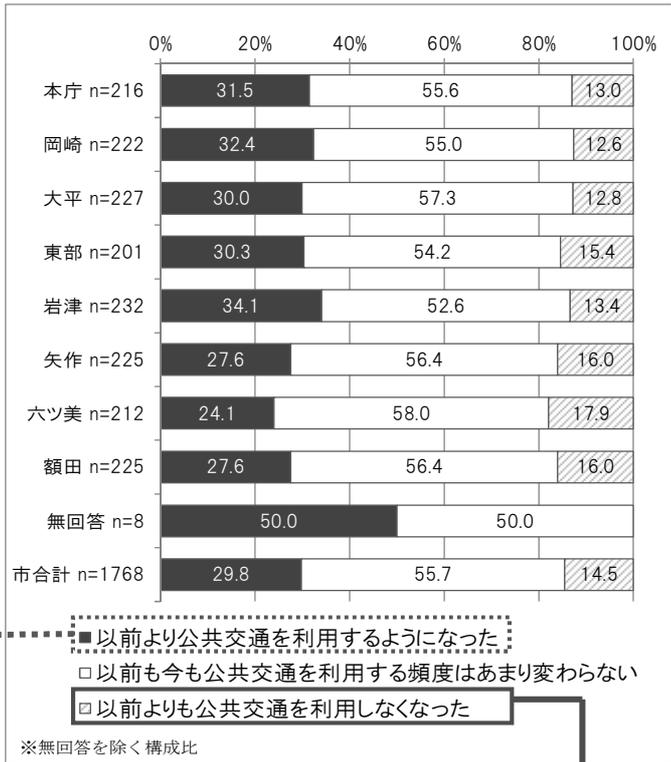


図 8 8 利用するようになった理由（地域別）

図 8 9 利用しなくなった理由（地域別）

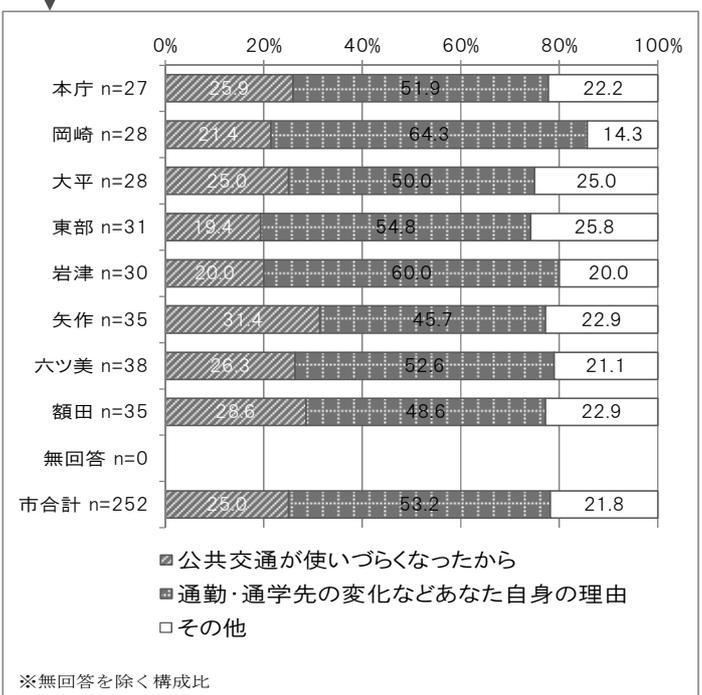
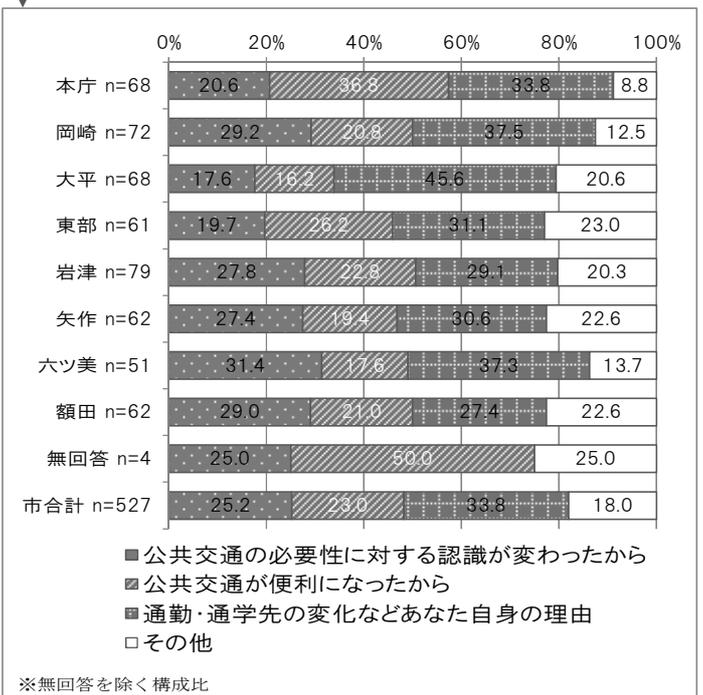


図 9 0 公共交通利用の有無や頻度の変化（年齢別）

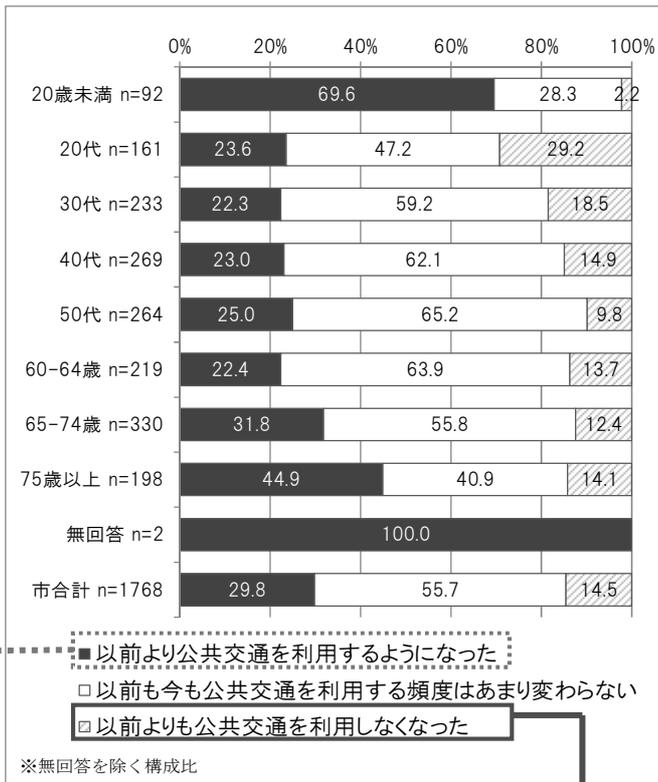


図 9 1 平成 22 年度アンケート結果（年齢別）

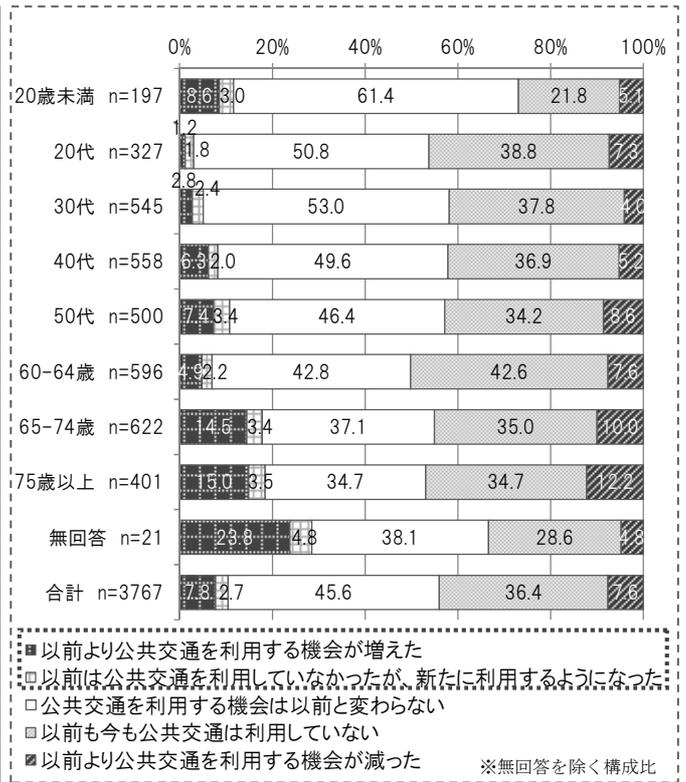


図 9 2 利用するようになった理由（年齢別）

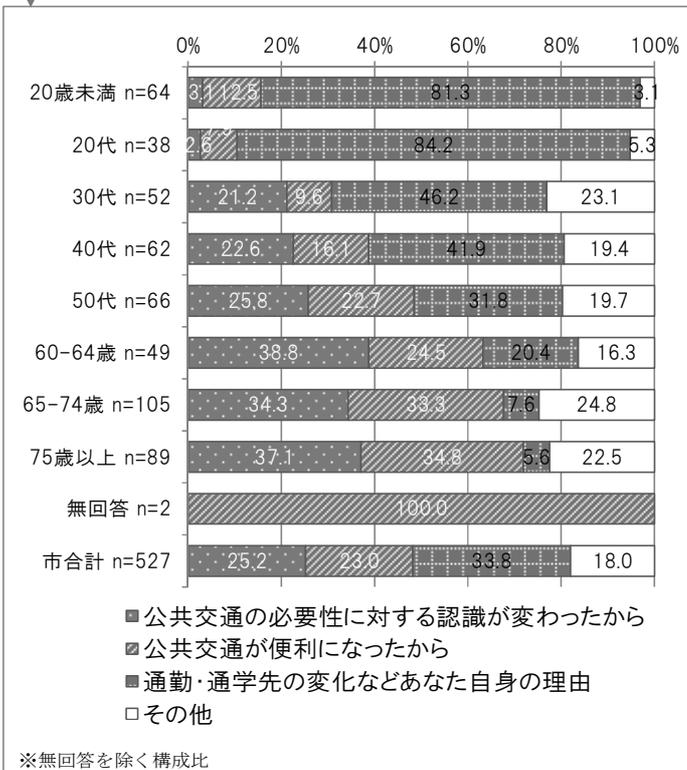
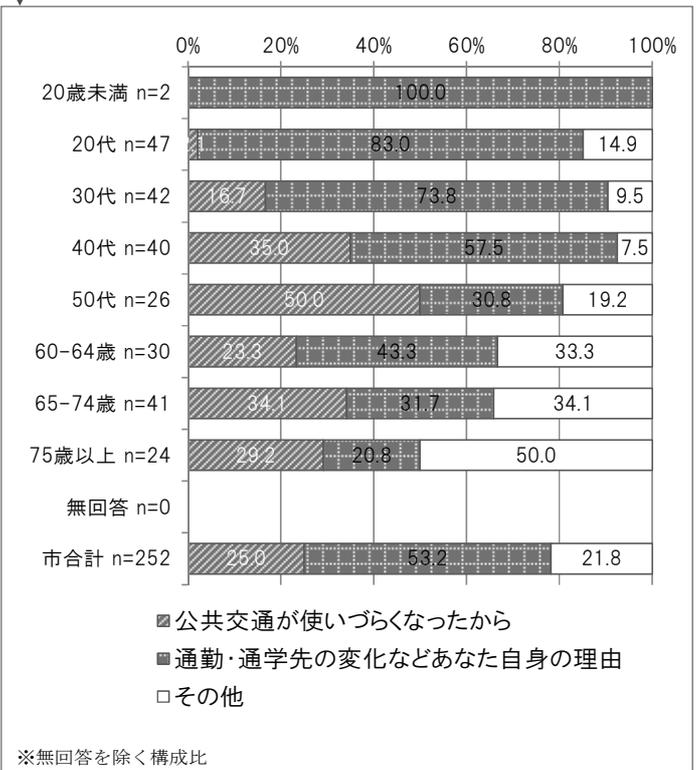


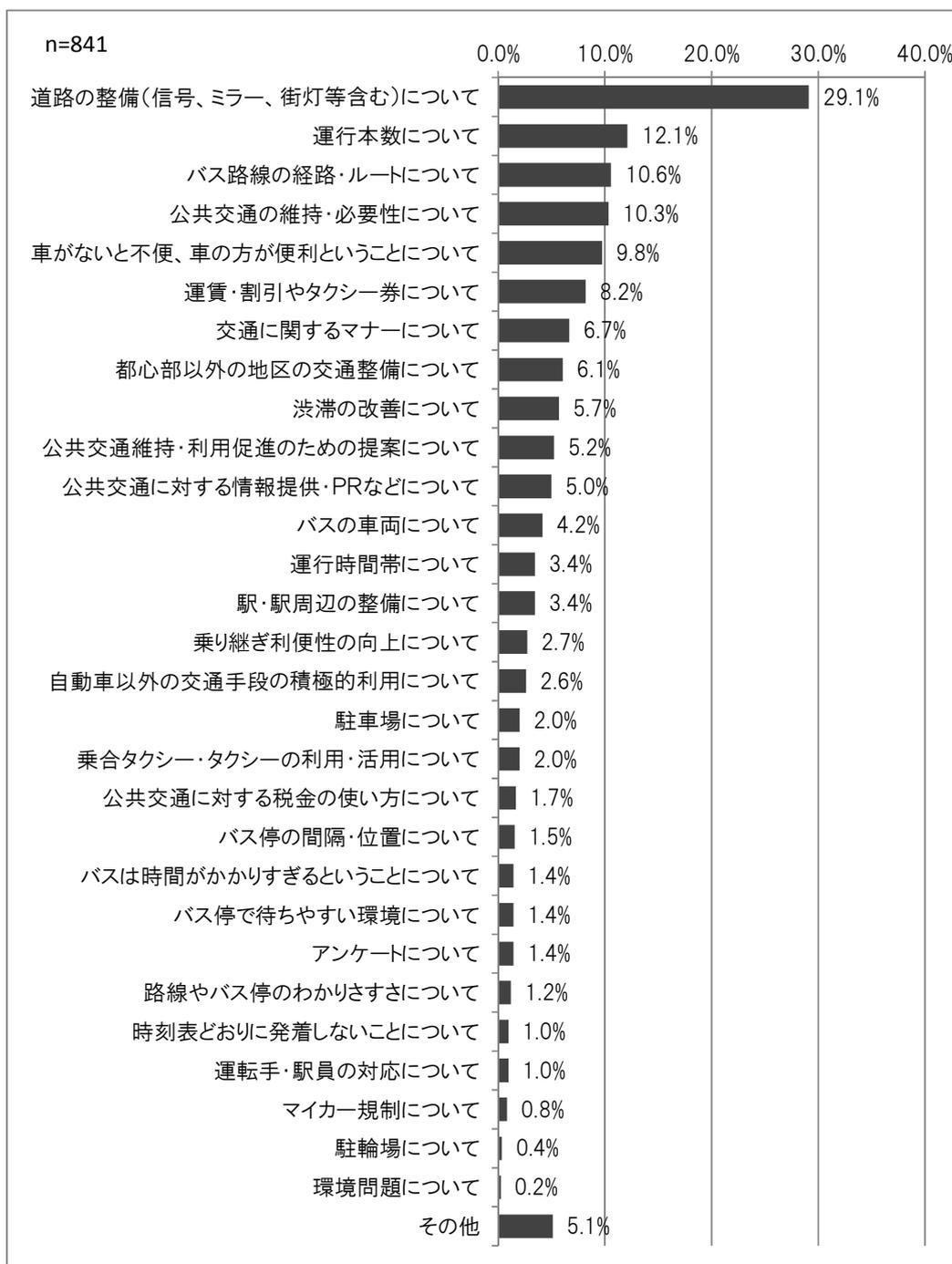
図 9 3 利用しなくなった理由（年齢別）



④公共交通、自動車、自転車、徒歩の各種交通の利用環境などについての意見、意向について  
【問B-4】

□「道路の整備について」の意見が約29%と最も多く、次いで「運行本数について」が約12%、「バス路線の経路・ルートについて」が約11%と高くなっている。

図9-4 意見、意向のカテゴリー分類



### 3) 調査票

#### (1) お願い文

## これからの岡崎市の交通を考えるアンケート

### ～アンケートご協力のお願い～

日頃より、岡崎市政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

岡崎市では、平成20年にマイカーからの転換を目指した「**岡崎市総合交通政策\*1**」および持続可能な地域公共交通の実現を目指した「**岡崎市地域公共交通総合連携計画\*2**」を策定し、公共交通を軸としつつ、多様な交通手段が連携した交通体系の実現に向け、各種交通施策・事業の取り組みを推進しているところです。

アンケートでは、“普段の交通行動の実態、交通手段の満足度と不満の内容”に加え、「**岡崎市総合交通政策**」に関する項目として、“今後の交通施策政策の方向性、将来の交通の姿”、「**岡崎市地域公共交通総合連携計画**」に関する項目として、“公共交通の取り組みによる利用機会や意識の変化”などについてお尋ねしています。

皆さんの日常生活と交通は密接な関係にあり、どのような交通の姿を目指すかは、どのような生活のあり方を目指すのかということに直結します。皆さんの忌憚のないご意見をお聞かせいただき、今後の交通政策の取り組み方向を検討するうえでの貴重な資料とさせていただきますと考えております。

アンケートは、市内在住の15歳以上の方から5,000人の方を無作為に抽出し、調査を実施させていただきます。ご多忙のところ恐縮ですが、本調査の主旨をご理解いただき、アンケートにご協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、本調査でご回答いただいた内容については、全て統計的に処理し、個人を特定することや本調査の分析以外の目的に使用することはありません。

平成25年10月

岡崎市交通政策室

#### ◆アンケートのご記入について

\*アンケートは宛名のご本人がお答えください。

(なお、ご本人が記入困難な場合は、ご本人のご意見をお聞きのうえ、ご家族の方などが記入していただいても結構ですので、可能な範囲でご回答をお願いします。)

\*回答はアンケート調査票の各設問に該当する番号に○印をつけるとともに、(\_\_\_\_)には、必要事項をご記入ください。

\*ご記入いただいたアンケート票は、同封した返信用封筒に入れ、**10月31(木)まで**にお近くのポストへご投函くださいますようお願いいたします。

#### <アンケートに関するお問い合わせ先>

岡崎市 都市整備部 交通政策室 公共交通班 担当：奥田、尾崎、柴田

電話 0564-23-6109 (直通)

\*1:「岡崎市総合交通政策」の詳細は以下のアドレスで参照できます。

<http://www.city.okazaki.aichi.jp/secure/18421/岡崎市総合交通政策.pdf>

\*2:「岡崎市地域公共交通総合連携計画」の詳細は以下のアドレスで参照できます。

[http://www.city.okazaki.aichi.jp/secure/18421/岡崎市地域公共交通総合連携計画\\_22.1.pdf](http://www.city.okazaki.aichi.jp/secure/18421/岡崎市地域公共交通総合連携計画_22.1.pdf)

(2) アンケート調査票

これからの岡崎市の交通を考えるアンケート調査票

■あなたのことについてお尋ねします。

問1 あなたのことについて、①～⑥の項目ごとに該当する番号1つに○をつけてください。

①性別	1. 男性		2. 女性		
②年齢	1. 20歳未満	2. 20代	3. 30代	4. 40代	
	5. 50代	6. 60-64歳	7. 65-74歳	8. 75歳以上	
③職業	1. 会社員・公務員	2. 自営業・自由業	3. パート・バイト		
	4. 専業主婦（主夫）	5. 学生	6. 無職・その他		
④自宅の学区	本庁管内	1. 梅園	2. 根石	3. 六名	4. 三島
	岡崎支所管内	5. 連尺	6. 広幡	7. 井田	8. 愛宕
		9. 常磐南	10. 常磐東	11. 常磐	12. 竜美丘
	大平支所管内	13. 羽根	14. 岡崎	15. 城南	16. 上地
		17. 小豆坂	18. 福岡	19. 男川	20. 美合
	東部支所管内	21. 生平	22. 秦梨	23. 緑丘	24. 竜谷
		25. 藤川	26. 山中	27. 本宿	28. 奥殿
	岩津支所管内	29. 恵田	30. 細川	31. 岩津	32. 大樹寺
矢作支所管内	33. 大門	34. 矢作東	35. 矢作北	36. 矢作西	
	37. 矢作南	38. 北野	39. 六ッ美北	40. 六ッ美中	
六ッ美支所管内	41. 六ッ美南	42. 六ッ美西	43. 豊富	44. 夏山	
額田支所管内	45. 宮崎	46. 形埜	47. 下山	1. 運転免許証を持っている	
	2. 運転免許証を持っていない	1. 自分で自由に使える車がある	2. 家族が車を持っている	3. 車を持っていない	
⑤運転免許証の有無	1. 運転免許証を持っている	2. 運転免許証を持っていない			
⑥自動車所有の有無	1. 自分で自由に使える車がある	2. 家族が車を持っている			
	3. 車を持っていない				

■ 普段の交通行動の実態についてお尋ねします。

問2 あなたは普段、平日にどのようなお出かけをされていますか。

①～④の項目ごとにお答えください。

① 平日の主な外出目的に該当する番号1つに○をつけてください。

1. 通勤	2. 通学	3. 買物	4. 通院	5. その他私的目的	6. 業務
7. 寝たきりなど身体的理由で外出しない					⇒「今後の交通政策の方向性」(4頁)へお進みください

② 主な目的地に該当する番号1つに○をつけるとともに、その目的地の住所や施設の名称をご記入ください。

1. 岡崎市内 ( ) 町、施設の名称 ( )
2. 愛知県内 ( ) 市・町・村、施設の名称 ( )
3. 愛知県外 ( ) 県 ( ) 市・町・村、施設の名称 ( )

③ ①の目的で岡崎市及び周辺において移動する際に利用する交通手段すべてに○をつけてください。

<b>&lt;鉄 道&gt;</b>	1. JR東海道本線	2. 愛知環状鉄道	3. 名鉄名古屋本線
	4. その他鉄道 ( )		
<b>&lt;バ ス&gt;</b>	5. 名鉄バス	6. まちバス	7. 乗合タクシー・巡回バス
	8. 企業バス	9. スクールバス	10. その他バス ( )
<b>&lt;自動車&gt;</b>	11. 自動車(自分で運転)	12. 自動車(他の人に送迎)	13. タクシー
<b>&lt;二輪車&gt;</b>	14. バイク(原付を含む)	15. 自転車	
<b>&lt;徒 歩&gt;</b>	16. 徒歩		
<b>&lt;その他&gt;</b>	17. その他 ( )		

⇒「問3」(3頁)へお進みください

④ ③で鉄道またはバスに○をつけた方にお尋ねします。岡崎市内でよく乗車・降車する駅またはバス停をご記入ください。また、自宅などから乗車する駅またはバス停までの交通手段と、降車する駅またはバス停から目的地までの交通手段に該当する番号(下段①～⑧の交通手段参照)1つに○をつけてください。

<b>&lt;鉄 道&gt;</b>	乗車駅名 ( )	乗車駅までの交通手段 ( 1 2 3 4 5 6 7 8 )
	降車駅名 ( )	降車駅からの交通手段 ( 1 2 3 4 5 6 7 8 )
<b>&lt;バ ス&gt;</b>	乗車バス停名 ( )	乗車バス停までの交通手段 ( 1 2 3 4 5 6 7 8 )
	降車バス停名 ( )	降車バス停からの交通手段 ( 1 2 3 4 5 6 7 8 )

駅またはバス停まで及び駅またはバス停からの交通手段は、以下の番号(①～⑧)より該当する番号を1つ選び、上段の番号(1～8)に○をつけてください。

① バス      ② 自動車(自分で運転)      ③ 自動車(他の人に送迎)      ④ タクシー  
 ⑤ バイク(原付を含む)      ⑥ 自転車      ⑦ 徒歩      ⑧ その他の手段

■それぞれの交通手段の満足度と不満の内容についてお尋ねします。

問3 それぞれの交通手段の「①利用頻度」に該当する番号1つに○をつけてください。  
 “利用していない”または“歩いていない”を回答された方は、「②満足度」以降の記入は不要です。利用頻度を回答いただいた方は、「②満足度」に該当する番号1つに○、「③不満項目」に該当するものすべてに○をつけるとともに、「④不満の内容」を具体的に記入ください。

	①利用頻度 (1つに○)	②満足度 (1つに○)	③不満項目 (すべてに○)	④不満の内容 (具体的に記入)
鉄道	1. 平休日ともほぼ毎日 2. 平日はほぼ毎日 3. 週に2～3日程度 4. 週に1日程度 5. 月に2～3日程度 6. 月に1日程度 7. 年に数回程度 8. 利用していない	1. 満足 2. やや満足 3. どちらとも 4. やや不満 5. 不満	1. 始発時刻が遅い 2. 終発時刻が早い 3. 運賃が高い 4. 駅へのアクセスが悪い 5. バスとの接続が悪い 6. 駅周辺の駐車場が不足 7. 駅周辺の駐輪場が不足 8. その他( )	
バス	1. 平休日ともほぼ毎日 2. 平日はほぼ毎日 3. 週に2～3日程度 4. 週に1日程度 5. 月に2～3日程度 6. 月に1日程度 7. 年に数回程度 8. 利用していない	1. 満足 2. やや満足 3. どちらとも 4. やや不満 5. 不満	1. 始発時刻が遅い 2. 終発時刻が早い 3. 運賃が高い 4. 乗り継ぎが悪い 5. 時刻表どおりに来ない 6. バス停の待合環境が悪い 7. バス停周辺の駐輪場が不足 8. その他( )	
自動車・バイク	1. 平休日ともほぼ毎日 2. 平日はほぼ毎日 3. 週に2～3日程度 4. 週に1日程度 5. 月に2～3日程度 6. 月に1日程度 7. 年に数回程度 8. 利用していない	1. 満足 2. やや満足 3. どちらとも 4. やや不満 5. 不満	1. 渋滞する道路を通らないと目的地まで行けない 2. 道幅が狭く危険な箇所が多い 3. 右折車線の不足している交差点が多い 4. 駅周辺の駐車場が不足 5. 駐車場に安全に止められない 6. 高速道路への接続が少ない 7. その他( )	
自転車	1. 平休日ともほぼ毎日 2. 平日はほぼ毎日 3. 週に2～3日程度 4. 週に1日程度 5. 月に2～3日程度 6. 月に1日程度 7. 年に数回程度 8. 利用していない	1. 満足 2. やや満足 3. どちらとも 4. やや不満 5. 不満	1. 道幅が狭く危険な箇所が多い 2. 自転車が安全に走行できる空間がない 3. 道路面の凸凹や傾斜が多い 4. 駅周辺の駐輪場が不足 5. バス停周辺の駐輪場が不足 6. 駐輪場に安全に止められない 7. その他( )	
徒歩*	1. 平休日ともほぼ毎日 2. 平日はほぼ毎日 3. 週に2～3日程度 4. 週に1日程度 5. 歩いていない	1. 満足 2. やや満足 3. どちらとも 4. やや不満 5. 不満	1. 歩道の幅が狭い 2. 歩道がなく危険な箇所が多い 3. 歩道面の凸凹や傾斜が多い 4. 街路灯がなく危険な箇所が多い 5. その他( )	

\*主な交通手段としての利用や鉄道・バスとの乗り継ぎ利用も含めてお答えください

## A 岡崎市の交通全般（岡崎市総合交通政策）に関する質問です

### ■今後の交通政策の方向性についてお尋ねします。

◇ 同封しました「岡崎市総合交通政策（平成20年策定）の概要」をご一読いただき、問A.1-1～1-4をお答えください。

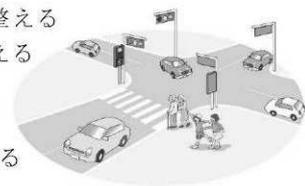
問A.1-1 マイカーによる交通事故を減少させるためにも、誰もが使いやすい公共交通を確保する必要があります。「人にやさしく安全安心な交通体系の整備」を進めるにあたり、あなたの考えに近いものの番号を3つまで選び○をつけてください。

1. 高齢者などが利用しやすい公共交通サービスを確保する
2. 先進技術を活用した自動車事故を減らすための取り組みを進める
3. 生活道路での交通安全確保に向けた取り組みを進める
4. 駅周辺など交通量の多い道路での交通安全確保に向けた取り組みを進める
5. 災害に強い、安心な道路環境を整える
6. その他（ \_\_\_\_\_ ）



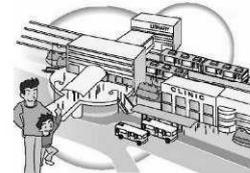
問A.1-2 まちなかの賑わいが戻っているとは言えない状況にあります。「まちの魅力高め活気づける交通体系の整備」を進めるにあたり、あなたの考えに近いものの番号を3つまで選び○をつけてください。

1. 市内のどこからでも公共交通でまちなかに行きやすい交通環境を整える
2. 市内のどこからでも自動車でまちなかに行きやすい交通環境を整える
3. まちなかを快適に移動できる自転車走行空間や駐輪場を整える
4. まちなかを安全に回遊できる歩行空間やベンチ等を整える
5. 乙川周辺の河川空間と一体となっただうおいある回遊路を整える
6. 最寄りの主要な鉄道駅まで行きやすい交通環境を整える
7. 東岡崎駅やJR岡崎駅などからまちなかに行きやすい交通環境を整える
8. その他（ \_\_\_\_\_ ）



問A.1-3 依然として交通量は多く、渋滞も発生しています。「環境にやさしい交通体系の整備」を進めるにあたり、あなたの考えに近いものの番号を3つまで選び○をつけてください。

1. 自動車交通量に応じた市内の道路整備や交差点改良を進める
2. 高速道路やバイパス整備により国道1号などの交通量を減らす
3. 自動車利用を控え、公共交通や自転車、徒歩で移動する
4. 電気自動車の普及などCO<sub>2</sub>排出量を抑制する取り組みを進める
5. 必要以上に自動車を利用することが無いよう、皆の意識を変える
6. その他（ \_\_\_\_\_ ）



問A.1-4 幹線道路で未整備な区間が残っています。また、周辺都市とのバス路線の乗り入れなど今後の課題となっています。「交流を促進する円滑で快適な交通体系の整備」を進めるにあたり、あなたの考えに近いものの番号を3つまで選び○をつけてください。

1. 高速道路のインターチェンジと連絡する道路の整備を進める
2. 周辺都市と交流できるよう、鉄道のサービス向上を進める
3. 周辺都市と交流できるよう、バス路線を充実する
4. 市内を移動する自動車を円滑に処理する道路整備を進める
5. 鉄道駅や乗り継ぎ拠点などを連絡するバス路線を充実する
6. その他（ \_\_\_\_\_ ）



■岡崎市の将来の交通の姿についてお尋ねします。

問A.2-1 あなたが優先したいと思う“岡崎市の将来のまちの姿”はどれですか。該当する番号を3つまで選び、枠内に優先したいと思う順番に記入してください。

- ① 公共交通で市内のどこへでも安心して出かけることができるまち
- ② 鉄道駅まで公共交通で移動しやすく、市外へも出かけやすいまち
- ③ 康生地区などのまちなかへ公共交通で行きやすいまち
- ④ 国道1号などの幹線道路に渋滞がなく、自動車ですいすい走れるまち
- ⑤ 自動車が少ないまちなかを、自転車や歩いて快適に移動できるまち
- ⑥ 身近な道路には車が少なく、安全な道路環境が確保されたまち
- ⑦ まちなかの水辺を活用した散策路を快適に歩くことができるまち
- ⑧ 自転車で駅や主要な施設に行きやすいまち
- ⑨ 公共交通や自転車、徒歩で移動しやすく、高齢者をはじめ市民が元気で健康に暮らすことができるまち
- ⑩ 先進的な技術で高齢者や子ども達の交通安全が確保されたまち
- ⑪ 地震などの災害に強く、皆が安心して暮らせる交通体系があるまち
- ⑫ その他 ( \_\_\_\_\_ )



優先したいと思う順番に3つまで記入してください。

最も優先したい まちの姿		2番目に優先したい まちの姿		3番目に優先したい まちの姿	
-----------------	--	-------------------	--	-------------------	--

◇ 岡崎市総合交通政策では、過度に自動車に依存した交通体系から、自動車以外の交通手段も適切に使い分ける交通体系への変換を目指してきました。市では今後もこの方向性を継承していきたいと考えています。そのための取組みについて、あなたのご意見をお聞かせください。

問A.2-2 あなたが最も有効だと思う取組みの番号1つに○をつけてください。

1. 公共交通を利用しやすくするため、公共交通のサービスを向上させる
2. 自転車を利用しやすくするため、安全で快適に移動できる自転車走行空間を整備する
3. 歩きやすくするため、安心してゆったりと歩ける歩道を整備する
4. 市民自らが、公共交通を積極的に利用するなど自動車利用を控えるようにする
5. その他 ( \_\_\_\_\_ )

問A.2-3 あなたが協力できる取組みはありますか。該当する番号を3つまで選び○をつけてください。

1. できるだけ公共交通を利用するように心がける
2. できるだけ自転車で移動するように心がける
3. できるだけ徒歩で移動するように心がける
4. 自動車で移動するときは相乗りするように心がける
5. 家族や近所で移動に困っている人を送ってあげるなどして助ける
6. 交通についての意見交換会（ワークショップ）や地域の会合に参加する
7. 協力できることはない
8. その他 ( \_\_\_\_\_ )

**B 岡崎市の公共交通（岡崎市地域公共交通総合連携計画）に関する質問です**

**■公共交通の取り組みによる利用機会や意識の変化についてお尋ねします。**

◇ 岡崎市では、市内バス路線の廃止申し出を受け、平成20年に「地域公共交通総合連携計画」を策定し、バス交通の維持に向けた様々な取り組みを行ってきました。これまでに実施した「公共交通に関する主な取り組み」（以下の破線枠内）をご覧ください、次頁以降の設問にお答えください。

### 基幹バスネットワークの整備

- ◆おかげエクスプレス（岡崎駅・市民病院線）
- ◆矢作・市民病院線
- ◆額田・市民病院線
- ◆大門・市民病院線の運行



### 地域交通の整備

- ◆乗合タクシーの運行
- ◆コミュニティバス「まちバス」の運行



### 既存バス路線の改善

- ◆路線維持のための運行経費の補助
- ◆北斗台、開元の里へバス乗り入れ、東部地区バス路線見直し等



### 地域交通の整備

- ◆系統番号の導入
- ◆バスロケーションシステムの導入
- ◆バス待合環境の整備
- ◆ICカードの導入



### 公共交通利用の促進

- ◆モビリティマネジメント（過度な自動車利用から公共交通等を適切に利用する意識改革）の実施
- ◆公共交通マップの作成
- ◆公共交通に親しむ日の実施



問B-1 これまでに行ってきた公共交通に関する取り組みについて、①～⑬の項目ごとに「イ. 認知度」に該当する番号1つに○をつけるとともに、「1. 知っている」と回答された方は、「ロ. あなたの評価」に該当する番号1つに○をつけてください。

公共交通に関する取り組み	イ. 認知度	ロ. あなたの評価			
	「1. 知っている」を回答いただいた方は、ロ. をお答えください。⇒	効果的 または 便利 になった	変わらない	効果的 または 便利 ではない	わからない
①おかざきエクスプレスの整備 (岡崎駅、東岡崎駅、主要施設等を結ぶ拠点快速バスが運行)	1. 知っている⇒ 2. 知らない	1	2	3	4
②基幹バスネットワーク(市民病院線)の整備 (矢作地区、額田支所、大門駅と市民病院を結ぶ基幹バス3ルートが運行)	1. 知っている⇒ 2. 知らない	1	2	3	4
③中山間地域における乗合タクシーの整備 (下山、形埜、宮崎、豊富地区で住民主体で計画した生活交通が運行)	1. 知っている⇒ 2. 知らない	1	2	3	4
④コミュニティバス「まちバス」の整備 (商店街やイベントと連携し、まちなかでの移動の利便性を向上)	1. 知っている⇒ 2. 知らない	1	2	3	4
⑤廃止対象バス路線(市内補助路線)の改善 (廃止申し出のあった市内15路線の補助運行による路線存続と改善検討)	1. 知っている⇒ 2. 知らない	1	2	3	4
⑥既存バス路線(ルート)の新設 (北斗台、開元の里、山中学区等で住民の取り組みでバス乗り入れが実現)	1. 知っている⇒ 2. 知らない	1	2	3	4
⑦公共交通利用促進キャンペーンの実施 (秋の市民まつりにあわせ「公共交通に親しむ日」を設定し利用促進を実施)	1. 知っている⇒ 2. 知らない	1	2	3	4
⑧マイカーから公共交通への意識改革の実施 (市内事業所等を対象にマイカー通勤から公共交通への転換を促進)	1. 知っている⇒ 2. 知らない	1	2	3	4
⑨公共交通マップの作成 (バス路線図に主要駅バス運行情報等を掲載したマップを作成・配布)	1. 知っている⇒ 2. 知らない	1	2	3	4
⑩路線バスに系統番号を導入 (市内全バス路線、乗合タクシーに行先別の系統番号を導入)	1. 知っている⇒ 2. 知らない	1	2	3	4
⑪バスロケーションシステムの導入 (バス停や携帯電話で発車案内、待ち時間がわかるシステムを導入)	1. 知っている⇒ 2. 知らない	1	2	3	4
⑫バス待合環境の整備 (利用者の多いバス停で上屋やベンチを整備)	1. 知っている⇒ 2. 知らない	1	2	3	4
⑬ICカードの導入 (鉄道と共通利用できるICカード(manaca等)を導入)	1. 知っている⇒ 2. 知らない	1	2	3	4

**問B-2 平成20年から市が取り組んできた公共交通利用改善により、あなたの公共交通利用に対する意識に変化は生じましたか。該当する番号1つに○をつけてください。**

▼平成20年以前は、公共交通について	▼現在は、公共交通について
1. とても必要だと感じていた	1. とても必要だと感じている
2. 現状維持程度の必要性を感じていた	2. 現状維持程度の必要性を感じている
3. 必要性を感じていなかった	3. 必要性を感じていない
4. その他 ( _____ )	4. その他 ( _____ )

**問B-3 平成20年から市が取り組んできた公共交通利用改善により、あなたの公共交通利用の有無や頻度に変化は生じましたか。該当する番号1つに○をつけるとともに、変化が生じた方はその理由に該当する番号1つに○をつけてください。**

1. 平成20年以前より公共交通を利用するようになった

↓

その理由は

1. 公共交通の必要性に対する認識が変わったから
2. 公共交通が便利になったから
3. 通勤・通学先の変化などあなた自身の理由
4. その他 ( \_\_\_\_\_ )

2. 平成20年以前も今も公共交通を利用する頻度はあまり変わらない

3. 平成20年以前よりも公共交通を利用しなくなった

↓

その理由は

1. 公共交通が使いづらくなったから
2. 通勤・通学先の変化などあなた自身の理由
3. その他 ( \_\_\_\_\_ )

**問B-4 鉄道や路線バス、まちバス、乗合タクシーなどの公共交通、自動車、自転車、徒歩の各種交通の利用環境などについて、ご意見、ご意向を自由にご記入ください。**

ご協力ありがとうございました。